

指標設定チェックシート

施策名	1-1-①	区民の生命を守る総合危機管理能力の向上
部課名	防災危機管理課・関係課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
異常気象や感染症、いつ起きてもおかしくない首都直下地震等の様々な危機事象に対して、身体・生命に危険が及ばない強靱なまちを多様な主体とともに創りあげている。	(1) <ul style="list-style-type: none"> ●「人が主役のまち」の基盤となる強靱なまちを創るため、不燃化・雨水対策等のハード施策と各種訓練等のソフト施策を組み合わせ、実効性の高い取組を総合的に展開します。 ●あらゆる危機事象への対応において、地域コミュニティの核となる町会、商店街、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、医療機関、消防団、教育機関、企業、区、災害ボランティア等の様々な主体が総力を挙げ、重層的かつ実効性の高い連携を行うための体制を構築 するとともに、東京都とも連携し、災害時要援護者*をはじめとして区民の生命を最優先で守ります。 ●震災や水害等、危機の種類に応じた実践的な訓練を実施することで、区職員による機動的な対応を可能とする庁内体制の強化を図ります。 ●危機発生時には関係機関と連携し、迅速な情報収集・分析を行うとともに、一斉情報配信システム、SNS等、様々な手法で、正確な情報をリアルタイムで発信し、区民等の適切な行動を促します。 ●防災協定都市との協定内容の見直しを図り、具体的な支援内容を盛り込んだ実効力のある協定とします。 	① 「異常気象や感染症、首都直下地震等の様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ●熱中症への対応については、予防のための注意を積極的に呼びかけるほか、企業等とも連携して、暑さから避難するための涼みどりの拡大に取り組みます。 ●風水害への対応については、雨水流出抑制のための透水性舗装等のハード面の整備とともに、適切な避難指示発出や避難支援により、人的被害を抑制します。 ●感染症への対応については、コロナ禍の経験を教訓として関係機関との連携強化を図り、感染予防対策と医療提供体制の構築、正しい情報発信と知識の普及啓発を推進します。 ●地震への対応については、木密地域の不燃化、建築物の耐震化、無電柱化等のハード整備とともに、各種訓練や自助・共助による地域防災力を高める取組を推進します。 	① 訓練アンケートで、訓練内容について「理解した」と回答した割合【%】	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	
		② 個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	④ 自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】	
		② 重点整備地域内の不燃領域率【%】	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標	① 「異常気象や感染症、首都直下地震等の様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	-	22.3	22.5	22.7	22.9	23.1	23.3	新規	
	成果指標	② 個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合	%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	新規	
	活動指標	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	人	4,445	4,550	4,650	4,750	4,850	4,950	5,050	新規	
	活動指標	④ 自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数	人	-	-	500	100	300	100	300	新規	
取組方針 (2)	成果指標	① 訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	新規	
	成果指標	② 重点整備地域内の不燃領域率【%】	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	人	4,445	4,550	4,650	4,750	4,850	4,950	5,050	新規	
	活動指標	④										

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査で、「異常気象や感染症、首都直下地震等の様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した区民の割合	区民の生命を守る総合危機管理能力を問う適切な設問であるため		区民意識調査	
	成果指標	②	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	個別避難計画の作成状況の進捗を客観的に図る指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	女性の防災リーダーを育成することで、女性が進んで救援センターの運営に参加するきっかけをつくるのが昨今求められている多様性に応えることができるため。避難者対策を浸透させるには、当該が実施する救援センター開設運営訓練により多くの人に参加してもらい、救援センター運営の知識の普及啓発を踏ることが重要であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】	個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	避難者対策として、救援センターに逃げてきた人が率先してセンターを開設、運営できることが重要であるため		所管課データ	
	成果指標	②	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空き地の状況から算出する。	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。		所管課データ	
	活動指標	③	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	女性の防災リーダーを育成することで、女性が進んで救援センターの運営に参加するきっかけをつくるのが昨今求められている多様性に応えることができるため。避難者対策を浸透させるには、当該が実施する救援センター開設運営訓練により多くの人に参加してもらい、救援センター運営の知識の普及啓発を踏ることが重要であるため。		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と一致している	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	① 「異常気象や感染症、首都直下地震等の様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓		✓			%	-	22.3	22.5	22.7	22.9	23.1	23.3	今後設定予定
	成果指標	② 個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合	△		✓					%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	適切
	活動指標	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	○	✓	✓		✓			人	4,445	4,550	4,650	4,750	4,850	4,950	5,050	適切
	活動指標	④ 自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数	△		✓					人	-	-	500	100	300	100	300	適切
取組方針(2)	成果指標	① 訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	△		✓		✓			%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	適切
	成果指標	② 密集事業地区内の不燃領域率【%】	△	✓				✓	✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	活動指標	③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	○	✓	✓		✓			人	4,445	4,550	4,650	4,750	4,850	4,950	5,050	適切
	活動指標	④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① 「異常気象や感染症、首都直下地震等の様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	活動指標	(1)-③、(2)-③ 防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	1-1-②	区民防災力の向上
部課名	防災危機管理課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●区民の多様性に応える 救援センター(避難所)*の 開設や運営を区民が中心 になって実施している。</p> <p>●区民の防災意識が向上 し、多くの区民が防災備蓄 等を行っている。</p>	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ●避難行動を示したリーフレットや動画等により、在宅避難時に必要な行動や備蓄品の準備を幅広い世代に伝えとともに、防災フェスをはじめ、子どもから大人まで、災害について楽しく学べる場を提供することで、災害への備えを啓発します。 ●救援センター開設訓練への参加有無を問わず、平時から救援センターの運営方法や防災設備の取扱い要領等について確認できるよう、防災に関する動画コンテンツの充実を図ります。 ●小・中学校における防災教育やAED活用訓練を実施するほか、合同防災訓練等への積極的な参加を促し、子どもの頃からの防災意識の向上を図ります。 ●感震プレーカーの普及、ハザードマップの周知、家具転倒防止、エレベータ停止への対応等、住環境によって変わるリスクについて普及啓発を進め、災害発生時の被害軽減に努めます。 	① 「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 防災フェスの来場者数【人】	
		<ul style="list-style-type: none"> ●各地域の町会を中心とした救援センター開設訓練等を、感染症対策やタイムラインを含め、地域団体等と連携して実践的に実施します。 ●防災士資格取得費用助成等により、災害時に活躍する地域防災リーダーを育成するとともに、若者や子育て世帯等、幅広い世代へ訓練の参加を促し、地域防災力の向上を図ります。 	② 訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合【%】	④	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●非常時の医療救護体制について、地域医療機関、災害ボランティア受入機関等との連携を深め、救援センター運営支援体制を確保するとともに、区民への周知を図ります。 ●マンションについては、管理セミナーや、マンション単位での防災訓練等の機会を通じて、エレベーターキャビネットの設置や家具の転倒防止対策の必要性、救援センター開設訓練への参加を普及周知し、住民同士が互いに助け合えるような体制の構築を促進します。 ●外国人の防災意識の向上のため、関係機関と連携した普及啓発に取り組みます。 	① 防災訓練の参加人数【人】	③ 災害ボランティア登録人数【人】	
			②	④ 防災士助成制度の申し込み人数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名				新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	-	35.7	36.0	36.3	36.6	36.9	37.2	新規	
	成果指標	②	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	新規	
	活動指標	③	防災フェスの来場者数	人	雨天中止のため、実績値なし	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	10,000	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	防災訓練の参加人数	人	3,125	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	災害ボランティア登録人数	人	62	62	65	72	80	90	100	新規	
	活動指標	④	防災士助成の申込者数	人	8	9	10	11	12	13	14	新規	

指標	指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)			出典
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査によるアンケートにおいて、「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した人の割合	区民の防災意識の裾野を拡げる取り組みとして学校や地域で防災講話を継続実施する中で、区民が防災への意識をもっている指標とすることができるため。			区民意識調査
	成果指標	②	訓練アンケートで訓練内容について「理解した」と回答した割合	避難者対策として、救援センターに逃げた人が率先してセンターを開設、運営できることが重要であるため			所管課データ
	活動指標	③	防災フェスの来場者数	防災フェスに来場するということは少なからず防災に興味関心を示していると判断することが可能であるため。			所管課データ
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	防災訓練の参加人数	女性の防災リーダーを育成することで、女性が進んで救援センターの運営に参加するきっかけをつくるのが昨今求められている多様性に応えることができるため。			所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③	災害ボランティア登録人数	共助を進めていくために必要な人材であるため。			社会福祉協議会データ
	活動指標	④	防災士助成の申込者数	防災士助成制度への申込者数が増えることは、区民における防災意識の高まりを反映していると捉えることができるため。			所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等である	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓	✓			%	-	35.7	36.0	36.3	36.6	36.9	37.2	今後設定予定
	成果指標 ②	○	✓	✓	✓			%	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
	活動指標 ③	△		✓	✓			人	雨天中止のため、実績値なし	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	10,000	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓				人	3,125	3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓	✓			人	62	62	65	72	80	90	100	適切
	活動指標 ④	△		✓	✓			人	8	9	10	11	12	13	14	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	各取り組みの進捗を計る設問としてふさわしく、施策を的確に表していると考えられるため。 この指標によって、広く区民に対してアプローチしている成果としてみることができると考えるため。
2	活動指標	(2)-③	災害ボランティア登録人数	

指標設定チェックシート

施策名	1-1-③	災害時避難者・災害時要援護者対策
部課名	総務部 防災危機管理課 ・ 福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>● 震災発生時や水害等の発生が予見される場合に、すべての区民が適切な避難行動により安全な場所に避難し、避難先において安心して避難生活をおくることができる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に、救援センター*等で安心して避難生活を送ることができるよう、災害時要援護者*、女性、子どもをはじめ、外国人等も含めた多様な視点を国際的な基準も踏まえて取り入れ、救援センター等の環境改善、備蓄物資の拡充、多言語対応を含めたコミュニケーション手段・情報発信の強化を図ります。 ● 負傷した方や避難生活による精神的ストレス等で体調を崩した方に対し、医療介護所等で迅速かつ適切な医療を提供するために、区内医療機関、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会をはじめ関係機関との連携を強化します。 ● 福祉救援センター*を円滑に開設するため、指定されている障害・介護施設と開設訓練等を通じて連携を強化し、障害や疾病、介護が必要等の理由で、救援センターでの避難生活が困難な方が、安心して避難生活を送れる環境を速やかに提供します。 	<p>①</p> <p>災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数</p>	<p>③</p> <p>すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数</p>	<p>一般区民用はもちろんのこと、福祉救援センター用の備蓄も併せて調達整備をしていくが、例えば備蓄計画1歳～3歳の子供の栄養補給がミルクとなっているものを離乳食に変更したりと現実的な備蓄品目、数量の確保を行うことで不要な備蓄の発生が出ないようにします。</p>	
		<p>②</p> <p>「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」と思う回答割合【%】</p>	<p>④</p> <p>救援センター開設運営訓練の実施回数</p>		
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害福祉・介護サービス事業者や町会等の地域防災組織、民生委員等の多様な主体と連携し、計画作成を支援する担い手を育成します。また、災害時要援護者の情報を地域と共有し、震災時に声掛けや避難支援がスムーズに行えるよう、区民の防災リテラシーの向上を図り、地域における共助の輪を広げます。 ● 豊島区介護事業者災害対策連絡協議会と連携して、計画作成支援のスキームを構築し、個別避難計画の作成を希望する区民一人ひとりの特性に応じた避難計画の作成を着実に進めます。また、個別避難計画の作成を希望しなかった避難行動要支援者に対して、計画作成の意義の周知や、作成に向けた働きかけを継続して行い、作成者数の増加に取り組みます。 	<p>①</p> <p>個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】</p>	<p>③</p> <p>自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】</p>		<p>実際に作成した個別避難計画作成を活用し防災訓練等に参加し、計画の実効性を向上させるための計画の修正や見直しなどの取り組み</p>
		<p>②</p>	<p>④</p> <p>個別避難計画作成に際して、支援を行った人数【人】</p>		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策 名
取組方針 (1)	成果指標	①	人	0	17	35	52	70	88	105	新規	
	成果指標	②	%	12.8	18.4	18.6	18.8	19.0	19.2	19.4	新規	
	活動指標	③	人	18	35	53	70	88	105	123	新規	
	活動指標	④	%	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	新規	
	成果指標	②										
	活動指標	③	人	-	-	500	100	300	100	300	新規	
	活動指標	④	人	-	-	100.0	200.0	200.0	200.0	200.0	新規	

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)				出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数【人】		救援センターの環境整備を進めるにあたり、防災士の資格を取得者を配置して運営協議会等に参加してもらえる状態をつくることが重要であるため				所管課データ	
	成果指標	②	区民意識調査によるアンケートにおいて、「そう思う」「ほぼそう思う」と回答した人の割合		区民の防災意識の裾野を拡げる取り組みとして学校や地域で防災講話を継続実施する中で、区民が防災への意識をもっている指標とすることができるため。				区民意識調査	
	活動指標	③	すでに防災士の資格を取得している人を含めた、災害時における救援センターでの活動に協力する意向を示した区民の数【人】		コロナ禍において、在宅避難が推奨されるようになったが、在宅避難を可能にするためには備蓄等ができていくことが重要であるため				所管課データ	
	活動指標	④	救援センター開設運営訓練の参加者人数【人】		避難者対策を浸透させるには、当課が実施する救援センター開設運営訓練により多くの人に参加してもらい、救援センター運営の知識の普及啓発を踏ることが重要であるため				所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】		個別避難計画の作成状況の進捗を客観的に図る指標であるため				所管課データ	
	成果指標	②								
	活動指標	③	自己作成により新たに個別避難計画を作成した人数【人】		個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため				所管課データ	
	活動指標	④	個別避難計画作成を自己作成することが困難なため、作成委託等により個別避難計画の作成を行った人数【人】		個別避難計画の作成状況の具体的な数値を図る指標であるため				所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	方針を適切に表している	① 目標が明確に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等と方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓			人	0	17	35	52	70	88	105	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	12.8	18.4	18.6	18.8	19.0	19.2	19.4	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓					人	18	35	53	70	88	105	123	適切
	活動指標 ④	△		✓	✓				%	1,320	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	-	-	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					人	-	-	500	100	300	100	300	適切
	活動指標 ④	△		✓					人	-	-	100	200	200	200	200	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数【人】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】	・両指標を記載することによって、避難行動要支援者の視点と災害時要援護者を含めた区民の視点をもって成果を表すことができるため。

指標設定チェックシート

施策名	1-1-④	災害に強い都市の実現
部課名	都市整備部 地域まちづくり課・建築課・道路整備課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●建物の不燃化・耐震化が図られ、道路、公園等の整備が進み、誰もが住み続けられる安全・安心なまちづくりが進んでいる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いざという時に区民が安全に避難できるように、区内の狭あい道路の拡幅整備を着実に推進するとともに、区道の無電柱化を計画的に進めます。また、木造住宅密集地域の防災生活道路の整備促進や、救援センターへの避難経路等の整備を図ります。 ●老朽化した建物の除却や建替え、耐震化を促進します。 ●木造住宅密集地域では、地域住民で構成されるまちづくり協議会や関係権利者の協力を得ながら道路や公園づくりを進めるとともに、災害時に必要な防災設備を確保し、延焼による焼失率がほぼ0%となる「不燃領域率70%以上」を目指します。 ●特定整備路線沿道の建替え促進や共同建替えの推進等、東京都の都市計画道路整備事業と連携したまちづくりを進め、延焼遮断帯の形成を図ります。 ●建物の倒壊による道路閉鎖等を防止するため、特定緊急輸送道路沿道建築物*の所有者に対する耐震化の働きかけを強化し、沿道建物の耐震化100%を目指します。 ●地震等に強い道路、橋梁、建物を整備することにより、災害時にも迅速な復旧・復興が可能なまちづくりを進めます。 	<p>① 重点整備地域内の不燃領域率【%】</p>	<p>③ 不燃化特区事業助成金件数【件】</p>	<p>○道路・公園などのハード整備や区民等で構成されるまちづくり協議会等の活動によって、区民の防災意識の気運醸成につながったか。</p> <p>○狭あい道路が拡幅され、緊急車両が通行可能となったことで、防災性、安全性が向上したか。</p> <p>○区内の橋梁の健全度が高まり、利用者や地域の安全性が確保されたか。</p>
		<p>② 狭あい道路拡幅整備率【%】</p>	<p>④ 拡幅整備工事延長【m】</p>	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大雨や台風による被害を抑えるために、東京都と連携し、透水性舗装の整備や雨水樹の適切な維持管理を行います。 ●災害に対する適切な水防対応を行うため、神田川の水位警報装置を適切に管理するとともに、道路冠水に備えた監視システムを構築します。 	<p>① 雨水流出抑制対策量【万㎡】</p>	<p>③ 雨水樹清掃件数【箇所】</p>	<p>○透水性舗装の整備や河川監視システムを構築することで、区民の水害への安心感につながっているか。</p>
		<p>②</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	重点整備地域内の不燃領域率【%】	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	成果指標	②	狭あい道路拡幅整備率【%】	%	40.1	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0	新規	
	活動指標	③	不燃化特区事業助成金件数【件】	件	100	231	239	—	—	—	—	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	④	拡幅整備工事延長【m】	m	2,909	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	雨水流出抑制対策量【万㎡】	万㎡	6.3	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	継続	6-4-5 総合治水対策の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	雨水樹清掃件数【箇所】	箇所	8,838	8,900	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400	継続	6-4-5 総合治水対策の推進
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空き地の状況から算出する。	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。		所管課データ	
	成果指標	②	(既整備工事済総延長÷区内狭あい道路総延長)×100で算出する。	狭あい道路の整備と解消を図る(整備率100%を目指す)ため		所管課データ	
	活動指標	③	不燃化特区指定区域内における建築建替え及び除却に対する助成件数	助成実績は、建物の不燃化・耐震化の進捗を示す活動指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	1年間に整備した狭あい道路延長の合計	1年間に整備を期待する(整備可能な)値		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区有施設及び民間施設で整備した累計数量	神田川及び石神井川流域に位置する関係区市において、時間75mm対応にするための雨水流出抑制対策量		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	通常及び台風前等の雨水樹清掃の年間処理件数	ゲリラ豪雨等の対応には、日頃からの雨水樹清掃が必要であるため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等と一致している	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	重点整備地域内の不燃領域率【%】	◎	✓	✓		✓	✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	成果指標	②	狭あい道路拡幅整備率【%】	○	✓	✓		✓		%	40.1	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0	適切
	活動指標	③	不燃化特区事業助成金件数【件】	○	✓	✓			✓	件	100	231	239	—	—	—	—	適切
	活動指標	④	拡幅整備工事延長【m】	○	✓	✓				m	2,909	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	適切
取組方針(2)	成果指標	①	雨水流出抑制対策量【万㎡】	○	✓	✓			✓	万㎡	6.3	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	適切
	成果指標	②																
	活動指標	③	雨水枿清掃件数【箇所】	△		✓		✓	✓	箇所	8,838	8,900	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400	適切
	活動指標	④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)①	重点整備地域内の不燃領域率【%】	建物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算出した、市街地の「燃えにくさ」、つまり防災性が高まったことを示す指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)②	狭あい道路拡幅整備率【%】	区条例に基づくオリジナルの施策であり、区道、私道を問わず、区全域にわたって狭あい道路の拡幅整備を行うもので、安全・安心のまちづくりに大きく寄与するため。

指標設定チェックシート

施策名	1-②	地域における区民参画・協働の推進
部課名	区民部 区民活動推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●国籍を問わず多様な世代が地域活動の担い手として参画し、地域コミュニティが活性化することで、地域における人々とのつながりや信頼関係が深まり、安全・安心、幸福度が高まっている。</p> <p>●公民の協働や地域団体の相互連携が進み、地域課題の解決に向けて共に協力し合っている。</p>	(1)	<p>●区が区民と共に、また区民自らが地域課題を解決するには、町会・自治会等の組織を強化し、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。このため、若年層や現役世代の町会等への参画を促進し、デジタル化、SNS活用、イベント開催、情報発信の強化等を通じて、住みやすいまちの実現に向けて取り組みます。</p> <p>●また、災害発生時に地域コミュニティの力が発揮できるよう、日頃から町会等のつながりを大切にし、顔の見える付き合い、お互いが声掛けしやすい環境づくりに取り組みます。</p> <p>●町会、区民ひろば、NPOをはじめとした、様々な地域コミュニティのネットワーク構築を推進し、さらに企業や大学等、地域貢献に意欲のある人々や団体とのマッチング・連携を支援します。これにより地域活動をさらに活性化させ、協働による地域課題の解決に積極的に取り組みます。</p>	① 「様々な地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	① 町会セミナー参加町会の割合【%】	町会活動のSNS活用の取り組みにより、どのくらいの人が町会加入に興味を持ったか。
		②		② 東京都地域の底力発展事業助成を利用する町会数【件】	
	(2)	①	① 区とNPO等との協働事業の実施数【件】	③ 区民活動支援講座参加者数【人】	地域団体の相互連携の促進度
		②	②	④ 地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名		単位	新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	「様々な地域活動団体やNPO企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合	%	31.6	23.3 (実績値)	24.0	25.5	27.0	28.5	30.0	継続	1-1-1地域における区民参画・協働の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	町会セミナー参加町会の割合	%	32.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	新規	
	活動指標 ④	東京都地域の底力発展事業助成利用町会	件	11	12	14	16	18	20	22	新規	
取組方針 (2)	成果指標 ①	区とNPO等との協働事業の実施数	件	229	240	250	260	270	280	290	継続	1-1-1地域における区民参画・協働の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	区民活動支援講座参加者数	人	147	150	160	170	180	190	200	新規	
	活動指標 ④	地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数	人	677	800	800	800	800	800	800	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	「様々な地域活動団体やNPO企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答する区民の割合	協働・参画に関する区の施策に対する区民の評価を客観的に把握できる指標のため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	町会セミナー参加町会の割合	町会活動の活性化を示す指標であるため		所管課データ
	活動指標 ④	東京都地域の底力発展事業助成利用町会	町会活動の活性化を示す指標であるため		所管課データ
取組方針 (2)	成果指標 ①	区とNPO等との協働事業の実施数【件】	区とNPO等との協働の成果を示す指標であるため。		所管課データ
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	区民活動支援講座参加者数【人】	講座開催により地域団体の団体組織力向上や区民活動を支援した規模を示す指標であるため。		所管課データ
	活動指標 ④	地域団体等交流イベント(社会貢献活動見本市等)の参加者数【人】	社会貢献活動団体の交流やマッチングを支援した規模を示す指標のため。		所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等と方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	31.6	23.3 (実績値)	24.0	25.5	27.0	28.5	30.0	目標値が高すぎる	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					%	32.6	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	目標値が高すぎる
	活動指標 ④	△		✓					件	11	12	14	16	18	20	22	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	件	229	240	250	260	270	280	290	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	△		✓					人	147	150	160	170	180	190	200	適切
	活動指標 ④	△	✓		✓				人	677	800	800	800	800	800	800	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「様々な地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	区とNPO等との協働事業の実施数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	1-③	地域における活動・交流拠点の充実
部課名	区民部 区民活動推進課、地域区民ひろば課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●区民ひろばや地域活動交流センター等の地域活動の拠点において、様々な区民のニーズを捉えた事業が展開され、区内で活躍する多様な地域人材や地域団体の連携及び交流が活発に行われている。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業やNPO、社会福祉法人、大学等、多様な主体と連携し、地域特性に応じた特色ある区民ひろばをつくります。 ●デジタル化を進め、地域特性やニーズを分析した事業を展開することで、区民ひろばの新たな利用者層を拡大させ、多様な世代・属性を持つ区民やグループの交流をさらに促進します。 ●健康的な暮らしと福祉の促進をサポートするほか、中学生から現役世代の利用を促進するため、コミュニティカフェ、スポーツ、アート、音楽などの多彩なメニューを展開し、あらゆる人の居場所としての「新・区民ひろば」を実現します。 ●区民ひろばの改築・改修を契機に、機能的なレイアウトへの見直しやバリアフリー化のさらなる推進、オンライン機能の充実を図り、赤ちゃんから高齢者、障害者、外国人など多様な方が気軽に安心して利用できる施設として整備します。 	<p>① 区民ひろばの登録者数【人】</p>	<p>③ 区民ひろばにおける事業実施回数【回】</p>	<p>地域区民ひろばの存在により、多様な世代の交流がどれだけ進み、地域コミュニティが形成されたかどうか。</p>
		<p>② 区民ひろばの来館者数【人】</p>	<p>④</p>	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区内のNPOを支援する地域活動交流センターにおいて、対面の交流会に加え、SNSを活用した時間や場所にとられないコミュニケーションの場を設け、団体交流の促進を図ります。また、区民ひろばと連携し、区民活動支援の一層の充実を図ります。 ●区民集会室においては、SNSを活用したりリモートなどの新たな活動方法にも対応する環境を整備するとともに、子育て世代や中高生の居場所の提供などの仕組みを整備します。 	<p>① 「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>④ 地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数【回】</p>	<p>地域活動の拠点の提供により、団体の活動や団体間の連携等が活発になったか。</p>
		<p>②</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	区民ひろばの登録者数	人	21,609	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	新規	
	成果指標	②	区民ひろばの来館者数	人	708,754	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	活動指標	③	区民ひろばにおける事業実施回数	回	18,947	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500	22,000	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	活動指標	④											
取組方針(2)	成果指標	①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	%	25.1	31.3 (実績値)	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	継続	1-1-2地域における活動・交流拠点の充実
	成果指標	②											
	活動指標	③	区民集会所利用率 ※区民活動推進課所管分	%	42.2	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	新規	
	活動指標	④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数	回	2	4	6	6	6	6	6	新規	

指標			指標の算出方法			指標の設定理由(施策目標との関係)			出典		
取組方針(1)	成果指標	①	区民ひろばの登録者数	地域区民ひろばを利用した実人数を適切に把握できる値であるため。			所管課データ				
	成果指標	②	区民ひろばの来館者数	地域区民ひろばにおける活動の成果を広く把握できる値であるため。			所管課データ				
	活動指標	③	区民ひろばで実施した事業数	地域区民ひろばにおける事業実施の活動量の指標であるため			所管課データ				
	活動指標	④									
取組方針(2)	成果指標	①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため			協働のまちづくりに関する区民意識調査				
	成果指標	②									
	活動指標	③	区民集会所利用率 (※区民活動推進課所管分)	集会所の利用割合を示す指標であるため			所管課データ				
	活動指標	④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数【回】	・地域活動交流センターの設置目的の一つでもある「団体交流」を支援する活動量の指標であるため			所管課データ				

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等と一致している	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	区民ひろばの登録者数	◎	✓	✓	✓	✓	人	21,609	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	適切	
	成果指標	②	区民ひろばの来館者数	○	✓	✓			人	708,754	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	適切	
	活動指標	③	区民ひろばにおける事業実施回数	△		✓			回	18,947	19,500	20,000	20,500	21,000	21,500	22,000	適切	
	活動指標	④																
取組方針(2)	成果指標	①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合	◎	✓	✓	✓	✓	%	25.1	31.3	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	区民集会室利用率 ※区民活動推進課所管分	△		✓			%	42.2	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0	50.0	適切	
	活動指標	④	地域活動交流センターにおける団体交流会等の実施数	△		✓			回	2	4	6	6	6	6	6	6	目標値が低すぎる

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	区民ひろばの登録者数【人】	・登録数は区民ひろばを利用したことがある区民の数を把握するには一番適した値であり、これからの取組方針の進捗を計るには一番ふさわしい指標であると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。

指標設定チェックシート①

施策名	1-④	良質で長く住み続けられる住環境の整備
部課名	都市整備部 住宅課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●子育て世帯の定住化が進み、多様な世代・世帯に応じた質の高い住宅がバランスよく確保され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。</p>	<p>(1) ●子育て世帯の「良質な住まいの確保」への支援や、子育て世帯と親世帯との同居・近居への支援等により、子育て世帯の定住支援に取り組みます。</p> <p>●民間賃貸住宅のオーナーに対して、住宅確保要配慮者の入居を断らないセーフティネット 住宅等への登録の支援を行い、住み慣れた地域で暮らし続けられる住まいの確保を促進するとともに、社会福祉協議会、居住支援協議会、地域団体等との協働により、入居から入居後の生活支援まで、福祉施策と連携し、住宅確保要配慮者への切れ目ない支援体制の強化に取り組みます。</p> <p>●民間住宅を活用した、居住の安定のための新たな支援制度の検討を進めます。</p>	① 「現在住んでいる地域に住み続けたい」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 家賃助成件数【累計】	<p>・居住支援協議会や不動産団体、地域の居住支援法人等の連携による横のつながりの強化</p>
		② セーフティネット専用住宅の登録件数【戸】	④ セーフティネット専用住宅における家賃低廉化補助件数【累計】	
	<p>(2) ●子育て世帯に適した居住面積がある住戸の供給誘導を行うなど、民間活力を活用した多様な世帯構成・世帯規模に対応する住戸の整備を促進します。</p> <p>●分譲マンション管理組合に対して、適切な管理状況の届出の勧奨や、長寿命化についての積極的な情報発信、支援を行うことにより、組合員の当事者意識を高め、適正な維持管理を推進し、管理水準の向上を図ります。</p> <p>●空き家利活用に関する啓発や情報提供、管理不全な建物に対する指導や助言等により、空き家の適正な維持管理を推進するほか、不動産関係団体や空き家活用事業者と連携し、高齢者や女性、若者向けのシェアハウスや居場所等の整備を促進します。</p> <p>●区営住宅等の供給については、建替えや都営住宅の移管を基本として推進し、建替えにあたっては、区全体の住宅支援策と連動しつつ戸数の増を図ります。</p>	① ファミリー世帯の構成割合【%】	③ 地域貢献型／共同居住型空き家利活用事業における補助件数【累計】	<p>・空き家利活用団体同士の繋がりがりや連携による空き家利活用事業の活性化</p>
		② 長期修繕計画を作成しているマンションの割合【%】	④ 分譲マンションに対する訪問調査件数【累計】	
	<p>(3) ●防災や防犯に関する住宅設備の充実と対策の強化、地域コミュニティの形成による防災力・防犯力の向上を推進するとともに、緑化や省エネ対策等、環境へ配慮した健康的に暮らせる住宅・住環境の整備を推進します。</p> <p>●NPO・地域団体が運営する子ども食堂やコミュニティカフェ、コワーキングスペース等、地域における居住機能を支える居場所の創出を支援します。</p>	① 【再掲(施策1-1)】密集事業地区内の不燃領域率	③ 【再掲(施策1-1)】不燃化特区事業助成金件数	
		② 「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	④ 地域貢献型空き家利活用事業における補助件数【累計】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名			
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値		
取組方針(1)	成果指標	①	「現在住んでいる地域に住み続けたい」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	83.2	81.0	81.5	82.0	82.5	83.0	83.5	継続	6-2-1安心・安全に住み続けられる住まいづくり
	成果指標	②	セーフティネット専用住宅の登録件数	戸	32	35	66	70	101	104	117	新規	
	活動指標	③	家賃助成件数【累計】	件	752	820	890	960	1,030	1,100	1,170	継続	6-2-1安心・安全に住み続けられる住まいづくり
	活動指標	④	セーフティネット専用住宅における家賃低廉化補助件数【累計】	件	18	22	53	57	88	92	106	継続	6-2-1安心・安全に住み続けられる住まいづくり
取組方針(2)	成果指標	①	ファミリー世帯の構成割合【%】	%	19.1	19.5	19.7	20.0	20.3	20.6	21.0	新規	
	成果指標	②	長期修繕計画を作成しているマンションの割合	%	61.1%	61.2%	61.4%	61.5%	61.7%	61.8%	61.9%	新規	
	活動指標	③	地域貢献型／共同居住型空き家活用事業における補助件数【累計】	件	8	11	14	17	20	23	26	新規	
	活動指標	④	分譲マンションに対する訪問調査件数【累計】	件	984	1,034	1,084	1,134	1,184	1,234	1,284	継続	6-2-2良質な住宅ストックの形成
取組方針(3)	成果指標	①	「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	10.4	9.7	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	継続	6-2-2良質な住宅ストックの形成
	成果指標	②	【再掲(施策1-1)】密集事業地区内の不燃領域率	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成
	活動指標	③	地域貢献型空き家活用事業における補助件数【累計】	件	5	7	9	11	13	15	17	継続	6-2-2良質な住宅ストックの形成
	活動指標	④	【再掲(施策1-1)】不燃化特区事業助成金件数【件】	件	100	231	239	—	—	—	—	継続	6-4-1 災害に強い都市空間の形成

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	区民意識調査の同質問に「いつまでもすみ続けたい」「当分住み続けたい」と回答する区民の割合	住み慣れた地域での定住意向を示す指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	豊島区におけるセーフティネット専用住宅の登録件数(高齢者優良賃貸住宅の移行分を含む)	住宅確保要配慮者の専用住戸の件数はへの住宅セーフティネット制度への取り組みの成果を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	高齢者等住み替え家賃助成、子育てファミリー世帯家賃助成事業における新規の家賃助成件数【累計】	良質な住宅への誘導または居住改善を図り、住み慣れた地域で暮らし続けることを示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	セーフティネット専用住宅において家賃低廉化補助を実施した住戸数【累計】(高齢者優良賃貸住宅の移行分を含む)	住宅セーフティネット事業の進捗状況を表す客観的な指標となるため		所管課データ	
取組方針(2)	成果指標	①	豊島区の全世帯数に占めるファミリー世帯数の割合【%】	ファミリー世帯の定住支援策の効果を示す指標であるため。		所管課データ	
	成果指標	②	区内分譲マンションのうち25年以上の長期修繕計画を作成しているマンションの割合	管理組合がマンションの長寿命化を図るために、修繕積立金の設定額の見直しを行い、適正管理化を図っていることを示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	区の地域貢献型および共同居住型空き家活用事業における補助件数【累計】	空き家等が有効活用されていることを示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	マンション管理支援チーム派遣事業における職員及び専門家による分譲マンション訪問調査件数【累計】	分譲マンションの管理不全を予防することを目的とした、プッシュ型支援の取り組み状況を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針(3)	成果指標	①	区民意識調査の同質問に「そう思う」と回答する区民の割合	良質な住宅や、地域での生活を支える住宅制度が整備されていることを示す指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	市街地の「燃えにくさ」を表す指標。建築物の不燃化や道路・公園などの空き地の状況から算出する。	市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、不燃領域率が70%を超えると市街地の焼失率がほぼ0となるため。		所管課データ	
	活動指標	③	区の地域貢献型および共同居住型空き家活用事業における補助件数【累計】	空き家等が地域貢献施設に有効活用されていることを示す指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	不燃化特区指定区域内における建築建替え及び除却に対する助成件数	助成実績は、建物の不燃化・耐震化の進捗を示す活動指標であるため。		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と目標方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	83.2	81.0	81.5	82.0	82.5	83.0	83.5	適切	
	成果指標 ②	△	✓					戸	32	35	66	70	101	104	117	目標値が低すぎる	
	活動指標 ③	○	✓	✓				件	752	820	890	960	1,030	1,100	1,170	適切	
	活動指標 ④	△		✓				件	18	22	53	57	88	92	106	適切	
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓		%	19.1	19.5	19.7	20.0	20.3	20.6	21.0	適切	
	成果指標 ②	○	✓	✓				%	61.1%	61.2%	61.4%	61.5%	61.7%	61.8%	61.9%	目標値が低すぎる	
	活動指標 ③	△		✓				件	8	11	14	17	20	23	26	適切	
	活動指標 ④	△		✓				件	984	1,034	1,084	1,134	1,184	1,234	1,284	適切	
取組方針(3)	成果指標 ①	△	✓		✓		✓	%	10.4	9.7	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	適切	
	成果指標 ②	◎	✓	✓			✓	✓	%	67.8	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0%以上	適切
	活動指標 ③	△		✓				件	5	7	9	11	13	15	17	適切	
	活動指標 ④	○	✓	✓				件	100	231	239	-	-	-	-	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「現在住んでいる地域に住み続けたい」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・各取組方針の趣旨をわかりやすく表しており、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	ファミリー世帯の構成割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	1-5	治安対策の推進による地域防犯力の向上
部課名	総務部 防災危機管理課 治安対策担当	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●区民や町会等の各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携が強化され、公民が一体となって 防犯活動に取り組み、犯罪のない誰もが安心して暮らせるまちを実現している。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安心して暮らせるまちの実現に向けて、全庁横断的な対策本部を設置して対応にあたるとともに、警察をはじめとした関係機関との協働・連携を強化し、地域の様々な主体が持つ多様な視点を生かし、地域の自助・共助の気運を高めます。 ●特殊詐欺、危険ドラッグ、虐待、痴漢、性被害等から子ども・若者・女性・高齢者等を守るため、警察と連携した犯罪被害防止対策に取り組みます。 ●SNSの活用及び講話・各種イベント等の様々な方法により、区民に分かりやすい防犯情報を積極的に発信します。 ●青色防犯灯付きパトロール車の365日運行による警戒や、区・警察・地域団体等、公民が一体となって実施する繁華街等における客引き対策・路上喫煙対策・違法看板対策等の環境浄化・防犯パトロールを推進し、犯罪の抑止を図るとともに、まちのイメージを向上させます。 	①	区内の刑法犯認知件数【件】	③	防犯対策等の情報発信件数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・青パト・繁華街警備隊の委託事業者から報告のある区民等からの激励事例 ・青パト隊・繁華街警備隊による特異取扱い及び好事例 ・新たに環境浄化・防犯パトロールに参加したコミュニティの事例 ・治安対策担当課員が平時に繁華街を歩いた際、取締りを警戒して客引き行為をやめる抑止力 ・青パト・繁華街警備隊による区内の治安情勢に順応した広報
		②	「治安が良く、安心して暮らせる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	④	環境浄化パトロール実施回数 豊島区客引き行為等の防止に関する条例に基づく取締り件数【回】	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯パトロールでは、若者からシニアまで幅広い年齢層や地域の企業等の防犯活動参加を促すことで、「ひとのつながり」を築き、相互に見守り合う地域の主体的な取組による防犯環境の構築を支援します。 ●犯罪の予防や事件捜査で活用されている街頭防犯カメラの設置・更新及び維持管理経費等 に対する助成を行うことによる防犯環境の整備や防犯指導など、区と警察の連携した支援 を強化し、地域全体の防犯力の向上を図ります。 ●特殊詐欺は、若者が安易に加害者として関わる恐れがあるため、犯罪に加担しないことを含めた普及啓発をするとともに、高齢者等に対して区で無償貸与している自動通話録音機 の設置を促進するなど、警察と連携して特殊詐欺の根絶を図ります。 	①	区内の刑法犯認知件数【件】	③	補助金を活用した街頭防犯カメラの設置台数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等による既設街頭防犯カメラの活用事例 ・既設カメラに貼付している「防犯カメラ作動中」ステッカーの犯罪抑止効果 ・防犯カメラ助成制度について、各種媒体を利用した周知を図ったか
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	継続	6-5-1 治安対策の推進
	成果指標 ②	「治安が良く、安心して暮らせる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	33.4	39.1 実績値	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0	新規	
	活動指標 ③	防犯対策等の情報発信件数	回	58	60	60	60	60	60	60	新規	
	活動指標 ④	環境浄化パトロールの実施回数	回	104	135	135	135	135	135	135	継続	6-5-1 治安対策の推進
取組方針(2)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	継続	6-5-1 治安対策の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	補助金を活用した街頭防犯カメラの設置台数	件	102	100	100	100	100	100	100	新規	
	活動指標 ④											

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針(1)	成果指標 ①	警視庁が公開している数値を参照	区内の治安情勢を示す指標であるため	警視庁
	成果指標 ②	「治安が良く、安心して暮らせる」の問いについて肯定的な回答をする割合	区民の体感治安・施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	活動指標 ③	防犯対策等の情報発信件数	区民との情報共有を図り、犯罪被害予防対策の推進状況を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④	警察や地域団体と連携して実施したパトロールのうち、治安対策担当職員が参加したパトロールの実施回数	地域防犯力の向上、官民一体となった治安対策の推進状況を示す指標であるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	警視庁が公開している数値を参照	区内の治安情勢を示す指標であるため	警視庁
	成果指標 ②			
	活動指標 ③	年度内に都・区補助金を活用して設置した街頭防犯カメラの設置台数	地域防犯力の向上、自助共助に関する気運の向上を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④			

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	○	✓	✓		✓	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	適切	
	成果指標 ②	「治安が良く、安心して暮らせる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓	✓		%	33.4%	39.1%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	適切	
	活動指標 ③	防犯対策等の情報発信件数	△		✓				回	58	60	60	60	60	60	60	適切
	活動指標 ④	環境浄化パトロールの実施回数	△		✓	✓	✓		回	104	135	135	135	135	135	135	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	区内の刑法犯認知件数	○	✓	✓		✓	件	3,405	3,300	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	補助金を活用した街頭防犯カメラの設置台数	△		✓			件	102	100	100	100	100	100	100	100	適切
	活動指標 ④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区内の刑法犯認知件数【件】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(1)-②	「治安が良く、安心して暮らせる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・両指標を掲載することによって、区内の治安情勢に係る客観的評価と区民の体感治安という主観的評価をもって成果を表すことができるため。

指標設定チェックシート

施策名	2-①-1	妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実
部課名	健康部 健康推進課 長崎健康相談所 / 子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●妊娠期から乳幼児期の子育て世帯が、必要な時に気軽に相談でき、つながり・見守られ続けることで誰もが安心して子どもを産み育てられる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子保健と児童福祉とが一体的に支援する機能を有する「こども家庭センター」が、それぞれ専門性を生かして、必要な支援を早期発見し、総合的な支援を実施することで、地域の中で安心して子育てできる環境を作ります。 ●全ての妊婦を対象とした面接や、乳児がいる世帯への訪問、産後ケア、見守り訪問等により、子育てにおけるリスクを早期に把握します。 ●健康面、精神面のフォローや、生活環境等について継続的に支援が必要な世帯に対して伴走型支援を行うとともに、関係機関や関係団体と見守り続けることにより、孤独・孤立化を防ぎます。 ●外国人世帯が適切な支援を受けられるよう、NPOや支援団体等と連携した多言語による情報発信や相談対応を強化します。 ●妊娠・出産を控えた母親・父親同士が集うイベントや講演会の開催等、参加者同士が意見や情報を共有できる機会を創出し、親同士のコミュニティの形成を図ります。 ●父親も支援を受けやすくなるよう、男性視点による情報の発信や、子育て情報を収集・交換できる場を提供します。 ●子育て世帯への情報提供や手続は、デジタル化により利便性を高めるとともに、SNS等を活用し、ターゲットを絞った積極的な情報発信を強化します。 ●「東部子ども家庭支援センター*」の再整備の検討を進めるとともに、「こども家庭センター」の妊娠期から乳幼児期の子育て世帯に対する支援を拡充します。 	<p>① 「妊娠・出産期からきめ細やかな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>④ ゆりかご面接実施数【件】</p>	<p>・豊島区の妊娠期からの切れ目のない子育て支援を理由に転入した世帯数</p>
<p>② 父親向けの講習会等の参加者数</p>	<p>⑤ 父親向けの講習会等の開催数</p>			
<p>③ サポートプラン作成数【件】</p>	<p>⑥ 家庭訪問件数【件】</p>			

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標	① 「妊娠・出産期からきめ細やかな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	20.4	27.5 実績値	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実
	成果指標	② 父親向けの講習会等の参加人数	人	150	160	160	160	170	170	170	新規	
	成果指標	③ サポートプラン作成数	件	—	30	60	70	80	90	100	新規	
	活動指標	④ ゆりかご面接実施数	件	2,132	2,140	2,140	2,140	2,150	2,150	2,150	新規	
	活動指標	⑤ 父親向けの講習会等の開催回数	回	15	16	16	16	17	17	17	新規	
	成果指標	⑥ 家庭訪問件数	件	4,091	4,100	4,100	4,120	4,120	4,140	4,140	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標	① 区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	② 出産前・出産後の各種講座の中で、父親向けの講座に出席した人数	特に父親の子育てに関する理解を深めることは重要であることから、父親が何人出席したかについては重要な指標である。		所管課データ
	成果指標	③ こども家庭センター(健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センター)で訪問及び相談対応を実施し、支援が必要と決定しサポートプランを作成した件数	こども家庭センターとしての成果を図るうえでサポートプラン作成数は最も成果指標にふさわしいため		所管課データ
	活動指標	④ 妊娠届出時の面接(ゆりかご面接)の実施数	切れ目のない支援の始点として重要な指標であるため		所管課データ
	活動指標	⑤ 出産前・出産後の各種講座の中で、父親向けの講座を何回開催したかについて成果を定める。	父親の子育てに関する知識を深める各講座を何回開催したかについては、講師の手配や準備等を行う観点から活動指標として重要な指標である。		所管課データ
	成果指標	⑥ こども家庭センター(健康推進課、長崎健康相談所及び子ども家庭支援センター)で訪問及び相談対応を行った件数	出産・子育て期の妊婦に寄り添って対応する活動指標は、孤独・孤立を防ぐ観点から重要な指標であるため。		所管課データ

【3.事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組 方 針 を 適 切 に 表 し て	② デ ー タ や 算 定 方 法 の 信 頼 性 が 高 い	③ 豊 島 区 ら し さ を 表 し て	④ 指 標 自 体 が ポ ジ テ ィ ブ な 印 象 で あ る	⑤ 標 の 方 向 性 が 示 さ れ て	⑥ 現 計 画 と 継 続 す る 指 標 が あ る	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目 標 値 設 定 の 判 定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
成果指標 ① 「妊娠・出産期からきめ細やかな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	◎	✓	✓		✓		✓	%	20.4	27.5 実績値	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0	適切
成果指標 ② 父親向けの講習会等の参加人数	△		✓		✓			人	150	160	160	160	170	170	170	適切
成果指標 ③ サポートプラン作成数	○	✓	✓		✓			件	—	30	60	70	80	90	100	適切
活動指標 ④ ゆりかご面接実施数	△		✓	✓	✓			件	2,132	2,140	2,140	2,140	2,150	2,150	2,150	適切
活動指標 ⑤ 父親向けの講習会等の開催回数	△		✓		✓			回	15	16	16	16	17	17	17	適切
活動指標 ⑥ 家庭訪問件数	△		✓		✓			件	4,091	4,100	4,100	4,120	4,120	4,140	4,140	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「妊娠・出産期からきめ細やかな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため ・成果を図る指標としてふさわしく、経済的支援及び相談支援を実践し、「切れ目ない子育て支援」を実現するための不可欠な指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-③	サポートプラン作成数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	2-①-2	未就学児の子育て世帯への支援
部課名	子ども家庭部 子ども家庭支援センター 保育課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●就学前の子育て世帯が悩みを抱えこまず、孤立することなく、安心して子育てしやすい環境が整っている。</p>	<p>(1) ●子どもの成長に伴って生じる様々な心配事や悩みについて、身近な施設で気軽に相談できる「地域子育て相談機関」を整備し、未就学期の子どもがいる世帯を、早期に包括的に支援できる仕組みづくりを行います。</p> <p>●支援にあたっては、世帯における課題を保護者等と共に明確化し、保護者自らが課題を解決する力を養い、将来の課題を予測し回避できるよう、関係機関や民間団体等と連携して総合的な対応を図ります。</p>	① マイほいくえん登録者数【人】	③ マイほいくえん実施園数【園】	<p>子育てひろば事業やマイほいくえん事業による保護者同士のつながりが生まれたか</p> <p>親子遊び広場事業を利用する方々が仲良くなり、横のつながりが生まれたか</p>
		② 親子遊び広場事業の利用者数	④ 親子遊び広場事業の相談件数	
	<p>(2) ●就労の有無に関わらず、保育施設を利用できる「定期預かり保育」や「一時保育」の利用、「マイほいくえん*」の登録を促進し、子育て家庭の孤立防止と、育児不安や負担の軽減を図ります。</p> <p>●障害や発達に課題があるなど、配慮を必要とする子どもとその世帯については、こども家庭センター*や児童発達支援センター*、保育園、幼稚園等が連携し、それぞれの専門性を生かし、子どもの発達段階や特性に応じて多角的に支援します。</p> <p>●育児休業から復帰する世帯は、生活の変化や夫婦間の役割分担の変化から生じる課題が多くなることから、職場復帰のための準備講座や講演会の開催、企業と連携したワークライフ・バランスの推進等、円滑な職場復帰をバックアップします。</p>	① 「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	③ 子ども家庭支援センター相談件数【件】	<p>訪問相談によって、満足度を得られたか</p>
		② 子育て訪問からの来館者数【件】	④ 子育て訪問実施数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	マイほいくえん登録者数	人	309	315	321	328	334	341	348	新規	
	成果指標	②	親子遊び広場事業の利用者数	人	26,899	26,900	27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実
	活動指標	③	マイほいくえん実施園数【園】	園	66	67	67	68	68	69	69	継続	
	活動指標	④	親子遊び広場事業の相談件数	件	3,166	3,170	3,180	3,190	3,200	3,210	3,220	継続	4-2-1地域の子育て支援の充実
	成果指標	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合	%	17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	22.7	新規	
	成果指標	②	子育て訪問からの来館者数	件	96	100	105	110	115	120	125	新規	
	活動指標	③	子ども家庭支援センター相談件数	件	16,102	16,110	16,120	16,140	16,160	16,180	16,200	新規	
	活動指標	④	子育て訪問実施数	件	4,091	4,100	4,120	4,140	4,160	4,180	4,200	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	①	各年度3月31日時点のマイほいくえんの登録者数を集計する	マイほいくえん事業は在宅子育て家庭への支援事業であるため、施策の指標として適しているため		所管課データ	
	成果指標	②	東部・西部子ども家庭支援センターの親子遊び広場事業の利用者数	在宅で子育てする保護者を孤独・孤立から防ぐ観点から、親子遊び広場事業利用者数は成果に直結しているため		所管課データ	
	活動指標	③	各年度3月31日時点のマイほいくえんの実施園数を集計する	マイほいくえん事業は在宅子育て家庭への支援事業であるため、施策の指標として適しているため		所管課データ	
	活動指標	④	親子遊び広場事業の相談件数	親子遊び広場事業利用者の相談対応した件数は、在宅子育て家庭へのアプローチを最も示す活動指標であるため		所管課データ	
	成果指標	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	子育て訪問から来館につながった件数	子育て訪問相談から来館に至った件数は、在宅支援を実施するうえで重要な活動指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	子ども家庭センターにおいて相談を受けた件数	在宅での子育てを行うことで生じた悩み事等について相談対応することで解消することは、支援において主たる成果に位置付けられるため。		所管課データ	
	活動指標	④	子ども家庭支援センターの訪問職員が子育て世帯の家へ訪問した件数	在宅子育ての家庭支援において、アウトリーチにより直接家へ訪問した件数は重要な活動内容であるため。		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定		
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標	①	マイほいくえん登録者数	◎	✓	✓	✓	✓	人	309	315	321	328	334	341	348	適切	
	成果指標	②	親子遊び広場事業の利用者数	△	✓		✓	✓	人	26,899	26,900	27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	適切	
	活動指標	③	マイほいくえん実施園数【園】	△		✓	✓	✓	園	66	67	67	68	68	69	69	適切	
	活動指標	④	親子遊び広場事業の相談件数	△		✓	✓	✓	件	3,166	3,170	3,180	3,190	3,200	3,210	3,220	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合	△	✓			✓	%	17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	22.7	適切	
	成果指標	②	子育て訪問からの来館者数	△		✓			件	96	100	105	110	115	120	125	適切	
	活動指標	③	子ども家庭支援センター相談件数	○	✓	✓	✓			件	16,102	16,110	16,120	16,140	16,160	16,180	16,200	適切
	活動指標	④	子育て訪問実施数	△		✓		✓	件	4,091	4,100	4,120	4,140	4,160	4,180	4,200	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	マイほいくえん登録者数【人】	・1は在宅で子育てする際のリスクとして、孤独・孤立に陥りやすい点が挙げられる。マイほいくえんの登録者数が増加することで、人とのつながりを増やし孤独・孤立を防ぐことができるため。 ・2は気軽に相談できる環境であるかを示す指標であるため。
2	活動指標	(2)-②	子ども家庭支援センター相談件数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	2-①-3	保育の質の向上・保育サービスの充実
部課名	子ども家庭部保育課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●一人ひとりを大切にされた質の高い保育により、多様な子どもたちが健やかに成長し、安心して子育てできる環境となっている。</p>	<p>(1) ●安全・安心な環境のもと、子どもが心身ともに健康に育ち、多様な経験ができる保育サービスを提供するため、文化体験の機会の創出、遊び場の拡大、特別保育の実施、保育人材の確保・育成、安全対策の強化、巡回指導・指導検査の充実等に取り組めます。</p> <p>●区立保育園では、子ども家庭支援センターや児童相談所等と連携し、特別な配慮が必要な障害児、医療的ケア児、外国籍・要支援家庭の子どもを受け入れ、子どもと保護者の支援に取り組むとともに、その知識や経験を私立保育園や地域型保育事業所*と共有し、様々な課題を抱える子どもを支える体制を強化します。</p> <p>●区内の幼児教育の拠点となる「幼児教育センター」を生かし、小学校との円滑な接続や人格形成の基礎を培う幼児教育を推進するとともに、区立保育園を中心とした地域の保育施設間の連携により、日常的な子どもの交流や保育士の学び合い等、保育の質向上に取り組めます。</p>	①	「需要に応じた保育サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	巡回支援の訪問件数【件】	<p>豊島区保育園連絡協議会（区立保育園を中心とした私立認可保育園、地域型保育事業との連携）により各園の連携を図ったことで、どれだけ保育の質が改善できたか。</p>
		②		④		
	<p>(2) ●区立保育園では、地域の保育需要に対応した定員調整を実施するとともに、私立保育園や地域型保育事業所と連携して、必要な保育定員の確保や定員の適正化に取り組めます。</p> <p>●大規模マンションの竣工等に伴う対策として、既存の保育施設において定員の確保に取り組むとともに、新たな認可保育園を整備するなど、局地的な保育需要の増加に対応します。</p> <p>●中長期的な区立保育園の整備方針を策定し、今後求められる区立保育園の役割への対応や計画的な施設更新を進めます。</p>	①	待機児童数【人】	③		<p>待機児童ゼロを維持するために実施している各種施策がどれだけ区民の満足度に繋がっているか。</p>
		②		④	公立保育園の医療的ケア児の受入可能児童数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「需要に応じた保育サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	-	26.1	26.6	27.1	27.6	28.1	28.6	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	巡回支援の訪問件数	件	298	298	306	314	322	322	322	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0	継続	4-2-2 保育施設・保育サービスの充実
	成果指標	②											
	活動指標	③											
	活動指標	④	公立保育園の医療的ケア児の受入可能児童数	人	1	3	5	6	7	7	7	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する区民意識調査について「需要に応じた保育サービスが提供されている」に肯定的な回答をする区民の割合	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	私立認可保育園や地域型保育事業所等に訪問した延べ回数を集計	保育施設への助言・指導のための訪問回数であり、保育の質の向上に密接に関係するため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	保育園の入園申し込みと入園の状況から算出	保育の提供は保育サービスの基本となる指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③					
	活動指標	④	医療的ケアの受入可能児童数を算出	保育サービスの充実に関わる指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組 目 針 を 適 切 に 表 し て	② デ タ 信 頼 性 が 高 い	③ 豊 島 区 ら し さ を 表 し て い る	④ 指 標 自 体 が ポ ジ テ ィ ブ な 印 象 で あ る	⑤ 標 の 方 向 性 が 示 さ れ て い る	⑥ 現 計 画 と 継 続 す る 指 標 と あ る	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目 標 値 設 定 の 判 定	
									実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	「需要に応じた保育サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓		✓	%	-	26.1	26.6	27.1	27.6	28.1	28.6	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	巡回支援の訪問件数	○	✓	✓		✓	件	298	298	306	314	322	322	322	適切	
	活動指標 ④																
取組方針(2)	成果指標 ①	待機児童数	◎	✓	✓	✓		✓	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	適切
	成果指標 ②																
	活動指標 ③																
	活動指標 ④	公立保育園の医療的ケア児の受入可能児童数	○	✓	✓		✓	人	1	3	5	6	7	7	7	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「需要に応じた保育サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・1については、施策の取り組みの成果が、区民の実感として把握できる指標であるため。 ・2については、保育の提供は保育サービスの基本となるものである。左記指標は保育が必要な家庭に保育サービスを提供できているかを測る重要なものであるため選定した。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	待機児童数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	2-①-4	課題を有する子育て世帯への支援
部課名	子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●課題を有する子育て世帯が、適切な支援を受け、子育ての喜びを感じられる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども家庭センターにおける見守り訪問等のアウトリーチを積極的に実施し、課題を有する子育て世帯を早期に発見し、適切な支援につなげます。 ●要保護児童対策地域協議会の関係機関や関係団体との連携を強化するとともに、区と民間団体等が一体となった支援を実施し、多様な課題を抱える世帯を支援します。 ●医療的ケア児*や発達障害児、難病の子ども、多胎児等、様々な支援が必要な子どもを育てる世帯に対し、医療的ケア児等支援協議会や発達障害者支援ネットワーク会議等を通じて、保健、医療、福祉、子育て、保育、教育等の関係部署が連携し、相談体制の強化と支援の充実を図ります。 ●家事・育児に負担感、不安感を感じる世帯に対し、育児支援ヘルパーの派遣やショートステイを実施することで、不安感・負担感を軽減します。 ●困難な状況に陥りやすい、ひとり親世帯や特定妊婦(支援が必要と認められる妊婦)に対して、伴走型の支援を行うことで、自立した生活の実現を目指します。 ●DV被害や様々な事情により居所がないなどの困難を抱えた女性や母子の緊急保護と相談支援の充実により、安全の確保と生活再建を図ります。 ●経済的な困難を抱える世帯の子どもに対して、企業や団体等と連携し、成長していく上で必要となる様々な体験の機会を創出します。 	①	発達相談から専門相談につながった割合【%】	③	発達相談対応件数【件】	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談を実施している保護者のつながりが生まれる ・関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例
		②		④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】 ※エスカレーション件数…継続対応に引き継いだ件数	
		①	居所のない女性・母子(DV被害者含む)を保護対応した件数【件】	③	ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数【件】	<p>支援により家族全員が安定した生活が送れるようになった事例</p>
		②		④	女性相談(含DV相談)の相談対応件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	発達相談から専門相談につながった割合【%】	%	17.7	25.0	30.0	35.0	40.0	50.0	55.0	継続	施策4-1-2
	成果指標	②											
	活動指標	③	発達相談対応件数【件】	件	1,937	1,945	1,953	1,961	1,969	1,977	1,985	新規	
	活動指標	④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】※エスカレーション件数…継続対応に引き継	件	5	27	27	27	27	27	27	新規	
	成果指標	①	居所のない女性・母子(DV被害者含む)を保護対応した件数【件】	人	42	44	45	45	45	45	45	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数【件】	件	46	50	55	60	65	70	75	新規	
	活動指標	④	女性相談(含DV相談)の相談対応件数【件】	件	3,113	3,150	3,200	3,250	3,300	3,300	3,300	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	発達相談から専門相談につながった割合【%】	子どもの発育や悩み事を発達相談で受け止め専門相談へつなぐ割合が、適切な支援を実施した成果を表す指標であるため。		所管データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	発達相談対応件数【件】	医療機関や民間団体と連携しながら支援を行っている指標となるため		所管データ	
	活動指標	④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	アウトリーチにより援助を必要とする家庭を把握し、適切な支援につなげたことを示す指標のため		所管データ	
	成果指標	①	居所のない女性・母子(DV被害者を含む)を保護対応した件数【件】	母子を含む女性の安全確保を行っていることを示す指標であるため		所管データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	ひとり親自立支援プログラム等事業につながった相談者の件数	就労支援をはじめとするひとり親の施策で将来的にも安定した生活ができていることを示す指標のため		所管データ	
	活動指標	④	女性相談(含DV相談)の相談対応件数	支援を必要とする女性・母子を把握し、適切に対応したことを示す指標のため		所管データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	発達相談から専門相談につながった割合【%】	○	✓	✓	✓		%	17.7	25.0	30.0	35.0	40.0	50.0	55	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	発達相談対応件数【件】	○	✓	✓	✓		件	1,937	1,945	1,953	1,961	1,969	1,977	1,985	適切	
	活動指標 ④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	◎	✓	✓	✓	✓	件	5	27	27	27	27	27	27	適切	
	成果指標 ①	居所のない女性・母子(DV被害者含む)を保護対応した件数【件】	○	✓	✓			人	42	44	45	45	45	45	45	適切	
	成果指標 ②																
	活動指標 ③	ひとり親自立支援プログラム等事業を利用した相談者の件数【件】	△		✓	✓		件	46	50	55	60	65	70	75	適切	
	活動指標 ④	女性相談(含DV相談)の相談対応件数【件】	△		✓			件	3,113	3,150	3,200	3,250	3,300	3,300	3,300	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	活動指標	1-④	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】※エスカレーション件数…継続対応に引き継いだ件数	訪問及び相談等から、支援につなげた件数が具体的に把握できるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	2-①	居所のない女性・母子(DV被害者含む)を保護対応した件数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	'2-②-1	就学前の子どもに対する教育
部課名	教育部 庶務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育が行われている。</p> <p>●幼稚園や保育園等の幼児教育施設の種別を問わず、就学前の子どもが小学校へ円滑に接続している。</p>	(1)	<p>●幼児教育に関わる教員・保育士の資質向上のための合同研修等を実施し、すべての公立・私立の幼稚園・保育園で、「幼稚園教育要領」や「保育所指針」に記載されている「思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体」等、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目指した幼児教育を、子どもの成長や個性を尊重したうえで推進します。</p> <p>●地域人材やNPO等と連携し、文化・芸術・音楽、自然環境に触れるなどの体験機会を増やすことで子どもの人格形成の基礎を育成します。</p> <p>●区内の幼児教育の拠点となる「幼児教育センター」を設置し、その機能等を広く周知するとともに、今後増加が見込まれる特別な支援が必要な子どもに対しても、質の高い教育が提供ができるよう、各幼児教育施設へ幼児教育アドバイザーを派遣し、幼稚園教諭・保育士への個別指導も行います。</p> <p>●「幼児教育センター」による相談窓口を充実させ、家庭で保育する保護者の悩みに応じた支援を行います。</p>	<p>① 子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした割合</p>	<p>③ 幼児アドバイザー派遣回数</p>	<p>思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」目指した幼児教育の評価</p>
		<p>② すくわくプログラム推進事業体験園児数</p>	<p>④ すくわくプログラム推進事業実施園数</p>		
	(2)	<p>●子どもに関する情報交換や年間行事の共有等を行う「保幼小連絡会」を小学校学区単位で開催し、幼児教育に関わる幼稚園教諭・保育士と小学校教員の交流を行うことで、小学校と各施設間の連携や協力がしやすい統一的な環境を整備します。</p> <p>●就学後の1年生が安心して小学校生活を過ごせるよう、幼稚園・保育園の子ども同士の異年齢交流を行うだけでなく、小学校の授業や運動会への参加を促進するなど、小学校との交流活動を充実させ、「小1プロブレム」を解消します。</p> <p>●幼稚園教諭・保育士・小学校教員合同によるアプローチ・スタートカリキュラム研修を実施し、幼児教育施設と小学校で切れ目ない教育を行います。</p>	<p>① 「学校・園は、関係諸機関（保育園や幼稚園、小学校、中学校）と連携を図っていると思う」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 保幼小連絡会の開催数</p>	<p>保幼小連絡会の開催などにより、「小1プロブレム」等の解消及び園児が小学校により円滑に接続できたかの評価</p>
		<p>②</p>	<p>④</p>		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 実績値・目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うか。に肯定的な回答の割合。	%	-	24.5	26.5	28.5	30.5	32.5	34.5	新規	
	成果指標	②	すくわくプログラム推進事業体験園児数	人	-	1,520	1,600	1,800	2,000	2,200	2,440	新規	
	活動指標	③	幼児教育アドバイザー派遣回数	回	-	-	3	4	5	6	8	新規	
	活動指標	④	すくわくプログラム推進事業実施園数	園	-	76	80	90	100	110	122		
取組方針 (2)	成果指標	①	「学校・園は、関係諸機関(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図っていると思う」について肯定的な回答をする区民の割合	%	74.3	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0	85.0	継続	4-5-1人格形成の基礎を培う教育・保育の提供
	成果指標	②											
	活動指標	③	保幼小連絡会の開催数	回	-	3	22	44	44	44	44	新規	
	活動指標	④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うかに肯定的な回答をした人の割合	質の高い幼児教育の実施が、区民に浸透しているかの指標となるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②	すくわくプログラム推進事業体験園児数	幼児教育の質の向上を図るため、園児の興味・関心に応じた探究活動が実施されているかの指標のため。	所管課データ
	活動指標	③	幼児教育アドバイザー派遣回数	質の高い幼児教育を行うための取組状況を把握する指標のため。	所管課データ
	活動指標	④	すくわくプログラム推進事業実施園数	幼児教育の質の向上を図るため、園児の興味・関心に応じた探究活動が実施されているかの指標のため。	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図っていると思うと回答した割合【%】	保幼小連携強化を通じて、小学校への円滑な接続が浸透しているかの指標となるため。 ※計画掲載の指標名は、表現の適正化のため「関係諸機関」とした。(等を抜いた)	学校評価
	成果指標	②			
	活動指標	③	保幼小連絡会を開催している学校の数	保幼小連携強化の進捗状況を把握する指標のため。	所管課データ
	活動指標	④			

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の目標が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み主体的に幼児教育施設や学校に通っていると思うか。に肯定的な回答の割合。	△	✓	✓			%	-	24.5	26.5	28.5	30.5	32.5	34.5	適切
	成果指標 ②	すくわくプログラム推進事業体験園児数	△	✓	✓	✓		人	-	1,520	1,600	1,800	2,000	2,200	2,440	適切
	活動指標 ③	幼児教育アドバイザー派遣回数	○	✓	✓	✓		回	-	-	3	4	5	6	8	適切
	活動指標 ④	すくわくプログラム推進事業実施園数	△	✓	✓	✓		園	-	76	80	90	100	110	122	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「学校・園は、関係諸機関(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図っていると思う」について肯定的な回答をする区民の割合	◎	✓	✓	✓	✓	%	74.3	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	保幼小連絡会の開催数	○	✓	✓	✓		回	-	3	11	22	22	22	22	適切
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	「学校・園は、関係諸機関(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図っていると思う」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・取組み方針で記載した、思考力の芽生え、豊かな感性と表現、健康な心と体など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指した幼児教育を行うことや保幼小連携の推進により円滑な小学校への接続を進めてきた成果として定量的に図れる指標となるため。
2	活動指標	(2)-③	保幼小連絡会の開催数【回】	

指標設定チェックシート

施策名	2-②-2	未来を切り拓くための力を育成する教育
部課名	教育部 指導課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点
<p>●子ども一人ひとりが、どのような家庭環境であっても、元気にたくましく育ち、柔軟に対応できる知識・能力を身につけている。</p> <p>●豊かな体験を通して、心身ともに健やかに成長している。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教員は、デジタル教科書やタブレットパソコン等のICT機器を効果的に活用した学習等で、子ども一人ひとりに「わかる・できる」喜びや楽しさを実感させる質の高い授業を行い、それぞれの子どもが学んだことを活用しながら、学習課題を主体的に解決する学習方法や、他者の多様な意見に触れながら協働して探究を進める学習方法を体験を交えながら確立します。 ●地域人材や大学等と連携し、子どもに多様な経験の場を創出することにより、新たな気づきや発見につなげ、子どもの興味や可能性を引き出します。 ●小・中学校連携教育として9年間を見通した指導を確立し、子どもの中学校進学への不安を軽減します。小・中学校間で子ども同士が交流する機会を設けることで、子どもの社会性を高めるための育成をします。 	<p>①</p> <p>全国学力・学習状況調査 意識調査「主体的な学び」ができていないと回答した児童・生徒の割合【%】</p>	<p>③</p> <p>ICTを活用した授業力向上に関する研修講座</p>	<p>・一人一人の学びへの支援による成果</p> <p>・課題を解決する授業によって身に付けた力を活用した自力解決の成果</p>
		<p>②</p> <p>児童・生徒の意識・意向調査「授業の理解度」【%】</p>	<p>④</p>	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの豊かな人間性を育てるために、平和・人権・国際理解教育を推進するとともに、自然体験、スキー教室等の宿泊行事を実施し、普段の生活では味わえない体験と仲間意識が芽生える集団活動の機会を創出します。 ●運動・スポーツを楽しみと感じる授業を実施するとともに、定期健康診断、歯科健診、歯磨き指導等の健康教育を通して、子どもの健康維持・増進に対する意識を高めます。 ●地域人材と連携し、今後の進路実現に向けた意欲を高める取組や、スポーツ・芸術に関する専門的な指導を受けられる取組を実施します。 	<p>①</p> <p>心理調査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】</p>	<p>③</p> <p>「次世代文化の担い手」育成事業実施校</p>	<p>・学校への地域からの信頼の度合い</p> <p>・子どもの特性に応じた地域人材等の授業内容の改善</p>
		<p>②</p> <p>区意識調査「運動肯定率」</p>	<p>④</p>	
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校は、「学校いじめ防止対策基本方針」を定期的に見直し、教職員・保護者・学校運営協議会委員等の地域の方々や方針を共有しながら、協働して、子どもたちが安心して学べる環境を整えます。 ●区独自の「いじめ対応フローチャート」を作成し、いじめを認知した際、すべての学校で子どもや保護者の思いに寄り添った対応を行います。 ●日頃からいじめを許さない心を育てるために、児童会・生徒会活動として、子どもが自ら考え、行動する取組を推進します。 ●学校の教育相談の充実を図り、教職員による組織的な相談対応を子どもと保護者に対して行うとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等への相談機会についても確実に周知します。 ●子どもに心理調査を実施するとともに、教員がいじめやストレスの状況を把握し、早期に対応できる体制を構築します。 ●いじめの問題について、家庭・学校・教育委員会のほか区関係部署や地域団体等が組織横断的に連携するとともに、スクールロイヤーによる早期支援を充実します。 	<p>①</p> <p>いじめの認知件数</p>	<p>④</p> <p>いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数</p>	<p>・いじめの相談がしやすい環境になっている</p> <p>・いじめが解消した保護者や子どもの安心感</p>
		<p>②</p> <p>いじめの解消率</p>	<p>⑤</p> <p>いじめに関する校内研修回数(1校当たり)</p>	
<p>③</p>		<p>⑥</p>		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

取組方針	指標名	単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	全国学力・学習状況調査「意識調査「主体的な学び」ができていますと回答した児童・生徒の割合【%】	小 75.3 中 79.7	小 77.0 中 80.0	小 79.0 中 81.0	小 81.0 中 82.0	小 83.0 中 83.0	小 84.0 中 84.0	小 85.0 中 85.0	新規		
	成果指標 ②	児童・生徒の意識・意向調査「授業の理解度」	小6:56.7 中3:41.8	小6:57.5 中3:43.5	小6:59.0 中3:46.0	小6:60.5 中3:48.5	小6:62.0 中3:51.0	小6:63.5 中3:53.0	小6:65.0 中3:55.0	新規		
	活動指標 ③	ICTを活用した授業力向上に関する研修講座	回	205	210	216	222	228	234	240	継続	4-3-1「確かな学力」育成事業
	活動指標 ④											
取組方針(2)	成果指標 ①	心理調査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率	小6:69.8 中3:74.2	小6:72.5 中3:76.5	小6:75.0 中3:78.5	小6:77.5 中3:80.5	小6:80.0 中3:82.0	小6:82.5 中3:83.5	小6:85.0 中3:85.0	継続	4-3-2「豊かな心」育成事業	
	成果指標 ②	区意識調査「運動肯定率」(小6・中3)	小 80.2 中 78.5	小 81.0 中 79.0	小 82.0 中 80.0	小 83.5 中 81.0	小 84.0 中 82.0	小 85.0 中 83.0	小 85.0 中 84.0	継続	4-3-3健やかな体の育成	
	活動指標 ③	「次世代文化の担い手」育成事業実施校	校	6	6	6	6	6	6	6	新規	
	活動指標 ④											
取組方針(3)	成果指標 ①	いじめの認知件数	件	小 976 中 65	小 963 中 62	小 950 中 59	小 937 中 56	小 924 中 54	小 911 中 52	小 900 中 50	新規	
	成果指標 ②	いじめの解消率	%	小 61.18 中 89.23	小 68 中 91	小 75 中 93	小 82 中 95	小 88 中 97	小 94 中 99	小 100 中 100	新規	
	成果指標 ③											
	活動指標 ④	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数	回	10	10	10	10	10	10	10	新規	
	活動指標 ⑤	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)	回	3	3	3	3	3	3	3	新規	

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1) 成果指標 ①	全国学力状況調査における児童生徒アンケート「5年生(中学校は1,2年生)の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいましたか」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した人の割合	児童生徒が主体的な学びを行っているかを示す指標であるため	全国学力学習状況調査
取組方針(1) 成果指標 ②	区意識調査の「学校の先生の授業は分かりやすいか」の質問において「そう思う」と回答をした児童・生徒の割合(小6・中3)	授業内容の定着度を示す指標であるため	区で実施する児童・生徒の意識・意向調査
取組方針(1) 活動指標 ③	所管課で実施する教員研修のうち、オンラインを活用した研修の実施回数	ICTを活用した実績が分かる指標であるため	所管課データ
取組方針(1) 活動指標 ④			
取組方針(2) 成果指標 ①	区心理調査の「自分にはいいところがあると思うか」の質問において「ある」「自分なりにあると思う」と回答した児童・生徒の割合(小6・中3)	児童生徒の人間関係を形成する力を示す指標であるため	区で実施する児童・生徒の心理検査
取組方針(2) 成果指標 ②	区意識調査の「運動が好きか」の質問において、「好き」「やや好き」と肯定的な回答をした児童・生徒の割合	運動に対する意欲を示す指標であるため	区で実施する児童・生徒の意識・意向調査
取組方針(2) 活動指標 ③	芸術活動を手がける区内のNPO法人から芸術家を学校に派遣し、子どもたちに芸術活動の指導をする事業を授業に活用した学校数	専門的な芸術に関する指導を受けたことを示す指標であるため	所管課データ
取組方針(2) 活動指標 ④			
取組方針(3) 成果指標 ①	いじめの認知件数	いじめを未然に防ぐとともに、友達との関係に悩む子どもを発見しケアするため	所管課データ
取組方針(3) 成果指標 ②	いじめの解消率	いじめとして認知したあとは、その解消が絶対であるため	所管データ
取組方針(3) 成果指標 ③			豊島区不登校調査
取組方針(3) 活動指標 ④	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数	いじめの未然防止、早期発見・早期対応のために必要な指標であるため。	所管課データ
取組方針(3) 活動指標 ⑤	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)	学校全体でのいじめの未然防止、早期発見・早期対応のために必要な指標であるため	所管データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定		
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	全国学力・学習状況調査「意識調査「主体的な学び」ができていると回答した児童・生徒の割合【%】	○	✓	✓		✓		%	小 75.3 中 79.7	小 77.0 中 80.0	小 79.0 中 81.0	小 81.0 中 82.0	小 83.0 中 83.0	小 84.0 中 84.0	小 85.0 中 85.0	適切	
	成果指標 ②	児童・生徒の意識・意向調査「授業の理解度」【%】	◎	✓	✓		✓	✓	%	小6:56.7 中3:41.8	小6:57.5 中3:43.5	小6:59.0 中3:46.0	小6:60.5 中3:48.5	小6:62.0 中3:51.0	小6:63.5 中3:53.0	小6:65.0 中3:55.0	適切	
	活動指標 ③	ICTを活用した授業力向上に関する研修講座	△		✓		✓		✓	回	205	210	216	222	228	234	240	適切
	活動指標 ④																	
取組方針(2)	成果指標 ①	心理調査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】	◎	✓	✓		✓	✓	%	小6:69.8 中3:74.2	小6:72.5 中3:76.5	小6:75.0 中3:78.5	小6:77.5 中3:80.5	小6:80.0 中3:82.0	小6:82.5 中3:83.5	小6:85.0 中3:85.0	適切	
	成果指標 ②	区意識調査「運動肯定率」(小6・中3)	◎	✓	✓		✓	✓	%	小 80.2 中 78.5	小 81.0 中 79.0	小 82.0 中 80.0	小 83.5 中 81.0	小 84.0 中 82.0	小 85.0 中 83.0	小 85.0 中 84.0	適切	
	活動指標 ③	「次世代文化の担い手」育成事業実施校	△		✓	✓	✓		校	6	6	6	6	6	6	6	6	適切
	活動指標 ④																	
取組方針(3)	成果指標 ①	いじめの認知件数	○	✓	✓				件	小 976 中 65	小 963 中 62	小 950 中 59	小 937 中 56	小 924 中 54	小 911 中 52	小 900 中 50	適切	
	成果指標 ②	いじめの解消率	○	✓	✓				%	小 61.18 中 89.23	小 68 中 91	小 75 中 93	小 82 中 95	小 88 中 97	小 94 中 99	小 100 中 100	適切	
	成果指標 ③																	
	活動指標 ③	いじめ防止に関わる教育委員会主催研修回数	○	✓	✓				回	10	10	10	10	10	10	10	10	適切
	活動指標 ④	いじめに関する校内研修回数(1校当たり)	○	✓	✓				回	3	3	3	3	s	3	3	3	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-1	児童・生徒の意識・意向調査「授業の理解度」【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・両指標を記載することによって、「主体的・対話的で深い学び」の視点と「心身の健やかな成長」の視点を持って成果を表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-1	心理調査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】	

指標設定チェックシート

施策名	2-②-3	一人ひとりに寄り添った教育
部課名	教育部 指導課 ・教育センター	

【1. 目指す5年後の姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●子ども・保護者に向けた相談体制が整備され、状況に応じたきめ細かな支援が実現している。</p>	<p>(1) ●不登校の子どもが学校復帰や、自身で考え、行動し、生きていく力を育む社会的自立を目的として、不登校対策総合計画を策定します。</p> <p>●学校が不登校傾向を早期に把握し、スクールカウンセラーによる教育相談、スクールソーシャルワーカーによる家庭支援、不登校対策支援員による学習・自立支援等を行う校内教育支援センターを全ての中学校に設置します。</p> <p>●新たに設置するチャレンジクラス(スリジエ)、教育センターにある適応指導教室(柚子の木教室)、ICTを活用した悩み相談や学習指導を通じて、学校への復帰や社会的自立を支援します。また、NPOやフリースクール等の関係機関と連携し、多様な学びの環境を確保します。</p>	① 不登校の児童・生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】	③ SSWひとり当たりの家庭や学校への支援回数【回】	<p>・不登校の未然防止につながった子どもの数、保護者や子どもの安心感</p>
		② 適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	④ 不登校対策支援員が校内別室で支援を行った生徒人数【人】	
	<p>(2) ●障害の有無や国籍に関わらず、子どもが安心して学ぶことができ、安全で過ごしやすい教育環境を整備します。</p> <p>●「千川中学校複合施設」において、教育相談と発達相談の連携をより強化し、幼児期から学齢期までの切れ目ない支援を実現します。</p> <p>●子どもの成長や発達に伴う問題や悩みについて、就学相談や教育相談、福祉や保健等の関係部署が連携しながら、包括的な支援体制の整備と強化を図ります。</p> <p>●特別な支援を必要とする子どもが安心して登校できるよう、特別支援教育指導員や学級運営補助員等が一人ひとりに応じてきめ細かく支援します。</p> <p>●日本語が苦手な外国籍や外国にルーツのある子どもに対して、巡回指導や通級指導を行い、学校生活に必要な日本語を習得させることで、学ぶ意欲を高めます。</p>	① 教育相談利用者数【人】	④ 教育相談の延べ件数【件】	<p>・子育て相談しやすい環境になっている</p> <p>・保護者や子どもの安心感</p> <p>・安定した学級運営</p>
		② 日本語指導教室の修了者数【人】	④ 特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単 位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	不登校の児童・生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】	%	89.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	新規	
	成果指標	②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	%	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	新規	
	活動指標	③	SSWひとり当たりの家庭や学校への支援回数【回】	回	293	294	295	296	297	298	299	新規	
	活動指標	④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った生徒人数【人】	人	—	26	32	32	32	32	32	32	新規
取組方針 (2)	成果指標	①	教育相談利用者数【人】	人	495	498	500	503	505	508	510	新規	
	成果指標	②	日本語指導教室の修了者数【人】	人	29	30	31	32	33	34	35	新規	
	活動指標	③	教育相談の延べ件数【件】	件	8,578	8,580	8,590	8,600	8,610	8,620	8,630	新規	
	活動指標	④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	日	3,180	3,040	3,264	3,468	3,672	3,876	4,080	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	不登校の児童・生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】	支援を行えたことを示す指標であるため		文科省調査	
	成果指標	②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	学校復帰や社会的自立を促した指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	SSWひとり当たりの家庭や学校への支援回数【回】	支援を行えたことを示す指標であるため		所管データ	
	活動指標	④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った生徒人数【人】	不登校生徒の支援を行ったことを示す指標であるため		所管データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	教育相談利用者数【人】	より多くの相談者に対応した成果指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	日本語指導教室の修了者数【人】	学校生活に適應できる日本語能力を習得した指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	教育相談の延べ件数【件】	一人一人に対して丁寧に対応した重要な指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	特別な配慮を必要とする児童生徒が安心して学べるように支援した指標であるため		所管データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等で目標が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	不登校の児童・生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】	○	✓	✓	✓		%	89.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	適切	
	成果指標 ②	適応指導教室在籍中学3年生の進路決定率【%】	△		✓			%	100	100	100	100	100	100	100	適切	
	活動指標 ③	SSWひとり当たりの家庭や学校への支援回数【回】	△		✓				回	293	294	295	296	297	298	299	適切
	活動指標 ④	不登校対策支援員が校内別室で支援を行った生徒人数【人】	△		✓				人	—	26	32	32	32	32	32	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	教育相談利用者数【人】	○	✓	✓	✓		人	495	498	500	503	505	508	510	適切	
	成果指標 ②	日本語指導教室の修了者数【人】	△		✓	✓		人	29	30	31	32	33	34	35	適切	
	活動指標 ③	教育相談の延べ件数【件】	○	✓	✓			件	8,578	8,580	8,590	8,600	8,610	8,620	8,630	適切	
	活動指標 ④	特別支援教育指導員の年間配置日数【日】	△		✓			日	3,180	3,040	3,264	3,468	3,672	3,876	4,080	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	1-①	不登校の児童・生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・1 不登校の児童生徒への支援を行った成果を示すものであり、多面的な支援が行えたことを把握できる指標のため ・2 発達障害等に関する相談に対応した人数であり、より多くの区民のニーズに応えた指標となるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	2-①	教育相談利用者数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	2-②-4	子どもが安心していきいきと過ごせる居場所づくり
部課名	教育部 放課後対策課	

【1. 目指す5年後の姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●子どもにとって、安心して自由に過ごせる居場所が充実している。</p>	<p>(1) ●子どもスキップの施設環境の充実を図るとともに、業務のDX化等を進め、職員が子ども一人ひとりに向き合う時間を確保し、保育の質を向上させます。 ●登校時間までの子どもの見守りを行うなど、小学校進学を機に子どもの預け先がなくなる「小1の壁」を解消するとともに、障害児を含む子ども一人ひとりが安全・安心に過ごせる場所を確保します。 ●子どもスキップにおいて、子どもが安心して過ごし、文化・芸術・スポーツ等、様々な体験をすることができる環境を確保するため、地域人材や企業、大学と連携し、学童クラブや放課後子ども教室のプログラムの充実に取り組みます。 ●常設プレーパークだけでなく、公園等で開催する出張プレーパーク事業を充実させ、子どもの遊びや学びの機会を確保します。</p>	<p>① 文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数【人】</p>	<p>③ 文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数【回】</p>	<p>・「小1の壁」をどの程度解消できたか ・学童保育の質の向上 ・放課後時間の質の向上により、児童にどのような変容が生じたか</p>
		<p>② 放課後子ども教室に参加した児童数【人】</p>	<p>④ 放課後子ども教室実施回数【回】</p>	
	<p>(2) ●「にしまる一む」等、NPOや地域の協力のもと、子どもが悩みを相談でき、気軽に話ができる居場所を確保します。 ●地域人材や大学と連携し、「としま地域未来塾*」を開催するなどにより、学習習熟度に不安を持つ子どもの学習習慣の定着と学力向上を支援するとともに、同年代の子どもや学習支援員とのコミュニケーション・相談を通して、悩みや不安の解消を図ります。 ●区民ひろばや区民集会所等を活用し、学習支援ボランティアの活動を支援することで、子どもが家庭の事情に左右されことなく学ぶことができる学習の機会と場を創出します。 ●地域の外部指導者や「チームとしま」をはじめとする企業等と連携し、子どもが生涯にわたって様々な文化やスポーツに親しむことができるよう、学校現場の状況と子どものニーズを踏まえながら、学校を含む地域全体で部活動の地域連携・地域移行を推進します。</p>	<p>① 休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合【%】</p>	<p>③ としま地域未来塾参加延べ人数【人】</p>	<p>(子どもから大人への過渡期にある中高生時代のサポートは、将来、社会生活にも大きく影響するものであることから、以下の視点を踏まえた評価も加える必要がある)</p> <p>・自分らしさを発揮できているか ・充実感・幸福感を得ているか ・地域との繋がりで豊かな社会性が育まれているか</p>
		<p>② 自分の好きなことに打ち込めていると感じる小・中学生割合【%】</p>	<p>④ 地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数【事業数】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数	人	0	90	180	360	450	540	660	新規	
	成果指標	②	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	人	16,323	19,500	21,580	23,660	25,740	27,820	30,000	新規	
	活動指標	③	文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数	回	0	3	6	12	15	18	22	新規	
	活動指標	④	放課後子ども教室実施回数	回	1,255	1,500	1,660	1,820	1,980	2,140	2,300	継続	4-4-3地域教育との連携
取組方針 (2)	成果指標	①	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	新規	
	成果指標	②	自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小・中学生割合	%	92.7	93.9	94.0	96.0	98.0	98.0	100.0	新規	
	活動指標	③	としま地域未来塾参加延べ人数	人	455	600	650	700	750	800	850	新規	
	活動指標	④	地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数(事業数)	件		20	25	30	35	40	45	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	文化・芸術・スポーツ等のプログラムに参加した児童数	放課後の過ごし方の選択肢が増えた児童数を示す指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	放課後子ども教室に参加した児童数	放課後の過ごし方の選択肢が増えた児童数を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	文化・芸術・スポーツ等のプログラムの実施回数	児童の放課後の過ごし方の選択肢を増やす活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	放課後子ども教室の実施回数	児童の放課後の過ごし方の選択肢を増やす活動量を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	部活動地域移行の推進がわかる指標であるため。		所管課データ	
	成果指標	②	勉強・スポーツ・趣味など頑張っていることがあると回答した小中学生の割合	充実した活動ができているかがわかる指標であるため		指導課 アイチェック	
	活動指標	③	としま地域未来塾に参加した中学生の数	地域で活動支援を受けられている生徒の増加がわかる指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	協働に関する調査のうち子ども若者支援について抽出した数	子ども支援の事業に地域等が協働していることがわかる指標であるため		区民活動推進課 協働に関する調査	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	文化・芸術・スポーツ等のプログラム参加人数	○	✓	✓	✓		人	0	90	180	360	450	540	660	適切
	成果指標 ②	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	○	✓	✓	✓		人	16,323	19,500	21,580	23,660	25,740	27,820	30,000	適切
	活動指標 ③	文化・芸術・スポーツ等のプログラム実施回数	△		✓	✓		回	0	3	6	12	15	18	22	適切
	活動指標 ④	放課後子ども教室実施回数	△		✓	✓	✓	回	1,255	1,500	1,660	1,820	1,980	2,140	2,300	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	休日に活動がない、もしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	△		✓			%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	適切
	成果指標 ②	自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小・中学生割合	○	✓	✓	✓		%	92.7	93.9	94.0	96.0	98.0	98.0	100.0	適切
	活動指標 ③	としま地域未来塾参加延べ人数	△		✓	✓	✓	人	455	600	650	700	750	800	850	適切
	活動指標 ④	地域・NPO・企業等と協働している子ども若者支援事業の数(事業数)	△		✓	✓		件		20	25	30	35	40	45	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	放課後子ども教室に参加した児童数【人】	・1児童の放課後時間の質の向上を示す指標であるため。 ・2児童が行っている活動の充実度を示す指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	自分の好きなことに打ち込んでいると感じる小・中学生割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	2-②-5	子どもの学びと成長を支える教育環境の整備
部課名	教育部 庶務課・学務課・学校施設課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●計画的な学校改築や改修等により、時代のニーズに即した質の高い教育を行う環境が整っている。</p> <p>●教員が心身ともに健康で、やりがいを持って、いきいきと子どもと向き合っている。</p>	(1)	●学校施設の老朽化や設備面における課題を解決するため、計画的な学校改築を推進し、最適な設備を整えた、安全・安心な学習環境を確保します。	① 改築済(工事中含む)の小中学校数	③ 改築事業(考える会、設計、工事等)の実施校数	<p>・安全性や快適性が確保された学習環境を整備できているか。</p> <p>・子ども達が時代のニーズに則して、積極的に学習できる環境を整備できているか。</p>	
		●改築を進めるためには一定の期間を要するため、改築の時期が遅くなる学校については、予防保全に基づく大規模改修を着実に行うとともに、学習情報センターの整備やバリアフリー化等、子どもの安全確保と学習環境の改善に取り組みます。	② 大規模改修工事等の実施校数	④ 学校備品(台帳登録)の平均老朽化年数		
	(2)	●一人1台タブレットパソコンの計画的な更新とともに、ネットワーク機器やプロジェクター等の基盤整備を進め、学習環境の質の向上を図ります。	●改築に際しては、エコスクール化等、環境面での充実を図るとともに、支援センターとしての機能の向上、地域コミュニティの活動拠点としての集会所や多目的ホールの整備等により、子どもだけで	① 「仕事を通して、自分の成長を感じていると思う」と肯定的な回答をした教職員の割合	④ 働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)	
		●管理職が出退勤システムのデータを活用して、教員一人ひとりの在校時間を把握し、健康状態の確認や仕事の進め方等に関する指導・助言を行います。また、働き方改革の好事例を他校に紹介し、長時間労働の縮減に努め、ワークライフバランスの向上を図ります。	●教員の業務効率化を推進するため、教材作成等を行う学習支援システムと成績処理等を行う校務支援システムのさらなる向上を図るなど、業務のDX化を推進します。	② 休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	⑤ 教職員ストレスチェックの受検率	
		●教員が抱える悩みや様々な問題に対して、LINEを活用した相談窓口の設置や、臨床心理士等が教員と面談を行うアウトリーチ型相談事業を実施し、メンタルヘルス対策の充実を図ります。	●学校の教育力の向上を図るため、教員一人ひとりのキャリアに応じた研修等を充実させるとともに、地域住民や企業との協働により、教員業務をサポートする人材を積極的に活用します。	③ 病気休職者数・離職率	⑥ 教職員ストレスチェックの受検率	

【施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	改築済(工事中含む)の小中学校数	校	10	11	11	11	11	11	12	新規	
	成果指標	②	学校備品(台帳登録)の平均老朽化年数	年	16.6	16.5	16.4	16.3	16.2	16.1	16.0	新規	
	活動指標	③	改築事業(考える会、設計、工事等)の実施校数	校	1	1	4	4	4	3	3	新規	
	活動指標	④	大規模改修工事等の実施校数	校	9	9	10	10	10	10	10	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「仕事を通して、自分の成長を感じていると思う」と肯定的な回答をした教職員の割合	%	—	—	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	新規	
	成果指標	②	休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	%	—	40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	新規	
	成果指標	③	病気休職者数・離職率	人%	調整中						新規		
	活動指標	④	働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)	校	3	4	6	7	8	9	10	新規	
	活動指標	⑤	教職員ストレスチェックの受検率	%	67.0	70.0	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	平成13年度以降に実施した改築校数(工事中含む)	学校改築の進捗度合いを定量的に評価できる指標のため		所管課データ	
	成果指標	②	備品台帳に登録された学校備品(約2万6千件)の平均経過年数	学校部品の老朽化率を測る客観的な指標のため		財務会計システム	
	活動指標	③	改築事業(考える会、設計、工事)実施中の学校施設数	学校改築への取り組み状況を定量的に評価できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	大規模改修工事等(別棟整備工事を含む)の実施校数	老朽化対策のための工事への取り組み状況を定量的に評価できる指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「仕事を通して、自分の成長を感じていると思う」と肯定的な回答をした教職員の割合	教員のウエルビーイングを図る指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	休日の部活動を行わないまたは教員以外が実施している部活数の割合を算出	教員が顧問を請け負うことによる負担を軽減できているか測る指標であるため		所管課データ	
	成果指標	③	休職員内申・退職員内申が提出された教職員の割合を算出	教員の働きやすさを評価できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	働き方改革取組みの好事例校として、区立小・中学校に共有した学校数(累計)	働き方改革に向けた学校内の取組みを推進する指標であるため		所管課データ	
	活動指標	⑤	心理的な負担を把握するための検査(ストレスチェック)を受検した教職員の割合	メンタルヘルス対策の取り組み状況を測る指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等と一致している	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	改築済(工事中含む)の小中学校数	○	✓	✓		✓	校	10	11	11	11	11	11	12	適切
	成果指標 ②	学校備品(台帳登録)の平均老朽化年数	○	✓	✓			年	16.6	16.5	16.4	16.3	16.2	16.1	16.0	適切
	活動指標 ③	改築事業(考える会、設計、工事等)の実施校数	△		✓			校	1	1	4	4	4	3	3	適切
	活動指標 ④	大規模改修工事等の実施校数	△		✓		✓	校	9	9	10	10	10	10	10	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「仕事を通して、自分の成長を感じている」と思うと肯定的な回答をした教職員の割合	○	✓	✓		✓	%			70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	適切
	成果指標 ②	休日に活動がないもしくは活動を教員以外の指導者が行っている部活動の割合	○	✓	✓			%		40.0	50.0	65.0	70.0	75.0	80.0	適切
	成果指標 ③	病気休職者数・離職率	○	✓	✓			人%	調整中							今後設定予定
	活動指標 ④	働き方改革の取組み好事例校として紹介した学校数(累計)	○	✓	✓		✓	校	3	4	6	7	8	9	10	適切
	活動指標 ⑤	教職員ストレスチェックの受検率	△	✓	✓			%	67.0	70.0	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	目標値が低すぎる

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	改築済(工事中含む)の小中学校数【校】	・改築の進捗度合いは教育環境の整備として最も重要な指標のため ・教員がやりがいを持って子どもたちと向き合うことができているかを確認するために適した指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	「仕事を通して、自分の成長を感じていると思う」と肯定的な回答をした教職員の割合【%】	

指標設定チェックシート①

施策名	2-②-6	学校と家庭・地域が連携した教育活動の推進
部課名	教育部 庶務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
<p>●学校との信頼関係のもと、保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画し、地域全体で子どもを見守り、育てる教育活動が展開できている。</p>	<p>(1) ●安全・安心な学校づくりや、SDGsの活動を通じて築いた地域と学校のつながりを生かし、学校と保護者や学校運営に関わる地域住民・団体等がともに知恵を出し合い、学校運営に 意見を反映する仕組みである「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」を全校に導入することで、学校・地域・保護者・PTAが連携し、地域全体で子どもたちの健やかな成長を育む体制を構築します。</p> <p>●各学校の取組をホームページ等で広く発信し紹介することで、地域の「コミュニティ・スクール」に関する理解を深め、全校への導入を促進します。</p> <p>●地域住民と学校をつなぐ機能を強化し、地域における人材の積極的な活用や、大学・企業・NPO等と連携を</p>	①	「学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築していると思う」に肯定的な回答をした割合	③	区立小中学校全30校のうちコミュニティ・スクール設置校数【校】	<p>・学校と地域、企業とのつながりが生まれたか。</p> <p>・地域や企業と連携することで、子どもたちが多様な経験、体験をすることができたか。</p>	
		②		④	地域学校協働本部(=地域コーディネーターの配置)の設置校数【校】		
	(2)	<p>●子どもと地域住民との交流の場を創出し、家庭や学校だけでは学ぶことが難しい体験活動を通して、仲間と協力し、自分達で力を達成する経験を積むとともに、地域との関わり大切さや社会性を育み、これからの地域社会の担い手を育成します。</p> <p>●子どもが長崎獅子舞等の地域に根づいた歴史・文化や、東京手描友禅等の時代を超えて受け継がれてきた伝統工芸等に触れる機会を創出し、郷土の文化を学び、郷土を愛する心を育みます。</p>	①	児童・生徒の地域への愛着(%)	③	地域人材を活用した放課後子ども教室の実施回数	<p>・地域人材等との協働による各種の取り組みによって、子供たちの地域の歴史や文化に対する理解が深まっているか</p> <p>・地域人材等との協働による各種の取り組みによって、子供たちの地域への愛着が深まっているか</p>
			②		④		
	(3)	<p>●親子のコミュニケーションを豊かにするため、家庭教育に関する情報発信を充実させるとともに、PTAに対する各種研修会の開催や、PTA活動の支援等を通して、子どもを育てる 体制を整えます。</p> <p>●よりよい親子関係づくりや、地域の役割をともに考えるきっかけの場として、保護者や地域住民に対して家庭教育に関する参加型の講座等を開催し、家庭教育力の向上を図ります。</p> <p>●「コミュニティ・スクール」等の場を活用して、保護者や地域住民と教育施策・家庭教育支援に関する意見交換の機会を積極的に創出し、学校、家庭、地域住民が一体となって、子どもの健やかな成長を支える体制を整備します。</p>	①	家庭教育講座を開催したことで、保護者同士のつながりができたと回答する学校の数	③	家庭教育講座の実施数【回】	<p>・家庭教育事業への参加をきっかけに、横のつながりが生まれたか</p> <p>・家庭・学校・地域が連携することで、地域で子どもを育む機運が高まっているか</p>

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	%	-	70.0	73.0	76.0	79.0	82.0	85.0	新規		
	成果指標	②											
	活動指標	③		校	5	8	14	30	30	30	30	継続	4-4-2地域と学校の連携・協働の仕組みづくり
	活動指標	④		校	-	-	3	6	12	24	30	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	%	小6: 91.4 中3: 89.6	小6: 92.1 中3: 90.2	小6: 93.0 中3: 90.8	小6: 93.7 中3: 91.4	小6: 94.0 中3: 92.0	小6: 94.7 中3: 92.6	小6: 95.0 中3: 93.0	継続	地域と学校の連携・協働の推進	
	成果指標	②											
	活動指標	③		回	2	3	4	5	5	5	5	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (3)	成果指標	①	校			9	9	10	10	11	新規		
	成果指標	②											
	活動指標	③		回	13	17	17	17	17	17	17	継続	4-4-1家庭教育の支援
	活動指標	④											

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標	①	保護者・地域の方を対象とした学校評価アンケートにおいて、「学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築していると思う」に肯定的な回答をした人の割合	学校の取組を保護者、地域関係者が評価している指標であるため	学校評価
	成果指標	②			
	活動指標	③	教育委員会規則によって学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設置されている学校数	学校、保護者・地域住民等が連携・協働する仕組みが構築されている指標のため	所管課データ
	活動指標	④	地域学校協働本部(=地域コーディネーターの配置)の設置した学校数	学校、保護者・地域住民等が連携・協働する仕組みが構築されている指標のため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	児童・生徒が、「地域への愛着」について肯定的な回答をする割合	施策を進めた成果として想定される「地域への愛着」を定量的に測定できる指標であるため。	主管課データ(i-check)
	成果指標	②			
	活動指標	③	文化財など地域の歴史文化に関する講座等の実施数	施策に関する取組実績を定量的に示すことができるため	主管課データ
	活動指標	④			
取組方針 (3)	成果指標	①	家庭教育講座の実施数教育講座実施校に実施するアンケートにおいて、保護者同士の繋がりができたと回答する学校数	施策に関する講座を実施した効果を把握できる指標であるため	主管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③	家庭教育講座の実施数	施策に関連する講座を実際にPTAが開催した実績を表せるため	主管課データ
	活動指標	④			

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%	-	70.0	73.0	76.0	79.0	82.0	85.0	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	△		✓		✓	✓	校	5	8	14	30	30	30	30	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓		校	-	-	3	6	12	24	30	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%	小6: 91.4 中3: 89.6	小6: 92.1 中3: 90.2	小6: 93.0 中3: 90.8	小6: 93.7 中3: 91.4	小6: 94.0 中3: 92.0	小6: 94.7 中3: 92.6	小6: 95.0 中3: 93.0	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	△		✓		✓		回	2	3	4	5	5	5	5	適切
	活動指標 ④															
取組方針(3)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓		校			9	9	10	10	11	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓		✓		回	13	17	17	17	17	17	17	適切
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	「学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築していると思う」に肯定的な回答をした人の割合【%】	1. 取組み方針で、コミュニティ・スクールを導入し学校と保護者、地域が連携していくことを記載しており、学校や地域、家庭との協力を定量的に測定できる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	児童・生徒の地域への愛着【%】	

指標設定チェックシート

施策名	2-③-1	子ども・若者の社会参画・活動の場の創出
部課名	子ども家庭部 子ども若者課 / 教育部 放課後対策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価				定性的評価
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●子どもの権利を尊重し、成長段階に応じた意見表明・参画の機会が確保されている。</p> <p>●子ども・若者の居場所が確保され、活動の場が充実している。</p>	<p>(1) ●こども基本法や子どもの権利に関する条例の趣旨・内容について、子どもの成長段階に応じたPR、地域・学校と連携した周知・啓発活動等を進め、区民理解を促進します。</p> <p>●子どもの権利相談室(ふくろう相談室)の機能強化やアウトリーチにより、子どもの権利侵害の早期発見・早期改善を図ります。</p> <p>●小・中学校における委員会活動・生徒会活動・部活動や、中高生センタージャンプにおいて、子どもの意見を反映した事業を実施するなどの取組を推進し、子どもの主体的な活動を支援します。</p> <p>●子どもレターや子ども会議等を通じて得た施策に対する子どもの意見を区政に反映させるように努めるとともに、意見に対する取組内容を子どもたちにフィードバックすることで、区政への参画意識を高めます。</p>	①	「子どもの権利に関する理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	子どもの権利に関する出張講座【回】	<p>子どもの権利侵害が少なくなっているか。参加人数だけではなく、意見表明しない利用者のニーズをくみ取る意識 少数意見にも耳を傾ける努力</p>
		②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数【人】	④	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」開催回数	
	<p>(2) ●区内で居場所を提供する団体で構成される「居場所会議」や、若年女性支援のプロジェクトチームである「すずらんスマイルプロジェクト」のネットワークを活用し、安心して過ごせる居場所の提供等、若者支援の強化・充実を図ります。</p> <p>●子ども・若者が置かれた様々な状況に寄り添い、孤立を防ぐよう、地域住民や企業・NPO等と連携した新たな居場所や活動の場の創出に取り組みます。</p> <p>●中高生センタージャンプの機能充実や区民ひろばとの連携等により、中高生・若者の居場所を拡充します。</p>	①		③	居場所会議登録団体数	<p>居場所での活動を通じて、子ども・若者にどのような変化が生じたか</p>
		②	中高生センタージャンプ利用者数【人】	④	SNSを活用した中高生センタージャンプの情報発信回数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「子どもの権利に関する理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	—	13.0 (実績値)	14.4	15.8	17.2	18.6	20.0	新規	
	成果指標	②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数	人	6,364	6,375	6,390	6,405	6,420	6,435	6,450	継続	4-1-1子どもの社会参加・参画の促進(前回は開催回数)
	活動指標	③	子どもの権利に関する出張講座	回	7	9	11	13	15	17	19	継続	
	活動指標	④	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」開催回数	回	288	288	288	288	288	288	288	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①											
	成果指標	②	中高生センタージャンプ利用者数(中高生)	人	25,040	25,100	25,150	25,200	252,050	25,300	25,350	新規	
	活動指標	③	居場所会議登録団体数	団体	12	12	12	12	13	13	13	新規	
	活動指標	④	SNSを活用した中高生センタージャンプの情報発信回数	回	209	225	240	255	270	285	300	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査で「どちらかというと思う」と回答した割合【%】	施策に対する区民の評価を把握できる指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップにて実施する利用者会議に参加した延べ人数	子どもの意見表明機会である利用者会議の運営状況を把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	子どもの権利に関する出張講座の開催回数(回)	活動状況を把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	中高生センタージャンプ及び子どもスキップにて実施する利用者会議の開催回数	子どもの意見表明機会である利用者会議の運営状況を把握できる指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①				協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	中高生センタージャンプ利用者数	中高生センターが中高生の居場所となっているかを把握できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	居場所会議登録団体数	居場所の創出の活動量を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	SNS(Instagram)を活用した中高生センタージャンプの情報発信回数	中高生の居場所についての情報発信の活動量を示す指標のため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組 目 針 を 適 切 に 表 し て	② デ テ リ ア ル 信 頼 性 が 高 い 方 法 の 採 用	③ 豊 島 区 に 関 し て の 特 長 を 表 し て	④ 指 標 自 体 が ポ ジ テ ィ ブ な 印 象 を 与 え て	⑤ 指 標 の 方 向 性 が 示 さ れ て	⑥ 現 計 画 と 継 続 す る 指 標 に あ る	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目 標 値 設 定 の 判 定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓		%	—	13.0 (実績値)	14.4	15.8	17.2	18.6	20.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓	✓	✓		人	6,364	6,375	6,390	6,405	6,420	6,435	6,450	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓		回	7	9	11	13	15	17	19	適切
	活動指標 ④	△		✓	✓	✓		回	288	288	288	288	288	288	288	288
取組方針(2)	成果指標 ①															
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓		人	25,040	25,100	25,150	25,200	252,050	25,300	35,350	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓		団体	12	12	12	12	13	13	13	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓		回	209	225	240	255	270	285	300	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1 成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「子どもの権利に関する理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・1については、施策の取り組みの成果が、区民の実感として把握できる指標であるため。 ・2については、実際の活動状況を把握できる指標であるため。
2 成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	2-③-2	多様な子ども・若者への支援
部課名	子ども家庭部 子ども若者課 児童相談課 子ども家庭支援センター	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●多様な子ども・若者へのきめ細かな支援が行き届き、すべての子ども・若者が夢や希望を持っていきいきと生活できている。</p>	(1)	<p>●タブレット等でつながることができる多様な相談窓口の周知や子どもの相談啓発キャラクターの活用により、子ども・若者の相談に対する心理的なハードルを下げ、早期に必要な支援につなげます。</p> <p>●学校や地域のイベントを通して、子どもと区民に広くヤングケアラーについて周知啓発する機会を創出するなど、「ヤングケアラーにやさしいまちづくり」を推進します。</p>	① ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	③ ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	
		<p>●関係機関、支援団体、地域住民が連携し、医療的ケア児や発達障害児、難病等の多様な子ども・若者とその家族に対して、保健、医療、福祉、子育て、保育、教育等すべての担当部署が一体となって早期発見・早期支援を行うための相談体制と支援の充実を図ります。</p> <p>●児童発達支援センターにおける専門相談の体制を強化するとともに、千川中学校複合施設移転後は、教育センターの教育相談・就学相談との</p>	② 発達相談から専門相談につながった割合【%】	④ 発達相談件数【件】	
	(2)	<p>●要保護児童対策地域協議会の関係機関や関係団体との連携を強化し、児童虐待や養育に困難を抱える家庭で育つ児童の早期発見と早期支援を行うとともに、研修や区民向け講演会、街頭キャンペーン等により、児童虐待の予防や暴力防止の普及啓発を推進します。</p>	① 「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	③ 要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	<p>・専門相談を実施している保護者のつながりが生まれる</p> <p>・関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例</p>
		<p>●一時保護や立ち入り調査、さらには親権停止の家庭裁判所への申し立てなど、必要に応じ、児童相談所に与えられた法的権限を最大限に活用し、児童の最善の利益を守る取組を推進します。</p> <p>●児童養護施設の設置について検討を進めるとともに、家庭養育優先の原則に基づいた里親委託の推進により、区の社会的養護の充実を図ります。</p>	② 里親等委託率【%】	④ 里親普及啓発活動（相談会・出前講座・登録里親への研修等）の実施回数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	人	61	65	70	75	80	85	90	新規	
	成果指標	②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	%	31.7	40.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	継続	4-1-2 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援
	活動指標	③	ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	件	3,097	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	新規	
	活動指標	④	発達相談件数【件】	件	7,010	7,050	7,080	7,100	7,120	7,150	7,180	継続	4-1-2 困難を有する子ども・若者やその家庭への支援
取組方針 (2)	成果指標	①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	%	-	-	22.0	24.0	26.0	28.0	30.0	新規	
	成果指標	②	里親等委託率【%】	%	32.3	33.7	34.3	35.0	36.3	38.1	38.9	新規	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	新規	
	活動指標	④	里親普及啓発活動(相談会・出前講座・登録里親への研修等)の実施回数【回】	回	14	16	18	20	22	23	24	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	ヤングケアラー支援を実施した児童数	実際に、子どもへの直接的な支援を実施した件数は成果として重要であるため。		所管データ	
	成果指標	②	発達相談から専門相談につながった割合	一般の発達相談から専門相談へつながることは、児童発達支援センターとしての成果を示す指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	ヤングケアラーに係る相談に対応した延べ件数	ヤングケアラーからの相談対応は、啓発活動に直結した活動指標であるため。		所管データ	
	活動指標	④	発達相談対応件数	発達相談は一般的な発達に対する相談であり、成果につなげるためにも重要な活動であるため。		所管データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	里親・ファミリーホーム委託数/児童養護施設・乳児院・里親・ファミリーホーム委託数	里親委託推進の実績を示す指標であるため		所管データ	
	活動指標	③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	要保護児童対策地域協議会で取り扱った通告・相談件数		所管データ	
	活動指標	④	里親普及啓発活動(相談会・出前講座・登録里親への研修等)の実施回数【回】	委託率向上に向け、「地域への制度理解を深める取り組み」および「登録里親向けの普及活動」が重要になるため		所管データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	ヤングケアラー支援家庭児童数【人】	○	✓	✓			人	61	65	70	75	80	85	90	適切	
	成果指標 ②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	◎	✓	✓	✓	✓	%	31.7	40.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	適切	
	活動指標 ③	ヤングケアラー相談対応延べ件数【件】	△		✓				件	3,097	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	適切
	活動指標 ④	発達相談件数【件】	△		✓	✓	✓	件	7,010	7,050	7,080	7,100	7,120	7,150	7,180	適切	
取組方針(2)	成果指標 ①	「子ども、若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」と思う区民の割合【%】	△	✓		✓		%	-	-	22	24	26	28	30	適切	
	成果指標 ②	里親等委託率【%】	○	✓	✓	✓		%	32.3	33.7	34.3	35.0	36.3	38.1	38.9	適切	
	活動指標 ③	要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	○	✓	✓	✓		件	1,245	1,250	1,255	1,260	1,265	1,270	1,270	適切	
	活動指標 ④	里親普及啓発活動(相談会・出前講座・養育体験発表会等)の実施回数【回】	○	✓	✓	✓		回	14	16	18	20	22	23	24	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	1-②	発達相談から専門相談につながった割合【%】	・1 一般の発達相談から専門相談へつながることは、児童発達支援センターとしての成果を示す指標であるため。 ・2 里親委託推進の実績を示す指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	2-②	里親等委託率【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-1	どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化
部課名	福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価				定性的評価
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●支援を必要とする区民が適切な相談支援につながる事ができる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すべての福祉相談窓口で、どんな悩みごとでも包括的に受け止め、適切な窓口につなげる相談支援体制を整えます。 ●各分野の専門的な支援の仕組みを生かしながら、地域ケア会議や在宅医療連携推進会議、発達障害者支援ネットワーク会議等、多職種・多機関による会議体の充実を図り、きめ細かな相談支援を行います。 ●単独の組織・分野では対応が困難な課題に対し、関係部署と民間支援機関との相互連携による、一体的・重層的な相談支援体制を強化し、一人ひとりの状況に応じた適切な支援につなぎます。 ●犯罪被害者やその家族等に対して、東京都、警察、被害者支援都民センター等と連携しながら、被害者等に寄り添った支援を行い、住み慣れた地域の身近な相談窓口として、安心できるサポートを提供します。 	①	福祉包括化推進部会の支援検討件数【件】	③	福祉包括化推進部会の実施回数【件】	<p>・支援検討方針に基づくプランが継続的だった場合、何を持って終結とするのかといった視点。</p>
		②	高齢者総合相談センターの認知度【%】	④	高齢者総合相談センターの相談件数【件】	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●支援の対象者が必要とする支援と相談窓口の情報が行き届くよう、身近な地域の相談先となる民生委員・児童委員や、区民ひろばに配置しているコミュニティソーシャルワーカー、区内社会福祉法人が共同で運営する「福祉なんでも相談窓口」の各種相談活動を区民に発信し、地域における相談機会の充実を図ります。 ●地域福祉推進の担い手である民生委員・児童委員の充足率を高めるとともに、その活動を支援し、区民にとって最も身近な相談先の充実を図ります。 ●継続的・積極的なアウトリーチ活動を行うことで、「支援を必要とする人」や「支援が必要であるにもかかわらず、自ら支援を求めない、求めることができない人」の早期発見に取り組みます。 	①	「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	④	高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数【件】	<p>・相談内容ごとの質の濃淡。</p>
		②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	③	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数【回】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	福祉包括化推進部会の支援検討件数	件	11	40	40	40	40	40	40	継続	3-1-2重層的・包括的なケア基盤の充実
	成果指標	②	高齢者総合相談センターの認知度	%	54.1	57.0	60.0	63.0	65.0	66.0	67.0	継続	3-1-2重層的・包括的なケア基盤の充実
	活動指標	③	福祉包括化推進部会の実施回数	回	10	12	12	12	12	12	12	新規	
	活動指標	④	高齢者総合相談センターの相談件数	件	44,006	46,000	48,000	50,000	50,500	51,000	51,500	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	-	25.5	26.0	26.4	26.9	27.3	27.8	新規	
	成果指標	②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	件	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標	③	高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数	件	14,069	18,000	21,000	23,000	23,500	24,000	24,000	新規	
	活動指標	④	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数	回	344	350	350	350	350	350	350	新規	

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	福祉包括化推進部会における支援方針検討会議での事例検討件数【件】		分野横断的な組織において、支援方針を作成したという成果を図る指標であるため		所管課データ	
	成果指標	②	65歳以上で要介護認定を受けていない方の高齢者総合相談センターの認知度【%】		高齢者が何かあったときに相談のできるサービスの認知度を測る指標のため		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
	活動指標	③	分野横断的な組織である福祉包括化推進部会の実施回数【回】		施策の目標である分野横断的な相談支援体制を確立するための会議体の活動指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	高齢者総合相談センターの相談件数【件】		成果指標である高齢者総合相談センターの活動をはかることに有効な指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる【%】		施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		基本計画改定に伴う区民意識調査	
	成果指標	②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】		分野・属性を問わない区民からの、あらゆる相談に対応した件数であるため		所管課データ	
	活動指標	③	当該年度に高齢者総合相談センターに併設された見守り支援事業担当への相談件数【件】		定期的な訪問活動等による相談事業も実施しており、アウトリーチの状況を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数【回】		コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の計画等での方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標	① 福祉包括化推進部会の支援検討件数	△	✓		✓		✓	件	11	40	40	40	40	40	40	40	適切	
	成果指標	② 高齢者総合相談センターの認知度	△	✓		✓		✓	%	54.1	57.0	60.0	63.0	65.0	66.0	67.0	67.0	適切	
	活動指標	③ 福祉包括化推進部会の実施回数	△	✓		✓			回	10	12	12	12	12	12	12	12	適切	
	活動指標	④ 高齢者総合相談センターの相談件数	○	✓	✓					件	44,006	46,000	48,000	50,000	50,500	51,000	51,500	51,500	適切
取組方針(2)	成果指標	① 「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓		✓			%	-	25.5	26.0	26.4	26.9	27.3	27.8	27.8	適切
	成果指標	② コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	◎	✓	✓		✓		✓	件	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	16,000	適切
	活動指標	③ 高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数	△		✓					件	14,069	18,000	21,000	23,000	23,500	24,000	24,000	24,000	適切
	活動指標	④ コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数	△		✓		✓			回	344	350	350	350	350	350	350	350	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1 成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・施策の進捗を図るにふさわしく、両取組方針の進捗の結果が最も広く反映されると考えられるため。
2 成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-2	住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制の強化
部課名	福祉部 福祉総務課 自立促進担当課 高齢者福祉課 障害福祉課 介護保険課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●ライフステージに応じて、必要な支援を受けることができ、いつまでも住み慣れた地域で生活できる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加齢や障害等により、判断能力が低下する以前から、終活あんしんセンターや、地域福祉権利擁護事業を活用し、金銭管理や契約行為等、日常生活にかかる将来の不安や困りごとに対して、区民の意思に沿った支援を行います。 ●判断能力の低下が進行した場合は、生活のあらゆる場面での権利侵害を防ぎ、自らの意思決定を尊重するため、成年後見制度のさらなる利用促進を図ります。 ●権利擁護支援の中核機関を担う社会福祉協議会をはじめ、弁護士・司法書士、社会福祉士等の専門職や関係機関との連携を強化し、区民一人ひとりの状況に応じた支援を推進します。また、区民後見人の育成・活躍支援を行い、成年後見制度の普及啓発とともに、多様な担い手による支援体制の充実を図ります。 	① 成年後見制度の利用者数【人】	③ 福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談数【件】 (福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分)	○サポートとしまへの相談が成年後見制度の利用に寄与したかどうか。
		② 終活情報登録事業累計登録数	④ 終活あんしんセンター相談件数	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者には、日常的な見守りのほか、必要に応じ、介護・医療や各種生活支援サービス等により在宅生活を支援するとともに、ニーズに沿った地域密着型サービスの整備を進めます。 ●障害児・者には、日常生活用具給付事業、医療的ケア児(者)支援事業等、自立を支える施策を充実させるとともに、地域生活支援拠点コーディネーターによる支援や、親なき後も地域に住み続けられるよう、グループホーム等の整備を進めます。 ●生活困窮、ひきこもり、様々な生きづらさ、8050問題、ヤングケアラー等、複合的な課題を抱える人や家族に対し、分野横断で包括的・重層的な支援を行います。 ●専門相談員の配置等により住宅確保要配慮者に対する入居前から退去までの一貫した住まいの支援体制を強化し、区と社会福祉協議会や居住支援法人等、幅広い分野の関係者・団体との連携により、見守りや介護・医療へのつなぎなど、様々な生活課題の解決を図ります。 	① 「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 住まいの相談支援件数	支援を受けることで、住み続けたい地域に実際に住み続けられたかどうか。
		② 各種障害サービス利用者延べ件数	④ 在宅で障害サービスを利用している実人数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	成年後見制度の利用者数	人	580	590	600	610	620	630	640	新規	
	成果指標	②	終活情報登録事業累計登録数	人	43	50	60	70	80	90	100	新規	
	活動指標	③	福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談(福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分)	件	4,539	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	5,100	新規	
	活動指標	④	終活あんしんセンター相談件数	件	755	780	800	825	850	875	900	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	19.6	21.2	21.7	22.2	22.7	23.2	23.7	新規	
	成果指標	②	障害福祉サービス利用者延べ人数	人	32,566	34,975	37,563	40,342	43,327	46,533	49,976	新規	
	活動指標	③	住まいの相談支援件数	件	150	150	200	250	300	350	390	新規	
	活動指標	④	在宅で障害サービスを利用している実人数	人	2,168	2,328	2,500	2,685	2,883	3,096	3,325	新規	

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	年末時点で東京家裁が管理している本人数を集計したもの。(東京家裁の統計に基づく概数)		成年後見制度の普及度合いを測る指標であるため。		東京家裁「区市町村別成年後見制度の利用者数(東京都)」	
	成果指標	②	終活情報登録事業の登録者の累計数		終活あんしんセンターでの相談の結果、利用につながる事業の一つであるため		所管課データ	
	活動指標	③	福祉サービス権利擁護支援室サポートとしまが受けた福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談件数		施策に対する区民の関心度を把握できる指標であるため		所管課データ(豊島区の社会福祉)	
	活動指標	④	終活あんしんセンターにおける相談件数		区民の終活に関する関心、課題等を把握できる指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	高齢者や障害者、生活困窮者等が必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができると思う人の割合		住み慣れた地域に安心して住み続けられると考える区民の数を把握できる指標であるため		区民意識調査	
	成果指標	②	障害福祉サービス利用者延べ人数		各種サービス利用することにより在宅生活を継続できる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	住まいの相談支援件数		住み慣れた地域に住み続けるための、住まいの相談支援数を測る指標であるため		入居相談窓口における住まいの相談支援件数	
	活動指標	④	在宅で障害サービスを利用している実人数		障害サービスを受けて住み慣れた地域で暮らしている区民の数を把握できる指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と目標が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	成年後見制度の利用者数	○	✓	✓	✓		人	580	590	600	610	620	630	640	適切
	成果指標 ②	終活情報登録事業累計登録数	○	✓	✓	✓		人	43	50	60	70	80	90	100	適切
	活動指標 ③	福祉サービスの利用や成年後見制度に関する相談(福祉サービス権利擁護支援室サポートとしま受付分)	△		✓			件	4,539	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	5,100	適切
	活動指標 ④	終活あんしんセンター相談件数	△		✓	✓		件	755	780	800	825	850	875	900	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓	✓		%	19.6	21.2	21.7	22.2	22.7	23.2	23.7	適切
	成果指標 ②	障害福祉サービス利用者延べ人数	△		✓	✓		人	32,566	34,975	37,563	40,342	43,327	46,533	49,976	適切
	活動指標 ③	住まいの相談支援件数	△		✓	✓		件	150	150	200	250	300	350	390	適切
	活動指標 ④	在宅で障害サービスを利用している実人数	△		✓	✓		人	2,168	2,328	2,500	2,685	2,883	3,096	3,325	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	成年後見制度の利用者数【人】	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見を直接確認でき、取り組みについての成果を図るにふさわしいため ・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-3	社会とのつながりや参加を支えるしくみづくり
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害者福祉課 自立促進担当課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●誰もが社会とのつながりや参加を通じて、自らの持つ力を発揮し、その人らしい生活をしている。</p>	<p>(1) ●地域住民や地域団体、企業、行政等の連携を生かし、孤独・孤立の視点を取り入れた取組を強化することにより、SOSの声をあげやすい社会を実現します。 ●一人ひとりが、自分らしくいきいきと過ごせるよう、コミュニティソーシャルワーカー*や生活支援推進員、ひきこもり相談員等の活動により、本人が望む社会とのつながりが実現できるよう支援します。 ●福祉・子育て支援・教育・文化・スポーツ・まちづくり等、様々な分野において居場所づくりなど、つながりを生む取組を公民連携で推進します。 ●区民の交流のきっかけとなる、様々なイベントや地域住民の交流の場である区民ひろば等の取組について、区民に届くよう情報発信を行います。</p>	<p>① 「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)【件】</p>	<p>・他者との交流の質や内容</p>
		<p>② 友人・知人と会う頻度がほとんどない方の割合【%】</p>	<p>④ 高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数【件】</p>	
	<p>(2) ●人との関わりや体調に不安を抱えるなど、早期就労に課題を抱える方については、本人の希望を尊重した支援プランを作成し、就労意欲喚起のためのカウンセリングや、就労に対する不安解消のための就労体験等、個々の課題に応じた就労支援を行います。 ●遠隔操作型分身ロボットや超短時間雇用等の新たな障害者雇用モデルに取り組むなど、企業や商店街等と連携し、相談者の希望と特性に応じた働き方が可能な就労支援を行います。 ●就労後は、就労先や就労支援員、その他関係機関が連携し、対象者一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を行い、就労継続のための支援を推進します。</p>	<p>① ぐらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合(%)</p>	<p>③ ぐらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数(件)</p>	<p>・就職率や支援プラン数だけでは、どれだけ丁寧な支援を行ったかは測れない ・地域で自立した生活を行っている方は、相談を行わない傾向があるため、数値が多いためから自立生活が充実しているとは捉えられない</p>
		<p>② ぐらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合(%)</p>	<p>④ ぐらし・しごと相談支援センターにおける就労支援プラン数(件)</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人のつながりがある。」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	-	14.7 (目標値)	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	新規
	成果指標 ②	友人・知人と会う頻度がほとんどない方の割合	%	13.4	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	新規
	活動指標 ③	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	回	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	新規
	活動指標 ④	高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当への相談件数	件	23,473	23,600	23,800	24,000	24,000	24,000	24,000	新規
取組方針(2)	成果指標 ①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	%	67.8	72.0	75.0	77.0	78.0	78.5	79.0	新規
	成果指標 ②	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	%	69.4	73.0	76.0	78.0	79.0	79.5	80.0	新規
	活動指標 ③	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数	件	84	87	90	93	96	98	100	新規
	活動指標 ④	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援プラン数	件	153	158	163	168	173	178	180	新規

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針(1)	成果指標 ①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人のつながりがある。」について肯定的な回答をする割合【%】	人と人のつながりがあるかどうか測れる指標であるため	区民意識調査
	成果指標 ②	65歳以上で要介護認定を受けていない方のうち、友人・知人と会う頻度が「ほとんどない」と回答した割合	居場所づくり等の効果と関連する指標のため	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
	活動指標 ③	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数(延べ)	コミュニティソーシャルワーカーのアプローチ等の活動により、人と人のつながりが生まれるため	コミュニティソーシャルワーク事業実績報告
	活動指標 ④	当該年度に高齢者総合相談センターに併設された見守り支援事業担当への相談件数	定期的な訪問活動等による相談事業も実施しており、アプローチの状況を測る指標のため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	すぐの就労が難しい人や就労に関して配慮を必要とする人の支援として就労準備支援を実施しているため	くらし・しごと相談支援センター実績
	成果指標 ②	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	就労準備支援により、一般就労を目指すまでに意欲が喚起されるなどしたものが、就労支援へ移行するため	くらし・しごと相談支援センター実績
	活動指標 ③	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援プラン数	すぐの就労が難しい人や就労に関して配慮を必要とする人の支援として就労準備支援を実施しているため	くらし・しごと相談支援センター実績
	活動指標 ④	くらし・しごと相談支援センターにおける就労支援プラン数	就労準備支援により、一般就労を目指すまでに意欲が喚起されるなどしたものが、就労支援へ移行するため	くらし・しごと相談支援センター実績

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		設定の判定	① 組 目 針 を 適 切 に 表 し て	② デ タ 類 性 が 高 い 方 法 の 採 用	③ 豊 島 区 ら し さ を 表 し て い る	④ 指 標 自 体 が ポ ジ テ ィ ブ な 印 象 で あ る	⑤ 標 の 方 向 性 が 示 さ れ て い る	⑥ 現 計 画 と 継 続 す る 指 標 に あ る	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目 標 値 設 定 の 判 定
										実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取 組 方 針 (1)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	-	14.7	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓					%	13.4	13.0	12.5	12.0	11.5	11.0	10.5	適切
	活動指標 ③	△		✓					回	10,158	11,500	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000	適切
	活動指標 ④	△		✓					件	23,473	23,600	23,800	24,000	24,000	24,000	24,000	適切
取 組 方 針 (2)	成果指標 ①	○	✓	✓		✓			%	67.8	72.0	75.0	77.0	78.0	78.5	79.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓		✓			%	69.4	73.0	76.0	78.0	79.0	79.5	80.0	適切
	活動指標 ③	△		✓		✓			件	84	87	90	93	96	98	100	適切
	活動指標 ④	△		✓		✓			件	153	158	163	168	173	178	180	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び 指標番号	選定指標	選定理由
1 成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・人と人とのつながりがあるかどうか測れる指標であるため ・課題を抱える対象者の社会参加を含む就職率を測る指標であるため
2 成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-4	年齢や障害にかかわらずいきいきと生活し続けるための支援
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害福祉課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
<p>○年齢に関わらず心身の健康づくりのための活動に主体的に取り組むことができ、地域で活躍している。</p> <p>○障害に応じて、自己表現できる楽しみや活動の場がある。</p>	<p>(1) ○高齢者クラブを始めとした地域のつながりのほか、興味関心に応じて参加できる介護予防を目的とした住民主体の「通いの場」を促進し、元気な高齢者を増やします。</p> <p>○フレイル対策事業を介護予防センターや地域区民ひろば等を活用し区内全域で展開するほか、専門職によるアウトリーチにより、地域における介護予防活動がより効果的に行われるよう支援します。</p> <p>○プレフレイル、フレイル状態にある高齢者の早期把握、機能維持・改善に効果的な事業の充実を図ります。また、生活習慣病等の重症化予防のため、健診のハイリスク者に対する保健指導を介護予防事業と一体的に実施します。</p> <p>○シルバー人材センターや企業、住民団体等の多様な主体との協働により、就労的活動等、多様な活動を通じた高齢者の健康で生きがいのある生活を支援します。</p>	①	「高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	介護予防センターへの来館者数	<p>・通いの場の活動内容が多様化</p> <p>・介護予防事業を通じて、外出や社会参加への意欲が高まった事例</p>	
		②	フレイルについての認知度	④	フレイルチェックの実施数		
		<p>(2) ○障害に応じて、からだを動かしたり、スポーツの楽しさを味わうことができ、仲間と集うことの喜びを体験できるような機会やイベントなど活動の場を提供します。</p> <p>○まちかど美術展やときめき想造展などの文化芸術活動を通して、障害者の製作の喜びや意欲の向上を図るとともに、様々なジャンルの障害者アートに区民が身近に触れる機会を増やすことで、障害者理解の推進を図ります。</p> <p>○地域活動支援センターや福祉的就労の場に限らず、公民連携により障害のある人もない人も共に余暇活動や創作活動を行うことで、障害者の活動の幅・機会の拡充を図ります。</p>	①	障害者スポーツや文化イベントの参加人数(新規提案)	③	障害者スポーツのつどい等イベント及び文化・芸術事業の実施回数	<p>個人の自己表現の属性や満足度</p>
			②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	14.0	16.7 (実績値)	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	新規	
	成果指標	②	フレイルについての認知度	%	38.6	42.0	46.0	50.0	51.0	52.0	53.0	新規	
	活動指標	③	介護予防センターへの来館者数	人	37,800	39,000	39,000	40,000	40,500	41,000	41,500	新規	
	活動指標	④	フレイルチェックの参加者数	人	746	900	1,100	1,200	1,220	1,230	1,250	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	障害者スポーツや文化イベントの参加人数	人	607	630	665	700	735	770	805	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	障害者スポーツのつどい等イベント及び文化・芸術事業の実施回数	回	8	9	11	12	14	15	17	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	高齢者、障害者等が社会参加し、交流しながらいきいきと生活を送っている と回答した人の割合	社会参加の結果、生活の質の向上が図れていることを図る指標であるため。		区民意識調査	
	成果指標	②	フレイルの認知について「どのような状態か知っている」と回答した割合。	区民が主体的にフレイル対策に取り組む上で、どのくらい普及しているかを図る指標であるため。		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
	活動指標	③	高田介護予防センター、東池袋フレイル対策センターでの介護予防事業に参加した人数	社会参加、運動、栄養の複数の要素が組み込まれた通いの場の構築に資する取組を表す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	フレイルチェックに参加した高齢者数	区民がさまざまな介護予防活動に参加する上で、自身の状態を把握するための事業であるため。		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	障害者スポーツのつどい等イベントの参加者数及び「ときめき想展展」等企画の作品出展者数	スポーツイベント等への参加やアート教室等で制作した作品を出展することが、社会参加の指標となるため		所管課データ	
	成果指標	②				所管課データ	
	活動指標	③	障害者スポーツのつどい等イベント及びアート教室等文化・芸術事業の実施回数	スポーツ活動やアート教室等に参加する機会をつくるのが、社会参加に繋がる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④				所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	① 目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	○	✓	✓		✓			%	14.0	16.7 (実績値)	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	適切
	成果指標	②	○	✓	✓		✓			%	38.6	42.0	46.0	50.0	51.0	52.0	53.0	適切
	活動指標	③	△		✓		✓			人	37,800	39,000	39,000	40,000	40,500	41,000	41,500	適切
	活動指標	④	△		✓		✓			人	746	900	1,100	1,200	1,220	1,230	1,250	適切
取組方針(2)	成果指標	①	◎	✓	✓	✓	✓			人	607	630	665	700	735	770	805	適切
	成果指標	②																
	活動指標	③	△		✓	✓	✓			回	8	9	11	12	14	15	17	適切
	活動指標	④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・区民意識も含めて事業効果を表す指標であるから ・スポーツや文化・芸術活動事業等への参加が、障害者等の楽しみや自己表現できる機会となるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	障害者スポーツや文化イベントの参加人数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-5	暮らしやすく、社会につながる環境の整備
部課名	福祉部 福祉総務課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●誰もがいつでも必要な情報を得ることができ、外出しやすい環境が整っている。</p>	(1)	<p>●すべての人にとって安全で安心して外出できる「ユニバーサルデザイン」に配慮したまちづくりを進めるため、移動等に困難を有する人の視点や意見を踏まえ、誰もが快適で使いやすいトイレの設置や、歩道や公園出入口の段差を解消します。</p> <p>●支援が必要な場面では、当事者の「困りごと」に周囲の人が気づき、適切に行動し、対応することができるよう、バリアフリーに対する意識啓発に取り組み、ハード・ソフトの両面から、まちのバリアフリー化を推進します。</p> <p>●行政や事業者が、障害のある方と共に合理的な配慮に取り組み、身体障害や知的障害等があることで、飲食店への入店や芸術鑑賞ができないといった社会的バリアのない環境の整備を働きかけます。</p>	<p>① 「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数【件】</p>	民間事業者の所有施設のバリアフリー化の進捗具合
		<p>② 池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における着手率【%】</p>	<p>④ 池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画実施施設管理者数【件】</p>		
	(2)	<p>●日常生活に関わる情報や災害時の緊急情報について、迅速かつ正確な発信が可能となるよう、障害特性や外国人等に配慮した、音声や文字の変換、点字・手話や多言語化等の対応を行うとともに、公共施設や民間事業者に関するバリアフリーマップを更新します。</p>	<p>① 65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】</p>	<p>③ コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数【回】</p>	高齢者のスマートフォン活用への意欲の増進
		<p>●高齢者や障害者が、リアルタイムな情報を取得するためには、スマートフォンやタブレットを使いこなせることが有効です。身近な区民ひろば等を活用し、使い方教室、個別相談等を実施するなど、情報格差を解消する取組を進めます。</p>	<p>② ことばの道案内のアクセス件数【件】</p>	<p>④ 視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数【件】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	—	18.2 (目標値)	19.7	21.2	22.7	24.2	25.7	新規	
	成果指標	②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における着手率	75.2	75.6	76.0	76.4	76.8	77.2	77.6	新規	
	活動指標	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数	27	27	27	27	27	27	27	新規	
	活動指標	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画実施施設管理者数	28	28	28	28	28	28	28	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	新規	
	成果指標	②	ことばの道案内のアクセス件数	6,303	6,400	6,450	6,500	6,550	6,600	6,650	新規	
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数	11	11	11	11	11	11	11	新規	
	活動指標	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数	199	202	205	208	211	214	217	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする割合【%】	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		基本計画改定に伴う区民意識調査	
	成果指標	②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における全事業のうち、実施(完了・継続実施・実施中)している割合【%】	民間事業者の所有施設のバリアフリー化を把握する指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数【件】	区および関係機関が施策目標を進める活動の指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想において特定事業計画を実施する施設管理者数【件】	区・民間事業者を含めたバリアフリー化を推進する事業者を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	デジタル機器により情報を取得できるかを表す指標のため		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書	
	成果指標	②	ことばの道案内のアクセス件数	視覚障害のある方の、公共施設にアクセスしているかの指標となるため		所管課データ	
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数【回】	デジタルデバイドの解消に向けた活動の指標となるため		所管課データ	
	活動指標	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数【件】	視覚障害のある方の公共施設誘導に必要なルート数が外出を促す指標となるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
												実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓	✓			%	—	18.2	19.7	21.2	22.7	24.2	25.7	適切	
	成果指標	②	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画における着手率	△		✓		✓		%	75.2	75.6	76.0	76.4	76.8	77.2	77.6	適切	
	活動指標	③	池袋駅地区バリアフリー基本構想推進協議会における人的対応・こころのバリアフリー取組紹介事例数	△		✓		✓		件	27	27	27	27	27	27	27	適切	
	活動指標	④	池袋駅地区バリアフリー基本構想特定事業計画実施施設管理者数	△		✓		✓		件	28	28	28	28	28	28	28	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率	○	✓	✓		✓		%	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	適切	
	成果指標	②	ことばの道案内のアクセス件数	△		✓		✓		件	6,303	6,400	6,450	6,500	6,550	6,600	6,650	適切	
	活動指標	③	コミュニティソーシャルワーク事業におけるスマホ相談会の開催回数	△		✓		✓		回	11	11	11	11	11	11	11	適切	
	活動指標	④	視覚障害者の公共施設誘導に必要な道案内のルート作成件数	△		✓		✓		件	199	202	205	208	211	214	217	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① 「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・両指標を記載することによって、まちのバリアフリーと情報バリアフリーの双方の指標を表すことが出来るため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-① 65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-6	ともに支え合い、思いやりあふれる地域づくりの推進
部課名	福祉部 福祉総務課 高齢者福祉課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●人と人が理解し、支えあいながら、暮らせるまちとなっている。</p>	<p>(1) ●区民ひろばに配置するコミュニティソーシャルワーカーが中心となり、地域のネットワークの構築、様々な地域団体活動の活性化を図るとともに、誰でも食堂等、支えあい活動の立ち上げ支援や、担い手の育成を行います。 ●支援が必要な人への関わり方について、地域福祉サポーターや介護予防サポーターをはじめ、各種サポーター養成講座等を実施し、地域で活躍できる担い手の育成に取り組めます。 ●高齢者、外国人、ひきこもり状態にある人等、対象者別の支えあい活動への支援を継続するとともに、特定の世代や対象を限定せず、地域で活動したい人や団体をつなぎ、支援者同士のネットワークを構築します。</p>	<p>① コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数【件】</p>	<p>③ 「ぶらっと」の開催回数</p>	<p>地域での支え合いに関する意識醸成が図られたか</p>
		<p>② 地域資源情報の把握数【件】</p>	<p>④ ささえあいの仕組み作り協議会開催数</p>	
	<p>(2) ●認知症に対する地域の理解を深めるため、認知症サポーター養成講座による、見守り支援を行う認知症サポーターの養成、民間と協働した認知症カフェの開催等、認知症のある人にやさしいまちづくりに取り組みます。 ●ひきこもりやヤングケアラー等、様々な困難を抱える方について、講演会の開催等を通じて区民の理解を促進していくとともに、相談窓口や支援団体の取組等を周知します。 ●区民ひろばや企業・学校等で、障害に応じた声かけやサポート方法を学べる区民向け講座を開催し、交流の促進を図るほか、新たにSNSによる配信を行うことで、障害者への理解を深めます。</p>	<p>① 「認知症の人や障害者等の支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 認知症サポーター養成累計人数【人】</p>	<p>区民だけでなく、社会全体で高齢者や障害者等への理解促進が図れたか</p>
		<p>② 障害者サポート講座、発達障害講座等累計人数【人】</p>	<p>④ 障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数【人】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数	件	2,777	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300	新規	
	成果指標	②	地域資源情報の把握数	件	905	940	980	1,000	1,050	1,100	1,150	新規	
	活動指標	③	「ぷらっと」の開催回数	回	34	48	48	48	48	48	48	新規	
	活動指標	④	ささえあいの仕組み作り協議会開催数	回	28	31	34	37	40	43	46	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「認知症の人や障害者等の支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合	%	-	9.1 (実績値)	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	新規	
	成果指標	②	障害者サポート講座、発達障害講座等受講者累計人数	人	2,097	2,414	2,714	3,014	3,314	3,614	3,914	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標	③	認知症サポーター養成講座受講者累計人数(累計)	人	18,003	18,200	18,400	18,600	18,800	19,000	19,200	継続	3-1-1福祉コミュニティの形成
	活動指標	④	障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数	回	4	5	6	6	7	7	8	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	コミュニティソーシャルワーカーが対応する地域団体等への支援、団体との連携の件数	コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ	
	成果指標	②	生活支援体制整備事業にて把握した地域資源情報数	地域資源(社会資源)を活性化させていくための基礎となる情報量を表す指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	地域住民や活動者、ボランティア団体、企業、NPO等、地域のさまざまな人達が気軽に自分の活動や意見を話し、お互いを知り、つながる場「ぷらっと」の年間開催回数。	コミュニティソーシャルワーカーの活動状況を把握する指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	ささえあいの仕組み作り協議会を開催した回数	官民連携により、地域課題の共有、解決に向けて協議した量を表す指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいると回答した人の割合	認知症の人や障害者等への区民の理解促進について、区民の意識を測る指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査(新規)	
	成果指標	②	障害者サポート講座や発達障害講座等の障害者理解促進のための講座に参加した累計の人数	参加者の増加は、区民の障害者に対する関心の高さや理解を示す指標になるため		所管課データ	
	活動指標	③	認知症サポーター養成講座に参加した累計の人数	認知症を理解・応援する人の増加が、支え合いの充実度を表す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	障害者サポート講座や発達障害講座等を開催した回数	障害者サポート講座の開催により、障害者等の理解促進やサポート方法を学ぶための機会を示す指標になるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 目指すまちの姿や取組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等と目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数	○	✓	✓	✓		件	2,777	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300	適切	
	成果指標	②	地域資源情報の把握数	△		✓	✓		件	905	940	980	1,000	1,050	1,100	1,150	適切	
	活動指標	③	「ぷらっと」の開催回数	△		✓	✓		回	34	48	48	48	48	48	48	適切	
	活動指標	④	ささえあいの仕組み作り協議会開催数	△		✓	✓		回	28	31	34	37	40	43	46	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	「認知症の人や障害者等の支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓	✓		%	-	9.1(実績値)	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	適切	
	成果指標	②	障害者サポート講座、発達障害講座等受講者累計人数	△		✓	✓	✓	人	2,097	2,414	2,714	3,014	3,314	3,614	3,914	適切	
	活動指標	③	認知症サポーター養成講座受講者累計人数(累計)	△		✓	✓	✓	人	18,003	18,200	18,400	18,600	18,800	19,000	19,200	適切	
	活動指標	④	障害者サポート講座、発達障害講座等開催回数	△		✓	✓		回	4	5	6	6	7	7	8	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数【件】	・共生社会の実現を進める指標として、障害者等への理解や意識の高さを示す指標であるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「認知症の人や障害者等の支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-①-7	福祉人材の確保・支援と福祉サービスの質の向上
部課名	福祉部 高齢者福祉課 障害福祉課 介護保険課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>区内で働き続けられる福祉人材を確保することにより、サービスの安定的な供給が図られ、支援を必要とする人が適切で良質なケアを受けることができる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉人材の魅力をホームページ等で発信するとともに、ハローワークや、「としま福祉事業協同組合*」をはじめ、事業所と連携した就労フェアや就職相談会を実施するなど、福祉人材の確保に努めます。 ●国籍や年齢を問わず、経験や職層に合わせた様々な研修を実施するほか、介護に関する各種資格取得費用助成等、福祉人材の養成と定着に向けた取組を強化します。 ●福祉サービス提供者、相談支援従事者等の業務軽減のため、介護ロボットやAI、ICT等の活用について、普及促進に取り組みます。 ●将来にわたって福祉人材の安定的な参入を促進するため、中高生等の若年層を対象として、福祉現場の体験や仕事の魅力を積極的に発信します。 	<p>①</p> <p>「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③</p> <p>介護職員の資格取得費用助成件数【件】</p>	<p>○事業所で働く職員の知識が向上し、サービスの質の向上につながっているか。</p> <p>○就職相談会に参加した人や、パンフレットをみた若者が、将来的に福祉の職に就職することになったか。</p> <p>○各種助成制度を利用することで、福祉人材の採用や定着が進んだか。</p>
		<p>②</p> <p>介護に関する入門的研修の受講者アンケートで、「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合【%】</p>	<p>④</p> <p>介護に関する入門的研修の修了者の人数【人】</p>	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障害者に対する不適切な対応や虐待を未然に防止するため、区民への普及啓発を図るとともに、事業者への研修や指導を実施します。 ●福祉サービス事業者に対しては、第三者評価の定期的な受審を奨励し、各種基準に沿った適正な運用を図るとともに、質の高いサービスが安定的に提供されるよう、計画的な指導・支援を実施し、事業者の自律性を高めます。 ●利用者からの苦情に対しては、公平性を確保するため、社会福祉協議会等の第三者機関が適正に対応します。また、区民が相談しやすい相談窓口を周知します。 ●介護者の負担を軽減するため、介護者向けの講座の開催や、当事者間の相談・情報交換ができる家族会等の活動を支援します。 	<p>①</p> <p>介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数【件】</p>	<p>③</p> <p>介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数【件】</p>	<p>○指導を受けた事業所が、より適正で質の高いサービスの提供ができるようになっていくか。</p>
		<p>②</p> <p>高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数【件】</p>	<p>④</p> <p>高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数【人】</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合	%	—	15.7 (目標値)	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	新規	
	成果指標	②	「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合	%	81.5	83.0	85.0	87.0	90.0	93.0	95.0	新規	
	活動指標	③	介護職員の資格取得費用助成件数	件	34	40	45	50	55	60	63	新規	
	活動指標	④	介護に関する入門的研修の修了者の人数	人	55	65	70	75	80	85	90	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数	件	288	291	291	304	304	317	317	新規	
	成果指標	②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	件	102	110	110	100	100	90	90	新規	
	活動指標	③	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数	件	73	80	80	85	85	90	90	新規	(障害のみ)3-1-3福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進
	活動指標	④	高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数	人	193	200	200	210	210	220	220	新規	

指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	①	協働のまちづくりに関する 区民意識調査による回答の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する 区民意識調査
	成果指標	②	介護に関する入門的研修受講者へのアンケートによる回答の割合	研修受講により不安を払拭することで、介護の職場で働く意欲の向上につながる指標であるため	所管課データ
	活動指標	③	介護職員の資格取得費用助成を行った件数	介護人材の資格取得を助成し、質を向上させるための活動指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	介護に関する入門的研修を受講し修了証を交付した人数	介護人材の増加を目指すための活動指標であるため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	指導後の介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善報告の件数	指導の結果、介護サービス及び障害福祉サービスの質の改善を図った結果の指標であるため	所管課データ
	成果指標	②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	事業者や養護者から対象者へ適切な介護が提供されていることを判断する指標であるため	所管課データ
	活動指標	③	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数	適正化を図るための指導を行う活動指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数	虐待の防止の取り組みに対する理解を示す指標であるため	所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合	○	✓	✓	✓		%	—	15.7	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	適切	
	成果指標 ②	「介護分野で働くことの不安が全てまたは少しは払拭された」と回答する割合	○	✓	✓	✓		%	81.5	83.0	85.0	87.0	90.0	93.0	95.0	適切	
	活動指標 ③	介護職員の資格取得費用助成件数	△		✓	✓			件	34	40	45	50	55	60	63	適切
	活動指標 ④	介護に関する入門的研修の修了者の人数	△		✓	✓			人	55	65	70	75	80	85	90	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数	○	✓	✓	✓		件	288	291	291	304	304	317	317	適切	
	成果指標 ②	高齢者・障害者虐待に関する相談受理件数	○	✓	✓			件	102	110	110	100	100	90	90	目標値が低すぎる	
	活動指標 ③	介護事業所運営指導、障害福祉サービス事業者指導検査 実施件数	△		✓	✓			件	73	80	80	85	85	90	90	適切
	活動指標 ④	高齢者・障害者虐待防止対策講演会の年間参加者数	△		✓	✓			人	193	200	200	210	210	220	220	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー①	「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の印象を直接把握でき、取り組みについての成果を図るにふさわしいため ・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	3-②-1	健康に関する気づきの推進
部課名	健康部 地域保健課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す5年後の姿	取組方針	定量的評価				定性的評価
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●区民一人ひとりが自らの健康を意識し、より良い健康状態の実現に向けて行動できている。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特定健診は、区内160以上の医療機関で受診できること、また忙しい壮年層の区民でも受診可能な、平日夜間や土日、休日の健診を実施している医療機関があることを医師会や医療機関等と連携して周知するとともに、定期的な健診の受診が自らの健康増進の元となることを積極的に発信します。 ●区民が、自らの健康状態を認識し、生活習慣の改善等の行動変容に結びつけられるよう、無理なく楽しみながら、健康に対するチャレンジを後押しする事業を展開します。 ●日常生活の中で健康について気軽に取り組めること等、有益な健康情報に触れる機会を増やすことで、区民の健康に対する関心を高めるとともに、健康についての知識を得られるよう、情報発信を強化します。 	①	特定健診受診率	③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	<p>健康寿命の延伸や疾病の発症・重症化予防が、対象者の生活満足度や幸福感に与える影響</p>
		②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●壮年層の検診受診率向上のため、「5がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳がん)のチケット一斉発送」「未受診者への再勧奨」等を継続しつつ、SNSの活用等、対象者に応じた新たな勧奨方法に取り組みます。 ●学業、子育て、治療と仕事の両立等、ライフステージ(小児・AYA世代、勤労者、高齢者)に応じた支援を行い、がんに罹患しても、自分らしく生きられるような環境整備を推進します。 ●区民がたばこによる健康被害について学ぶことができるよう、SNS等、様々な媒体を通じた普及啓発を行います。 ●自身の力だけでは禁煙できない喫煙者に対する禁煙支援を行い、喫煙者本人だけでなく、その子どもと家族もたばこによる健康被害から守ります。 	①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合	③	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	<p>区全体として健康的な生活習慣を重視する文化や意識がどれだけ高まったかの質的評価</p>
		②	「週3回以上朝食を抜く」人の割合	④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する他課/他Gからの申請件数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	特定健診受診率	%	35.0	37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	継続	3-3-1がん・生活習慣病対策等の推進
	成果指標	②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	%	46.3	49.5	49.6	49.7	49.8	49.9	50.0	新規	
	活動指標	③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	%	54.2	54.5	54.8	55.1	55.4	55.7	56.0	新規	
	活動指標	④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	%	83.2	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	84.7	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合	%	55.3	46.9 (実績値)	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	継続	3-3-1がん・生活習慣病対策等の推進
	成果指標	②	「週3回以上朝食を抜く」人の割合	%	男性:18.6% 女性:13.2%	男性:18.5% 女性:13.0%	男性:18.0% 女性:12.5%	男性:17.5% 女性:12.0%	男性:17.0% 女性:11.5%	男性:16.5% 女性:11.0%	男性:16.0% 女性:10.5%	新規	
	活動指標	③	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	回	2	2	2	2	2	2	2	新規	
	活動指標	④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する、他課/他Gからの申請件数	G	7	8	8	9	9	10	10	新規	

指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	①	特定健診受診率	区民の健康意識の向上や健康行動の実施状況を測る指標であるため	豊島区の保健衛生
	成果指標	②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	内服治療を開始している糖尿病患者の生活習慣の改善や治療継続をサポートすることで、病状の悪化や透析を防ぎ、QOLの高い生活の持続および医療コスト低減を測る指標であるため	(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
	活動指標	③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	受診勧奨電話によって特定健診受診率向上を図ることで、電話勧奨の効果の評価し、リソースの有効活用や行動変容の促進、より効果的なターゲティング手法の検討を行うための指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	健康状態の改善を図り、糖尿病重症化予防や健康寿命の延伸を目指す指標であるため	(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合	全ての人が健康に関する知識を得る機会を増やし、適切な健康行動を取れる環境改善のための、全体的な健康水準を示す指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書
	成果指標	②	健康的な生活習慣の一つである「週3回以上朝食を抜く」人の割合	健康維持のためには健康的な生活習慣が重要であり、その中でも食事は健康に直接影響を与え、健康問題を予防する上での指標となるため	(目標値)第三期データヘルス計画(実績)所管課データ
	活動指標	③	がん対策推進特別講演会、小児・AYA世代がん啓発チャリティーライブの開催回数	がんに関する正しい知識の普及啓発や、わかりやすい情報提供の機会を示す指標であるため	所管課データ
	活動指標	④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する他課/他Gからの申請件数	健康増進プログラムの普及度を測定する指標であるため	所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定	
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	特定健診受診率	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	35.0	37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	適切
	成果指標 ②	糖尿病高リスクグループの保健指導申込割合	△		✓				%	46.3	49.5	49.6	49.7	49.8	49.9	50.0	適切
	活動指標 ③	受診勧奨電話をした特定健診未受診者のうち、その後受診した人の割合	△		✓				%	54.2	54.5	54.8	55.1	55.4	55.7	56.0	適切
	活動指標 ④	糖尿病予防保健指導実施者の1年間でのHbA1c値改善・維持率	○	✓	✓				%	83.2	83.7	83.9	84.1	84.3	84.5	84.7	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合	◎	✓	✓		✓		%	55.3	46.9 (実績値)	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	適切
	成果指標 ②	「週3回以上朝食を抜く」人の割合	△		✓				%	男性:18.6% 女性:13.2%	男性:18.5% 女性:13.0%	男性:18.0% 女性:12.5%	男性:17.5% 女性:12.0%	男性:17.0% 女性:11.5%	男性:16.5% 女性:11.0%	男性:16.0% 女性:10.5%	適切
	活動指標 ③	がんに関する知識の普及啓発事業の開催回数	○	✓	✓		✓		回	2	2	2	2	2	2	2	適切
	活動指標 ④	「健康チャレンジポイントを付与する講座開催」に関する、他課/他Gからの申請件数	△		✓	✓			G	7	8	8	9	9	10	10	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-① 特定健診受診率【%】	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育や二次予防推進活動の効果を測定し、事業の有効性を確認することができると思われるため。 早期発見と予防による医療コストの削減効果を示し、持続可能な健康政策の実現を目指すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-① 「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-②-2	こころと体の健康づくりの推進
部課名	健康部 健康推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●バランスの良い食生活や運動習慣など、健康的な生活習慣が定着し、性別やライフステージに応じた健康づくりが充実している。</p> <p>●こころの健康への理解が促進され、周囲の方による支えあいが進んでいる。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分や家族の健康について気軽に相談・学習できる機会を増やすなど、若年期からの生涯を通じた健康づくりを進めます。また、保育付き講座や、対象者の年代やニーズに応じた健康づくり事業を関連機関や企業、大学等と連携して実施するとともに、デジタル技術を活用した健康情報の発信、電子申請、多言語対応等を行います。 ●リプロダクティブ・ヘルス・ライツの視点を踏まえ、女性特有の疾患やホルモンバランスの変化による健康への影響・プレコンセプションケア*などを含めた女性の健康づくりを進めます。 ●健康寿命の延伸のため、年代や生活にあわせた適切な栄養が摂れる食生活、歯科疾患予防と口腔機能維持等の歯と口腔の健康づくり、日常的に身体を動かして運動をするなど、すべての年代を通じた健康的な生活習慣づくりを進めます。 	①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	女性のしなやか健康づくり事業参加人数【人】(骨太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性や若者が健康的にいきいきと生活できているか ・区民が運動や散歩を積極的に日常的な生活習慣に取り入れているか ・食生活を気にしたり、歯磨き習慣が身についているか
		②	区民の65歳健康寿命【歳】 ※65歳健康寿命…65歳の人が必要支援認定を受けるまでの平均的な年齢	④	生活習慣病予防事業参加人数【人】(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教室)	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メンタルヘルスに対する正しい知識や、ストレス対処方法等のセルフケア、周囲の方による見守りの方法を周知するなど、こころの健康に対する理解の普及啓発に取り組み、こころを元気にする環境づくりを進めます。 ●メンタルヘルスの問題を抱える家族・同僚等の悩みや変化等といった、自殺のサインに気づき、声をかけ、見守ることができる「ゲートキーパー」、こころの病気についての正しい知識と理解に基づいて傾聴を中心とした支援を行う「心のサポーター」を養成します。 ●こころの不調について早期に発見・相談しやすい体制づくりに取り組み、「こころ」と「いのち」を支えあう自殺・うつ予防対策を進めます。 	①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」と思う区民の割合【%】	③	こころの健康づくり事業参加人数【人】(精神保健福祉講演会・こころまつり・精神保健福祉ボランティア講座)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや心のサポーターが地域で活動できているか
		②	心のサポーター、ゲートキーパー養成数【人】	④	メンタルヘルス相談窓口リーフレットの配布数【部】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に 気をつけて生活できている」という肯定的な回 答をする区民の割合【%】	%	—	30.0 (実績値)	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	新規	3-3-2 こころと体の健康づ くりの推進
	成果指標	②	区民の65歳健康寿命	歳	男性80.72 女性82.80 (2022年)	男性80.82 女性82.83 (2023年)	男性80.92 女性82.85 (2024年)	男性81.02 女性82.87 (2025年)	男性81.12 女性82.89 (2026年)	男性81.22 女性82.91 (2027年)	男性81.25 女性82.93 (2028年)	新規	
	活動指標	③	女性のしなやか健康づくり事業参加人数(骨 太健診受診者・女性の健康相談・女性の健康教 室・講座・セミナー利用者数)	人	1,206	1,220	1,235	1,250	1,265	1,280	1,300	新規	
	活動指標	④	生活習慣病予防事業参加人数(生活習慣病 予防健診受診者・歯科健康教育・メタボ予防教 室)	人	346	355	360	365	370	375	380	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に 気をつけて生活できている」と思う区民の割合	%	—	30.0 (実績値)	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	新規	3-3-2 こころと体の健康づ くりの推進
	成果指標	②	心のサポーター、ゲートキーパー養成 数(累計)	人	3,603	3,743	3,883	4,023	4,163	4,303	4,443	新規	
	活動指標	③	こころの健康づくり事業参加人数(精神保健福 祉講演会・こころまつり・精神保健福祉ボランティア講 座)	人	734	740	745	750	755	760	765	新規	
	活動指標	④	メンタルヘルス相談窓口リーフレットの 配布数	部	30,412	30,450	30,500	30,550	30,600	30,650	30,700	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区 民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民 意識調査	
	成果指標	②	区民の健康寿命(65歳健康寿命「東京都保健所長会方式」 65歳の方が要支援1以上の認定を受けるまでの自立期間を足した寿命)	施策によって区民の健康度がどう変化したかを把握できる指標であるため		東京都データ	
	活動指標	③	女性のしなやか健康づくり事業参加人数(骨太健診受診者・女性の健康相談・ 女性の健康教室・講座・セミナー利用者数)	健康的な生活習慣づくりの行動をしている区民の数を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	生活習慣病予防事業参加人数(生活習慣病予防健診受診者・歯科健康教育・メ タボ予防教室)	健康的な生活習慣づくりの行動をしている区民の数を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した区 民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民 意識調査	
	成果指標	②	心のサポーター、ゲートキーパー養成講座参加人数の累計	地域の見守り体制の構築状況を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	こころの健康づくり事業参加人数(精神保健福祉講演会・こころまつり・精神保健 福祉ボランティア講座)	メンタルヘルスの正しい知識と理解を持つための行動をしている区民を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	メンタルヘルスに関する相談窓口を掲載しているリーフレット等の配布数	メンタルヘルスの相談窓口情報を得る機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	—	30.0 (実績値)	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	適切
	成果指標 ②	◎	✓	✓	✓	✓	✓	歳	男性80.72 女性82.80 (2022年)	男性80.82 女性82.83 (2023年)	男性80.92 女性82.85 (2024年)	男性81.02 女性82.87 (2025年)	男性81.12 女性82.89 (2026年)	男性81.22 女性82.91 (2027年)	男性81.25 女性82.93 (2028年)	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓				人	1,206	1,220	1,235	1,250	1,265	1,280	1,300	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓				人	346	355	360	365	370	375	380	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	—	30.0 (実績値)	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	適切
	成果指標 ②	○	✓	✓				人	3,603	3,743	3,883	4,023	4,163	4,303	4,443	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓				人	734	740	745	750	755	760	765	適切
	活動指標 ④	×						部	30,412	30,450	30,500	30,550	30,600	30,650	30,700	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)ー① (2)ー①	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー②	区民の65歳健康寿命【歳】 ※65歳健康寿命…65歳の人が要支援認定を受けるまでの平均的な年齢	

指標設定チェックシート

施策名	3-②-3	健康危機管理の強化
部課名	健康部 生活衛生課、保健予防課、健康推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>○感染症のまん延防止や食中毒予防の体制が強化され、安心して住み続けられる。</p> <p>○まち全体で熱中症予防のための対策が講じられ、夏季も健康を保つことができる。</p>	<p>(1) ●感染症流行に関するSNS等を活用した的確な情報発信、感染症予防の正しい知識の普及啓発、予防接種の推進により、様々な感染症のまん延を防ぎ、区民の生命及び健康を保護します。 ●国や東京都、医師会等と連携して、平常時から必要な資材の整備・備蓄に努めるとともに、地域医療体制の整備や感染症対応訓練等を実施し、脅威となる感染症のパンデミック(世界的大流行)発生時における迅速な対応に備えます。 ●パンデミック発生時には、疫学調査の実施等により、感染拡大防止を図るとともに、状況に応じた保健指導・療養支援を行い、安心して療養できる環境をつくり、区民の社会生活への影響を最小限にとどめます。</p>	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 感染症対策研修、訓練実施回数	<p>感染症流行時に、段階に応じた対策がとれているか。感染者が安心して療養できているか。</p>
		② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請受付件数	
	<p>(2) ●衛生管理の導入促進と定着支援のため、事業者に対し衛生講習会を開催します。 ●小規模店舗や外国人事業者においてもHACCP(ハサップ)に沿った衛生管理を実施できるよう、導入と定着を支援するとともに、取組状況を確認するため、監視指導を強化します。</p>	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 講習会実施回数	<p>講習会を受講した人がどの程度まで理解を深めることができたか。</p>
		② 食中毒発件数【件】	④ 有症苦情の処理件数【件】	
	<p>(3) ●区民ひろば等の区の施設を涼みどころとして開放するとともに、一人暮らし高齢者への個別訪問による注意喚起や、様々な媒体を活用した熱中症予防策の積極的な呼びかけなどにより、家庭や職場における夏季の健康管理や地域での見守りを推進します。</p>	① 熱中症救急搬送数【人】	③ 熱中症予防策の情報発信【回】	<p>熱中症予防策の情報を得た人がどのくらい理解して、積極的に予防策をとっているか。</p>
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	38.3	37.9【実績値】	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標	② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】	%	88.1	88.5	89.0	89.5	90.0	90.5	91.0	新規	
	活動指標	③ 感染症対策研修、訓練実施回数	回	1	2	2	2	3	3	3	新規	
	活動指標	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請受付件数	件	0	300	390	507	583	671	872	新規	
取組方針(2)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	38.3	37.9【実績値】	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標	② 食中毒発生病件数	件	5	5	5	5	5	5	5	新規	
	活動指標	③ 講習会実施回数	回	31	32	33	34	35	36	37	新規	
	活動指標	④ 有症苦情の処理件数	件	63	46	45	44	43	42	41	新規	
取組方針(3)	成果指標	① 熱中症救急搬送数	人	196	200	195	190	185	180	175	新規	
	成果指標	②										
	活動指標	③ 熱中症予防策の情報発信数	回	11	15	17	20	22	25	27	新規	
	活動指標	④										

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針(1)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について「どちらかというと思う」と回答した人の割合		施策に対する区民の意識・不安の程度を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	② 定期予防接種(A類)平均接種率【%】		予防接種の接種状況を把握できる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③ 施設職員向け研修、個人防護具の着脱・陰圧テントの立ち上げ等訓練の実施回数		正しい知識の普及啓発、初動対応訓練等の活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④ 各種定期接種及び任意接種の予診票・接種証明書などの電子申請受付件数		各種申請のアクセシビリティや接種率向上の指標となるため		所管課データ	
取組方針(2)	成果指標	① 「感染症や食中毒等に不安を感じる人が少ない」について「どちらかというと思う」と回答した人の割合		区民が健康・保健に関する生活環境について評価している指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	② 食中毒発生病件数		飲食による衛生上の危害発生防止を評価できる指標であるため		豊島区の保健衛生	
	活動指標	③ 食品等事業者及び消費者を対象にした講習会の実施回数		食中毒予防に関わる理解を深める機会を提供する活動量を示す指標であるため		豊島区の保健衛生	
	活動指標	④ 有症苦情の処理件数		区民からの飲食を起因とする苦情を把握できる指標であるため		豊島区の保健衛生	
取組方針(3)	成果指標	① 熱中症のため救急搬送された人数		熱中症の発生状況を把握できる指標であるため		救急活動の現況(東京消防庁)	
	成果指標	②					
	活動指標	③ 熱中症予防策について情報発信した回数(広報、HP、SNS、サイネージ等)		熱中症に対する予防策に注意喚起の活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④					

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%	38.3	37.9 【実績値】	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	適切	
	成果指標 ②	○	✓	✓	✓		%	88.1	88.5	89.0	89.5	90.0	90.5	91.0	適切	
	活動指標 ③	△		✓		✓		回	1	2	2	2	3	3	3	適切
	活動指標 ④	△		✓				件	0	300	390	507	583	671	872	目標値が高すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%	38.3	37.9 【実績値】	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	適切	
	成果指標 ②	○	✓	✓			件	5	5	5	5	5	5	5	適切	
	活動指標 ③	△		✓			回	31	32	33	34	35	36	37	適切	
	活動指標 ④	△		✓			件	63	46	45	44	43	42	41	適切	
取組方針(3)	成果指標 ①	○	✓	✓			人	196.0	200.0	195.0	190.0	185.0	180.0	175.0	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	△		✓		✓	回	11	15	17	20	22	25	27	適切	
	活動指標 ④															

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① (2)-①	「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を包括的に表しているため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	定期予防接種(A類)平均接種率【%】	

指標設定チェックシート

施策名	3-②-4	地域医療体制の充実
部課名	健康部 地域保健課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●多職種連携の在宅医療提供体制により、区民が住み慣れた地域で、自分らしく健康に暮らし続けることができている。</p> <p>●大規模災害時においても、医療機能が確保され、医療救護活動が円滑に実施できている。</p>	<p>(1) ●高齢化の進展に伴う医療・介護ニーズの変化を的確に捉え、四師会及び区内病院、介護サービス事業者等、地域の医療・福祉機関が連携し、医療と福祉を切れ目なく提供できる体制を確保します。</p> <p>●在宅医療を望む区民が安心して自宅で療養できるよう、在宅医療・介護ニーズに応える、かかりつけ医を増やします。ICTを活用した地域医療機関とのさらなる連携強化により、希望する場所で適切な医療サービスを受けられる体制を構築します。さらに、在宅医療24時間診療体制の構築を進めます。</p> <p>●区民に対し、かかりつけ医制度を啓発するとともに、希望すれば住み慣れた場所での療養も可能であることを周知します。</p> <p>●在宅医療ネットワークで培った多職種の「顔の見える関係」という強みを生かし、地域の医療・福祉資源との連携により、区民の生活を支えます。</p>	① 「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 専門職向け研修の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・病院ではなく在宅という選択肢があると啓発することで、療養の選択肢を増やすことができたか ・在宅医療を受けるために、かかりつけ医を持つことが大事である啓発できたか ・研修を通じて、多職種の顔の見える関係が構築されたか ・研修により、医療介護従事者のスキルが向上したか ・区にある医療資源の周知啓発ができたか
		②	④ 区民公開講座の開催回数	
	<p>(2) ●災害発生により負傷した区民に、迅速かつ適切な医療を提供するため、緊急医療救護所開設等の訓練を継続実施し、四師会及び地域の医療機関等との連携を強化します。</p> <p>●訓練の実施を通じて、資器材の不足や各種マニュアルの更新の必要性等の課題を発見します。また、こうした課題に対して、豊島区災害医療検討会議*で改善策を検討し、それを実行に移すことで、災害医療体制をさらに強化します。</p> <p>●発災時において、区民が自らの命を守る適切な行動を取れるよう、災害医療提供体制や応急処置の方法について周知します。</p>	① 医療救護活動従事者登録数	③ 災害医療訓練実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容を理解し、発災時の行動に移すことができるか ・改善点を医療救護活動マニュアル等に反映できたか
		②	④ 豊島区災害医療検討会議の開催回数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値		
取組方針 (1)	成果指標	① 「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	49.2	47.4 (実績値)	49.6	49.8	50.0	50.2	50.4	継続	3-3-4地域医療体制の充実
	成果指標	②									
	活動指標	③ 専門職向け研修の開催回数	10	10	10	10	10	10	10	継続	3-3-4地域医療体制の充実
	活動指標	④ 区民公開講座の開催回数	4	4	4	4	4	4	4	継続	3-3-4地域医療体制の充実
取組方針 (2)	成果指標	① 医療救護活動従事者登録数	202	173	210	215	220	225	230	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	成果指標	②									
	活動指標	③ 災害医療訓練実施回数	4	5	5	5	5	5	5	継続	3-3-3健康危機管理の強化
	活動指標	④ 豊島区災害医療検討会議の開催回数	0	1	2	2	2	2	2	新規	

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針 (1)	成果指標	① 区民意識調査の質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民が安心して地域医療を受けることができると感じる客観的指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②		
	活動指標	③ 介護支援専門員など在宅療養を担う専門職を対象とした在宅医療コーディネーター研修等の実施回数	研修開催回数は従事者のスキルアップを図る指標であるため	所管課データ
	活動指標	④ 在宅療養に関する区民向け講座の実施回数	在宅療養に関する知識を深める区民公開講座の実施状況の指標であるため	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	① 発災時に緊急医療救護所等への従事を事前登録している医師・看護師・歯科医師・薬剤師等の医療従事者の人数	災害時等に従事できる医療従事者の人数を示す指標であるため。	所管課データ
	成果指標	②		
	活動指標	③ 当該年度の訓練実施回数	災害時等の医療体制整備のための活動量を示す指標であるため。	所管課データ
	活動指標	④ 当該年度の会議開催件数	災害時等の医療体制整備のための活動量を示す指標であるため。	所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	49.2	47.4 (実績値)	49.6	49.8	50.0	50.2	50.4	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	△		✓			✓	回	10	10	10	10	10	10	10	適切
	活動指標 ④	△		✓			✓	回	4	4	4	4	4	4	4	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓		✓	人	202	173	210	215	220	225	230	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓			✓	回	4	5	5	5	5	5	5	適切
	活動指標 ④	○	✓	✓				回	0	1	2	2	2	2	2	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な場所で」「安心して」といったキーワードを含んだ質問項目に対する調査回答であり、施策の成果を図るために最も適切であるため。 ・緊急医療救護所等において、迅速かつ適切に医療救護活動を行うには、多くの医療従事者が必要であり、事前に登録された医療従事者数を増やすことが地域医療体制の充実に寄与するため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	医療救護活動従事者登録数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	4-①	地域文化・伝統文化の継承と発展
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●地域の文化資源が適切に保存され、持続的に活用されることで、区民一人ひとりが地域の伝統文化や地域文化に誇りと愛着を持っている。</p>	<p>(1) ●本区には、自由学園明日館や雑司ヶ谷鬼子母神堂といった国指定重要文化財、雑司が谷旧宣教師館等の都指定有形文化財、鈴木信太郎記念館をはじめとする区指定有形文化財があります。これらの文化財に加え、長年区内で保管されてきた池袋モンパルナスを代表とする貴重な絵画や地域の民俗資料、豊島区の風景写真等についても、歴史的価値を守りながら、それぞれの特徴に応じた適切な維持管理を行います。</p> <p>●これらの文化財について、より多くの人々が身近に感じられるよう、デジタル技術を活用したバーチャル展示や体験型イベントの実施、現地でのワークショップや鑑賞機会を増やす取組を推進します。さらに、SNSや各種プログラムを活用して魅力を発信し、関係団体との連携を強化することで、資料や文化財の価値を的確に伝え、地域の文化の継承と活用を推進します。</p>	①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・トキワ荘通り昭和レトロ館の来館者数【人】	③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館、昭和レトロ館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【人】	<p>評価基準1: 企画展の魅力と参加者の反応</p> <p>・参加者からのフィードバックやアンケート結果を収集し、満足度や興味を測定。</p>
		②		④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	
	<p>(2) ●長崎獅子舞や富士元囃子、伝統工芸、池袋モンパルナス等、豊島区に根づく多様な文化を継承し、その魅力を広く発信します。これらの地域文化や伝統文化が次世代に継承されるよう、区民の誇りや愛着を高める取組を、地域住民や学校、企業、NPO等、様々な主体との連携を通じて強化します。</p> <p>●デジタル技術を効果的に取り入れながら、イベントを通じて質の高い芸術に触れ、ワークショップを定期的開催することで、区民や来街者が文化に親しむことができる機会を増やします。</p> <p>●地域の文化活動を通して、年齢、性別、国籍を問わず幅広い人々が交流し、本区の文化を愛する人を増やすことで、地域の文化の担い手を育てる好循環を生み出します。また、シティプロモーションの観点からも、地域の文化活動やその魅力をPRします。</p>	①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針(1)	成果指標 ①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・トキワ荘通り昭和レトロ館の来館者数【人】	人	97,099	102,000	108,000	114,000	120,000	127,000	134,000	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【名】	名	247	260	280	300	320	340	360	新規	
	活動指標 ④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	33.1	45.5 実績値	46.4	47.2	48.1	49.1	50.0	継続	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】	件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	新規	
	活動指標 ④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・昭和レトロ館の来館者数【人】		施設の来館者数は、地域文化資源への関心度や利用状況を直接反映するため、施設の魅力や情報発信の効果を評価する指標として適している。		所管課データ
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	郷土資料館、雑司が谷旧宣教師館、鈴木信太郎記念館で行われたワークショップ・イベントの参加者数【人】		ワークショップやイベントの参加者数は、地域文化の体験機会の提供状況と区民の参加意欲を示し、文化活動への積極的な関与を評価できる。		所管課データ
	活動指標 ④	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】		SNSの投稿数は、情報発信の効果と区民や広範な視聴者層への関心度を把握できる。		所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と思う区民の割合【%】		区民が地域の歴史的財産である文化財や文化資源に対して、どれだけ関心を持ち、保存や活用が適切に行われていると感じているかを測る指標として適している。		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	X(旧Twitter、)等、SNSの投稿数【件】		SNSの投稿数は、情報発信の効果と区民や広範な視聴者層への関心度を把握できる。		所管課データ
	活動指標 ④					

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 国・都の計画等で目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓			人	97,099	102,000	108,000	114,000	120,000	127,000	134,000	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○		✓	✓			名	247	260	280	300	320	340	360	適切
	活動指標 ④	△	✓			✓		件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	目標値が高すぎる
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	33.1	45.5	46.4	47.2	48.1	49.1	50.0	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	△	✓			✓		件	64.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	目標値が高すぎる
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・トキワ荘通り昭和レトロ館の来館者数【人】	・(1)-①は、来館者数の把握は、文化施設が区民等にとって魅力的であり、地域文化の保存・活用が効果的に行われていることを示す。また、来館者数のデータは具体的で測定しやすく、施策の成果を客観的に評価するための信頼性の高い指標である。
2	成果指標(区民意識調査)	(1)-②	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・(1)-②は、区民が地域の歴史的財産である文化財や文化資源に対して、どれだけ関心を持ち、保存や活用が適切に行われていると感じているかを測る指標として適しており、過年度からの比較もできることから、信頼性の高い指標である。

指標設定チェックシート

施策名	4-②	文化芸術への参加・創造の機会の創出
部課名	文化商工部 文化デザイン課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●区民の誰もが良質で多彩な文化芸術に触れ、様々な形で文化活動に参加し、心豊かに文化的な生活を送ることができる。</p>	<p>(1)</p> <p>●「としま文化の日」を中心に、地域の文化施設や公園を最大限に活用し、より多くの区民が文化に触れる機会を創出します。区は活動の場を提供し、民間事業者には魅力的な事業やイベントの提案・応援を促進することで、互いの強みを生かした公民連携を推進し、地域全体で文化の裾野を広げます。</p> <p>●障害者や子ども、外国人等、多様な背景を持つすべての人々が楽しめるよう、としま未来文化財団や福祉団体、学校等と連携し、演劇、音楽、アート等を鑑賞する機会を増やすとともに、参加・体験の機会を提供します。</p> <p>●VRやオンライン配信等、最新技術を活用することで、障害者等をはじめ、来場が困難な人に対する文化鑑賞の環境を構築します。</p> <p>●区民が文化をより身近に感じられるよう、時代に合った新しいジャンルの文化事業を積極的に取り入れます。特に若い世代の自由な発想力や想像力を生かした事業を支援し、文化の担い手が育ち、新たな文化を創造し続ける取組を進めます。</p> <p>●歌、ダンス、読み聞かせ等、幼児期から良質な文化芸術に触れる機会を提供し、子どもが未来を切り拓く創造力を養えるよう、事業を展開します。</p> <p>●これまで築いてきた、「区民が区民の文化活動を応援し、支える」精神を大切にし、区民一人ひとりが主体的に文化活動に関わり、支え合う環境を育むことで、文化を通じた活発な交流や連携を促進し、地域全体のつながりを高めます。</p>	<p>① 「文化芸術に触れる機会が多くなった」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 公民連携による文化事業の実施件数【件】</p>	<p>評価基準1: 文化施設の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者からのフィードバックやアンケートを通じて、利用満足度を測定。 <p>評価基準2: 「としま文化の日」の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「としま文化の日」に開催されたイベントの数と参加者数を評価。 ・イベントの質や魅力についての参加者からのフィードバックを収集。 <p>評価基準3: 次世代の文化芸術の担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の文化芸術活動への参加状況を評価。 ・子どもや若者向けのプログラムやイベントの実施状況と、その参加者からの反応を調査。
		<p>② 区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」 について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	34.6	38.0 (実績値)	40.1	42.4	44.8	47.3	50.0	継続	施策8-1-1
	成果指標	②	区立劇場、ホールの間年来場者数【万人】	万人	40.9	42.4	44.0	45.7	47.4	49.1	50.9	継続	施策8-1-1
	活動指標	③	公民連携による文化事業の実施件数【件】	件	-	5	5	5	5	5	5	新規	
	活動指標	④											

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)			出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」と思う区民の割合【%】		施策に対する区民の印象を把握できる指標であり、施策の実効性を評価できる。			協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	区立劇場、ホールの間年来場者数【万人】		施設の年間来場者数は、文化施設の活用状況と地域住民の文化活動への参加度を評価できる。			所管課データ	
	活動指標	③	公民連携による文化事業の実施件数【件】		官民の協力関係の強化(連携の広がり)と文化事業の多様性を測定することができる。			所管課データ	
	活動指標	④							

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓		✓	✓	%	34.6	38.0	40.1	42.4	44.8	47.3	50.0	適切
	成果指標 ②	◎	✓	✓		✓	✓	万人	40.9	42.4	44.0	45.7	47.4	49.1	50.9	適切
	活動指標 ③	△	✓			✓		件	-	5	5	5	5	5	5	目標値が低すぎる
	活動指標 ④															

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1 成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「文化芸術に触れる機会が多くなった」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)-①の成果指標は、区民が文化芸術に触れる機会が増えたと感じることは、施策が実際に区民の生活に影響を与えていることを反映すると考えられる。文化施設の利用状況やイベント参加率などの客観的な指標と組み合わせることで、施策の効果を総合的に把握する有用な指標となる。 ・(1)-②の成果指標は、施設の年間来場者数は、文化施設の活用状況と地域住民の文化活動への参加度を評価でき、機会提供の実績として有用な指標と評価できる。
2 成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	区立劇場、ホールの間年来場者数【万人】	

指標設定チェックシート

施策名	4-③	学習活動の支援を通じた生涯学習の推進
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>○ いつでもどこでも自分に合った方法で学べる環境が整い、多様な学びの機会が広がっている。</p> <p>○ 学びの成果を次の活動に活かし、人と地域資源の循環(わ)が生まれることで、地域コミュニティが活性化し、新しいアイデアと活力に満ちた変化が実現している。</p>	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習施設を、障害の有無、年齢等に関わらず、誰もが利用しやすい学びの場として整備します。また、学校に通えない子どもや居場所を必要としている若者が「サードプレイス」として自由に学習や交流ができる場として提供します。 ●デジタル技術やリモート学習ツールを導入し、オンラインで学べる環境を整え、日本語を母語としない人、在宅子育て中の人、平日の日中に仕事をしている人等、ライフスタイルに関わらず、誰もが学ぶことのできる機会を提供します。 ●子どもが学校以外で学びの体験に触れられる機会を創出することで、学びを通して仲間づくりができ、新たな発見や学ぶ楽しさに気づくなど、子どもの豊かな成長と学びを支援します。 	① 地域文化創造館の利用率【%】	③ としまコミュニティ大学講座実施回数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校以外の学びに参加している事例
		<ul style="list-style-type: none"> ●地域の学びを支援する人材や、学びに係る大学・団体・企業等、あらゆる主体による学びのコミュニティをつなげることで、学びのネットワークを構築します。人と人がつながり、情報を共有し、他者と議論や対話をする相互学習を通じて、つながり意識が醸成されることで、学びのコミュニティの活性化を目指します。 	② 「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	④ 「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」と思う区民の割合	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の学びを支援する人材や、学びに係る大学・団体・企業等、あらゆる主体による学びのコミュニティをつなげることで、学びのネットワークを構築します。人と人がつながり、情報を共有し、他者と議論や対話をする相互学習を通じて、つながり意識が醸成されることで、学びのコミュニティの活性化を目指します。 	①	③ 学習成果の発表機会数【回】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でネットワークが形成され、区民主体による自発的な活動につながっている ・継続して活動を行っている人や団体の事例
		<ul style="list-style-type: none"> ●学んだ成果を発信・発表する場を増やすことで、自分の学びを別の観点から振り返り、次の学びや活動へつなげる機会を生み出します。 ●リスキリング・リカレントを含めた生涯学習を、区民に広く周知するため、SNSを活用するなど、工夫を凝らした広報活動を行うとともに、区民の目に止まるような魅力的な学習事業を企画・発信します。 	②	④ 学習相談を受けた件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
				2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値	
取組方針 (1)	成果指標	①	地域文化創造館の利用率	%	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	新規	
	成果指標	②	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合	%	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0	43.5	新規	
	活動指標	③	としまコミュニティ大学講座実施回数	回	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	新規	
	活動指標	④	「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」と思う区民の割合	%		32.2	33.0	33.5	34.0	34.5	35.0	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①											
	成果指標	②											
	活動指標	③	学習成果の発表機会数	回	386	410	435	460	485	510	535	継続	8-2-1多様な学習活動の支援と学びの循環の創造
	活動指標	④	学習相談を受けた件数	件	117	130	140	150	160	170	180	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	地域文化創造館5館の利用率の平均値	生涯学習施設が学びの場として区民の方に認知され活用されているかを把握できる指標であるため		地域文化創造館事業報告書	
	成果指標	②	満足度調査の設問「地域文化創造館の事業に参加したことがあるか」に対し、「ある」と回答した人の割合	生涯学習施設が学びの場として区民の方に認知され活用されているかを把握できる指標であるため		地域文化創造館利用者満足度調査	
	活動指標	③	としまコミュニティ大学の講座実施回数	学びの場の機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」の項目において、「どちらかというと思う」と回答した人の割合	地域に学びの場があることを示す指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
取組方針 (2)	成果指標	①					
	成果指標	②					
	活動指標	③	としまコミュニティ大学や図書館での発表の場の開催回数	学習成果の発表機会を提供する活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	学習相談を受けた件数	学習相談は区民の主体的な学びが行われているかを図る指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	地域文化創造館の利用率	△	✓		✓			%	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	適切
	成果指標	②	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合	○	✓	✓		✓		%	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0	43.5	適切
	活動指標	③	としまコミュニティ大学講座実施回数	○	✓	✓		✓		回	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	適切
	活動指標	④	「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」と思う区民の割合	○	✓	✓		✓		%	—	32	33	34	34	35	35	適切
取組方針(2)	成果指標	①	「学んだことを地域で生かして活動している」と思う区民の割合	△	✓		✓		✓	%	7.7	8.9	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	目標値が低すぎる
	成果指標	②																
	活動指標	③	学習成果の発表機会数	○	✓	✓		✓		回	386	410	435	460	485	510	535	適切
	活動指標	④	学習相談を受けた件数	△	✓	✓				件	117	130	140	150	160	170	180	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-②	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】	<ul style="list-style-type: none"> 各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 両指標を記載することによって、学びの場への「参加」の視点と学びの成果の「展開」の視点をもって成果を表すことができるため。
2	活動指標	(2)-③	学習成果の発表機会数【回】	

指標設定チェックシート

施策名	4-④	多様な役割をもつ新たな図書館の実現
部課名	文化商工部 図書館課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価	
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。</p> <p>●図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。</p>	(1)	●地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を進めます。	① 図書貸出数	③ レファレンス(調べもの支援)の実施回数	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか ・子どもの読書活動の推進に図書館がどれだけ寄与しているか ・視覚に障害がある人、日本語を母語としない人など、読書の課題を抱えている人の読書活動に図書館がどれだけ寄与しているか
		●「知の拠点」として、地域文化の保存・継承を促進するほか、共催事業や相互PR等、地域文化創造館と緊密に連携し、それぞれの興味や関心、学習スタイルにきめ細かく対応する ことで、生涯にわたる区民の多様な学びを支援します。	② 読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	④ 点字図書館(ひかり文庫)の蔵書数	
	(2)	●施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる「居場所」としての空間づくりを進めます。	① 図書館来館者数	③ 講座、イベントの開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか ・図書館が貸し出しや閲覧といった基本的な役割だけでなく、居場所や交流の場所としてそれだけ利用されているか ・図書館がまちの価値の向上にどれだけ寄与しているか
		●子どもと一緒に周囲に気兼ねなく利用したい」、「読書や学習に専念したい」、「カフェコーナーが欲しい」等、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します。整備にあたっては、子どもがわくわくしながら本と出会えるよう、子ども視点の創意工夫を図ります。	② 利用者アンケートの総合評価のうち、「満足」「どちらかというと満足」と回答した人の割合	④ 館内の座席設置数	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	図書貸出数	冊	2,057,234	2,080,000	1,970,000	1,900,000	2,020,000	2,260,000	2,300,000	新規	
	成果指標 ②	読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	人	2,241	3,000	3,200	3,400	3,600	3,800	4,000	継続	
	活動指標 ③	レファレンス(調べもの支援)の実施回数	回	48,140	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600	50,000	新規	
	活動指標 ④	点字図書館(ひかり文庫)の蔵書(資料)数	点	6,752	6,760	6,770	6,780	6,790	6,800	6,800	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	図書館来館者数	人	1,512,313	1,580,000	1,530,000	1,530,000	1,650,000	1,920,000	2,000,000	新規	
	成果指標 ②	利用者アンケートの総合評価(「無回答」を除く)のうち「満足」「どちらかという」と満足」と回答した人の割合	%	95.5	95.8	96.1	96.3	96.5	96.7	97.0	新規	
	活動指標 ③	講座、イベントの開催回数	回	742	750	760	770	780	790	800	新規	
	活動指標 ④	館内の座席設置数(7館合計)	席	652	652.0	652.0	700.0	700.0	720.0	720	新規	

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標 ① 年間図書貸出冊数	情報発信の成果を示す最適な指標であるため	所管課データ
	成果指標 ② 読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	区民との協働による読書活動の成果を示す最適な指標であるため	所管課データ
	活動指標 ③ レファレンス(調べもの支援)の実施回数	調査研究の支援など情報センターとしての図書館の活動量を示す最適な指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④ 点字図書館(ひかり文庫)の蔵書数	読書に課題を抱える利用者へのサービスの充実度を示す最適な指標であるため	所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ① 年間来館者数	多くの区民が気軽に利用できることを目指す施策の成果を示す最適な指標であるため	所管課データ
	成果指標 ② 利用者アンケートの総合評価(「無回答」を除く)のうち「満足」「どちらかという」と満足」の回答割合	館内環境の改善や図書館サービス充実の成果を示す最適な指標であるため	図書館利用者アンケート(満足度調査)
	活動指標 ③ 講座、イベントの開催回数	交流の場としての図書館を目指す施策の活動量を示す最適な指標であるため	所管課データ
	活動指標 ④ 館内の座席設置数	館内環境の充実度を示す最適な指標であるため	所管課データ

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	図書貸出数	○	✓	✓	✓		冊	2,057,234	2,080,000	1,970,000	1,900,000	2,020,000	2,260,000	2,300,000	適切	
	成果指標	②	読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	○	✓	✓	✓		人	2,241	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000	5,500	適切	
	活動指標	③	レファレンス(調べもの支援)の実施回数	○	✓	✓			回	48,140	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600	50,000	適切	
	活動指標	④	点字図書館(ひかり文庫)の蔵書(資料)数	△		✓	✓		点	6,752	6,760	6,770	6,780	6,790	6,800	6,800	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	図書館来館者数	○	✓	✓	✓		人	1,512,313	1,580,000	1,530,000	1,530,000	1,650,000	1,920,000	2,000,000	適切	
	成果指標	②	利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかという満足」と回答した人の割合	△	✓	✓			%	95.5	95.8	96.1	96.3	96.5	96.7	97.0	適切	
	活動指標	③	講座、イベントの開催回数	△		✓	✓		回	742	750	760	770	780	790	800	適切	
	活動指標	④	館内の座席設置数(7館合計)	△	✓	✓			席	652	652.0	652.0	700.0	700.0	720.0	720	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	図書貸出数【冊】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・両指標を記載することによって、図書館の基幹的役割、新たな役割双方を利用者の視点をもって科学的に表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	図書館来館者数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	4-5	生涯を通じたスポーツ活動の推進
部課名	文化商工部 学習・スポーツ課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいきいきと輝いている。</p>	<p>(1) ●区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ関連団体、民間事業者との連携を深めながら、大会、体験イベント等の事業を幅広く展開することで、スポーツに参加する機会の拡充を図り、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。</p> <p>●子どもの体育施設使用料の免除や、居場所・遊び場づくりのための一般開放等、区立スポーツ施設の充実や利用促進を図るとともに、学校施設や公園等の区立施設をスポーツの場として有効に活用します。</p> <p>●アーバンスポーツの普及、学校部活動の地域連携・地域移行等、多様化するスポーツの姿や実施形式を的確に捉えつつ、多くの主体がつながる場所等として、様々な形でスポーツを楽しめる場を提供します。</p>	①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	区立体育施設利用者数【人】	<p>・スポーツの力を活用した地域コミュニティの醸成、地域交流の促進。</p> <p>・スポーツ活動に関する意識、行動変容。</p>
		②		④	スポーツ関連事業の実施回数【回】	
	<p>(2) ●トップアスリートとの交流の機会を創出する等、次世代を担う子どもがスポーツを通じて夢を抱き、豊かな未来を築ききっかけとなる機会を充実させます。</p> <p>●子どもから大人まで幅広い世代に対して、スポーツイベント等の情報を発信し、普段の生活の中で、多様な形でスポーツに親しむことができることを普及啓発します。</p> <p>●パラスポーツの普及やインクルーシブスポーツの体験機会の充実により、障害者であっても、スポーツを通じていきいきと生活できる環境を整え、スポーツによる地域交流の促進と、人と人が結びつく持続可能な社会の実現を目指します。</p> <p>●誰もが健康で活気に満ちた生活を営むため、子どものマルチスポーツ体験等を促進し、運動習慣の定着を図ります。また、フレイル対策において最新技術を用いたスポーツを活用する等、健康づくりや人と社会のつながりを促進します。</p>	①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数【事業】	<p>・スポーツによる健康寿命の延伸、医療費や介護費用の抑制などの効果。</p> <p>・スポーツ活動に関する意識、行動変容。</p>
		②		④	区立体育施設利用者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名		
		実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値				
取組方針(1)	成果指標 ①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	16.3	24.4 実績値	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	活動指標 ④	スポーツ関連事業の実施回数	回	3	4	5	6	7	8	9	新規	
取組方針(2)	成果指標 ①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数	人	3,568	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	5,250	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数	事業	21	22	23	24	25	26	27	新規	
	活動指標 ④	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針(1)	成果指標 ①	区民意識調査において「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」の質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを測る指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。		所管課データ
	活動指標 ④	としまスポーまつり、目白ロードレース、民間事業者(東京ヴェルディ等)との連携事業の実施回数	スポーツに親しむことのできる機会が充実しているかを測る指標であるため。		所管課データ
取組方針(2)	成果指標 ①	「生涯スポーツ推進事業」各事業参加者の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な環境づくりができていないかを測る指標であるため。		所管課データ
	成果指標 ②				
	活動指標 ③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な機会が充実しているかを測る指標であるため。		所管課データ
	活動指標 ④	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。		所管課データ

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データ信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	◎	✓	✓	✓			%	16.3	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	○	✓	✓				人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	適切	
	活動指標	④	○	✓	✓		✓		回	3	4	5	6	7	8	9	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	◎	✓	✓		✓		人	3,568	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	5,250	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	○	✓	✓		✓		事業	21	22	23	24	25	26	27	適切	
	活動指標	④	○	✓	✓				人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・区民がどのくらいスポーツに親しんでいるかを測ることが可能な指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	・子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な環境づくりができているかを測る指標であるため

指標設定チェックシート

施策名	5-1	中小企業の経営力強化と起業の促進
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点		
<p>●多角的なビジネス支援により、持続的な経営力を誇る企業が輩出されている。</p> <p>●起業やスタートアップを支える環境が整い、豊島区の産業をけん引する企業が続々と誕生している。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●としまビジネスサポートセンターの連携機関である地域の金融機関・士業団体の知識や経験を生かし、専門相談員によるワンストップ相談や、事業に役立つセミナー等を通じて、経営基盤の強化や販路拡大支援の充実を図ることで、多様な事業者の経営課題を共に解決します。 ●融資あっせんや区独自補助金等の経済的支援、セミナー等を通じたデジタル化推進の支援等により、事業者の経営基盤を強化します。 ●中小企業の勤労者支援、働き方改革、事業承継支援、リスクリング、女性やシニア、外国人人材の活用等、経営・人材確保を支援し、伝統工芸を含めた地域産業への関心を高める 次世代育成に向けた取組を推進します。 	①	融資あっせん件数【件】	③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	としまビジネスサポートセンター等への相談により経営課題が解消されたか。
		②		④	各種セミナー・勉強会の開催回数【回】	
	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今後さらなる発展が見込まれるデジタル産業をはじめとして、革新的なアイデアとテクノロジー等を持つスタートアップ企業が集い、躍動するための支援に取り組み、スタートアップによる区内経済の活性化や、多様な社会課題の解決を目指します。 ●起業希望者に対して、経営ノウハウ習得のための個別起業相談、各種セミナー・勉強会の開催、チャレンジ出店、民間のインキュベーション施設と連携した先輩起業家との交流会等、準備段階に応じたきめ細かな支援を行います。 ●女性や学生、シニア等、様々な起業家に対して、起業家同士の交流やイベント参加を促すことで、多様な起業家を支援し、本区に愛着を持つ地域密着の起業家を増やします。 	①	区内新設法人数【件】	③	起業支援者数＋特定創業証明書発行件数【件】	豊島区に愛着を持ち、地域と繋がりがあがる起業家が増えたか。
		②		④	豊島区開業支援事業補助金交付件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	融資あっせん件数【件】	件	1,132	1,154	1,177	1,200	1,224	1,248	1,272	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	件	3,458	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	新規	
	活動指標	④	各種セミナー・勉強会の開催回数	回	4	6	6	6	6	6	6	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	区内新設法人数	件	1,457	1,457	1,460	1,470	1,480	1,490	1,500	継続	7-1-1新たな価値を生み出すビジネス支援
	成果指標	②											
	活動指標	③	起業支援者数+特定創業証明書発行件数	回	387	430	440	450	460	470	480	継続	7-1-1新たな価値を生み出すビジネス支援
	活動指標	④	豊島区開業支援事業補助金交付件数	件	50	50	50	50	50	50	50	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	コロナ融資を除く融資あっせん件数	区内事業者を対象に広く支援している制度であるため。		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	融資相談件数(電話・窓口)の積算	としまビジネスサポートセンターの活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	各種セミナー・勉強会の開催回数の積算	としまビジネスサポートセンターの活動量を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区内新設法人数	区内で創業する事業者数を示す指標であるため。		所管課データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	起業支援者数と特定創業証明書発行件数の積算	起業、創業を支援した活動量を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	豊島区開業支援事業補助金交付件数の積算	起業、創業を支援した活動量を示す指標であるため		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	組方針を適切に表している	②データ信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	融資あっせん件数【件】	○	✓	✓	✓		件	1,132	1,154	1,177	1,200	1,224	1,248	1,272	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	ビジネスサポートセンター「融資相談」件数【件】	△		✓		✓		件	3,458	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	適切
	活動指標	④	各種セミナー・勉強会の開催回数	△		✓		✓		回	4	6	6	6	6	6	6	適切
取組方針(2)	成果指標	①	区内新設法人数	◎	✓	✓	✓	✓	件	1,457	1,457	1,460	1,470	1,480	1,490	1,500	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	起業支援者数+特定創業証明書発行件数	○	✓	✓		✓	回	387	430	440	450	460	470	480	適切	
	活動指標	④	豊島区開業支援事業補助金交付件数	△	✓	✓			件	50	50	50	50	50	50	50	50	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	融資あっせん件数【件】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・指標2については後期計画に設定している指標であり、継続して数値を確認、分析できるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	区内新設法人数【件】	

指標設定チェックシート

施策名	5-2	持続可能な商店街に向けた活性化支援
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
<p>●商店街が核となり、誰もが楽しめる活気がある、地域コミュニティの形成が進んでいる。</p>	<p>(1) ●プレミアム付商品券*事業や融資を含めた経営相談により、商店街の個店がそれぞれの魅力を高め、安定的な経営が可能となるよう支援します。 ●多言語対応やキャッシュレス決済を推進することで、インバウンド観光客や来街者の利便性を高めるとともに、商店街の販売促進を支援します。 ●商店街の空き店舗を活用した新たな事業者の誘致による担い手の確保や、大学等との連携促進による新商品の開発等を進め、商店会の組織力向上と持続可能な商店街づくりを支援します。</p>	① 商店街イベント事業来場者数	③ 商店街イベント事業数	<p>・商店街が観光の目的地となり、更に来街者が増えてより一層賑わう商店街となっているか</p>
		②		
	<p>(2) ●それぞれの商店街が持つ豊かな文化や資源を生かして商店街の回遊性を高めるとともに、にぎわいを創出する多彩なイベントを開催し、観光の目的地となる来街者でにぎわう商店街を目指します。さらに、ホームページやSNS、商店会マップ等を活用して商店街の魅力を発信することで来街者を呼び込み、回遊性を高める取組を支援します。 ●近隣商店街との共同開催や、地域の大学や高校、企業等と連携したイベントを実施することで、商店街がコミュニティの核となり、地域が一体となった、にぎわいあるまちづくりを進めます。</p>	① 「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 販売促進事業補助事業数	<p>・デジタル化や人材育成により持続可能な商店街が形成されているか。</p>
		②		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	商店街イベント事業来場者数	万人	183	186	191	192	193	194	195	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	成果指標	②											
	活動指標	③	商店街イベント事業数	事業	52	63	65	67	69	71	73	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	22.6	25.5 (実績値)	25.8	26.0	26.2	26.4	26.6	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	販売促進事業補助事業数	事業	3	3	3	3	3	3	3	継続	7-1-2地域産業の活力創出
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標	①	商店街イベント事業来場者	まちのにぎわいを測ることができる指標であるため		所管課データ
	成果指標	②				
	活動指標	③	商店街イベント事業数	事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	活動指標	④				
取組方針 (2)	成果指標	①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っていると思う」区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②				
	活動指標	③	販売促進事業補助事業数	事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	活動指標	④				

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)								
指標名			設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データ信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	商店街イベント事業来場者数	◎	✓	✓	✓	✓	万人	183	186	191	192	193	194	195	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	商店街イベント事業数	○	✓	✓	✓	✓	事業	52	63	65	67	69	71	73	適切	
	活動指標	④																
取組方針(2)	成果指標	①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	○	✓	✓	✓		%	22.6	25.5 (実績値)	25.8	26.0	26.2	26.4	26.6	適切	
	成果指標	②																
	活動指標	③	販売促進事業補助事業数	△	✓	✓			事業	3	3	3	3	3	3	3	適切	
	活動指標	④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	商店街イベント事業来場者数【万人】	賑わいの創出や、多様な来街者が快適に商店街を利用するための施策を反映する指標であるため
2	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	5-③	観光資源の活用による地域経済の活性化
部課名	文化商工部文化観光課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●区内各地の多彩な観光資源を生かし、国内外から多くの人々を惹きつけることでにぎわいにあふれ、地域経済に好循環をもたらしている。</p>	<p>(1) ●区内各地には、Hareza池袋をはじめ大小様々な劇場があり、魅力ある舞台芸術が行われています。また、ふくろ祭り、東京フラフェスタ、東京大塚阿波踊り等の地域主体のイベントや、ナイトタイムエコノミー、ソメイヨシノ、歴史的な街並み、各地の伝統芸能、個性豊かな飲食店等、多彩な観光資源があります。このような資源を、区民・地域団体・企業等と共に磨き上げ、まちのにぎわい創出につなげます。</p> <p>●マンガ・アニメの原点「トキワ荘」を再現した「トキワ荘マンガミュージアム」を持つ本区には、マンガ・アニメ・コスプレ文化が根付き、各地で様々な事業が行われています。このような文化を区が誇るブランドとして定着させ、企業等と連携して国内外へ広く発信し、来街者の増加を促進します。</p>	<p>① 訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】</p>	<p>③ IKEBUSアトカルツア一年間参加者数【人】</p>	<p>・区内各地の観光資源が活用され、区内への来街者数の増加につながっているか。</p>
		<p>② トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数【人】</p>	<p>④ トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数【回】</p>	
	<p>(2) ●多彩な観光資源を活用した観光施策のソフト面と、ウォーカブルなまちづくりのハード面の双方を効果的に推進することで、まちの回遊性を向上させ、来街者の区内滞在時間を延ばし、観光消費額の拡大につなげます。</p> <p>●魅力ある各商店街や区内の銘品、伝統工芸品等を来街者へ効果的にPRすることで、産業と観光の融合により地域経済の好循環をもたらします。</p> <p>●姉妹友好都市である埼玉県秩父市や山形県遊佐町、長野県箕輪町をはじめ、全国の交流都市との連携を強化し、各都市への体験学習ツアー等、送客・誘客を含めた相互の観光誘致につながるシティブロモーションを展開することで、本区と交流都市それぞれの地域活性化につなげます。</p>	<p>① 「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 交流都市と連携して実施した事業の数【回】</p>	<p>・区内各地の観光消費の拡大され、地域経済の活性化につながっているか</p>
		<p>② 豊島区の延べ宿泊者数【人】</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標	① 訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合	%	24.1	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	新規	
	成果指標	② トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数	人	123,447	125,000	130,000	135,000	140,000	145,000	150,000	継続	7-2-1観光資源の発掘と活用
	活動指標	③ IKEBUSアトカルツアー年間参加者数	人	609	650	700	750	800	850	900	新規	
	活動指標	④ トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数	回	3	3	3	3	3	3	3	新規	
取組方針 (2)	成果指標	① 「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」について肯定的な回答をする区民の割合	%	29.8	31.9	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0	新規	
	成果指標	② 豊島区の延べ宿泊者数	人	-	4,000,000	4,100,000	4,200,000	4,300,000	4,400,000	4,500,000	継続	7-2-1観光資源の発掘と活用
	活動指標	③ 交流都市と連携して実施した事業の数	回	22	23	24	25	26	27	28	新規	
	活動指標	④										

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	外国人観光客について池袋への誘客促進効果を測る指標のため		国・地域別外国人旅行者行動特性調査(東京都)	
	成果指標	②	トキワ荘マンガミュージアムの年間来館者数【人】	マンガ・アニメを活用したまちづくりの成果を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	IKEBUSアトカルツアー年間参加者数【人】	地域資源を活用した観光事業展開を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数【回】	トキワ荘を活用した事業展開を測る指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と思う区民の割合【%】	多様な観光コンテンツが活用され、区民が誇れる観光施策となっているかを示す指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	豊島区の延べ宿泊者数【人】	国内外からの観光客数を示す指標のため		RESAS地域経済分析システム	
	活動指標	③	交流都市と連携して実施した事業の数【回】	交流都市との事業実施状況を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	組 目 針 を 適 切 に 表 し て	② デ ー タ 類 性 が 高 い	③ 豊 島 区 ら し さ を 表 し て	④ 指 標 自 体 が ポ ジ テ ィ ブ な 印 象 で あ る	⑤ 標 の 方 向 性 が 示 さ れ て	⑥ 現 計 画 と 継 続 す る 指 標	単 位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目 標 値 設 定 の 判 定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合	◎	✓	✓	✓	✓	%	24.1	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	適切	
	成果指標	②	トキワ荘マンガミュージアム及び関連施設年間来館者数	△		✓	✓	✓	人	123,447.0	125,000.0	130,000.0	135,000.0	140,000.0	145,000.0	150,000.0	適切	
	活動指標	③	IKEBUSアトカルツア一年間参加者数	△		✓	✓	✓	人	609	650	700	750	800	850	900	適切	
	活動指標	④	トキワ荘マンガミュージアムでの特別企画展の年間実施回数	△		✓		✓	回	3	3	3	3	3	3	3	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」について肯定的な回答をする区民の割合	◎	✓	✓		✓	%	29.8	31.9	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0	適切	
	成果指標	②	豊島区の延べ宿泊者数	○	✓	✓			人	-	4,000,000.0	4,100,000.0	4,200,000.0	4,300,000.0	4,400,000.0	4,500,000.0	適切	
	活動指標	③	交流都市と連携して実施した事業の数	△	✓			✓	回	22	23	24	25	26	27	28	適切	
	活動指標	④																

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】	両指標によって、来街者の誘客促進につながり、区民が観光によるメリットを感じているかを測ることができるため
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	5-④	観光情報の発信強化と受入環境の整備
部課名	文化商工部文化観光課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
魅力的な観光情報が多くの 人々に迅速に届き、来街者にと って観光の利便性が高く、誰 もが快適に過ごすことができ る。	(1) ●来街者の国籍や性別、年代によって、興味を引く観光情報は異なります。豊島区観光協会を中心に、池袋東口観光案内所をはじめ、区内の各観光案内所、企業・団体と連携し、様々なターゲットに届く「旅行前(旅マエ)」の情報発信を強化します。加えて、国、東京都とも連携し、SNS等を活用して、国内外に広く届く情報を発信します。 ●区内大学や専門学校等の教育機関と連携し、学生の視点を取り入れ、若い世代をはじめ、幅広い年代や国籍のターゲットに届く観光企画や情報発信を行います。 ●来街者の利便性向上のため、デジタルマップの活用や、オープンデータを活用したデータ分析によるデジタルマーケティングを行い、観光情報を発信します。	①	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	③	池袋西口公園におけるナイトライブ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)【回】	・区や企業・団体などが連携し、様々な媒体で区の魅力を発信できているか
		②	豊島区文化観光課インスタグラムのフォロワー数【人】	④		
	(2) ●「旅行中(旅ナカ)」の受入体制を強化するため、観光案内所等における多言語対応や、観光案内サインの整備、豊島区観光協会の外国語ボランティアガイド活動の促進により、観光案内を充実させます。 ●観光案内所等と連携して、車いすやベビーカーの貸し出し等、誰もが安心して観光できる環境を整備します。 ●来街者の増加による混雑やマナー違反等で区民の生活に支障をきたさないよう、来街者に対する啓発をはじめとした、オーバーツーリズムへの対策や環境への配慮等、地域社会に寄り添った持続可能な観光施策を推進します。	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	観光案内サイン設置数【基】	・来街者の区内滞在における満足度が上がっているか
		②		④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数【箇所】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	池袋東口観光案内所の来館者数	人	8,847	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000	新規	
	成果指標	②	豊島区文化観光課Instagramのフォロワー数	人	1,050	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	新規	
	活動指標	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)	回	28	21	21	21	21	21	21	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	17.6	19.2 (実績値)	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5	継続	7-2-4多様な来街者の受入環境の整備
	成果指標	②											
	活動指標	③	観光案内サイン設置数	基	111	111	111	111	111	111	111	新規	
	活動指標	④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数	箇所	35	26	26	26	26	26	26	新規	

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	池袋東口観光案内所の来館者数【人】	情報発信による来街者の動向を示す指標のため		所管課データ	
	成果指標	②	豊島区文化観光課Instagramのフォロワー数【人】	情報発信による情報拡散を測る指標のため		所管課データ	
	活動指標	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)【回】	情報発信に資するナイトライフ事業の進捗を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	受け入れ環境整備に取り組んだ結果、区民の意識を示す指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②					
	活動指標	③	観光案内サイン設置数【基】	受け入れ環境整備の一環である案内サイン事業の実施状況を示す指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数【箇所】	受け入れ環境整備の一環であるFree Wi-Fi事業の実施状況を示す指標のため		所管課データ	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名				設定の判定	組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
												実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	池袋東口観光案内所の来館者数	◎	✓	✓	✓	✓		人	8,847	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000	適切	
	成果指標	②	豊島区文化観光課Instagramのフォロワー数	△		✓	✓	✓		人	1,050	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	適切	
	活動指標	③	池袋西口公園におけるナイトライフ事業実施回数(Yube、街なかクラシック)	○	✓	✓		✓		回	28	21	21	21	21	21	21	適切	
	活動指標	④																	
取組方針(2)	成果指標	①	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合	○	✓	✓		✓		%	17.6	19.2 (実績値)	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5	適切	
	成果指標	②																	
	活動指標	③	観光案内サイン設置数	○	✓	✓				基	111	111	111	111	111	111	111	111	適切
	活動指標	④	Toshima Free Wi-fiの街なかにおけるアクセスポイント設置数	○	✓	✓				箇所	35	26	26	26	26	26	26	26	適切

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(2)-① 「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	両指標により、来街者へ情報発信が届き、区民に配慮した来街者の受入環境が整備できているかを測ることができるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-① 池袋東口観光案内所の来館者数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	5-5	消費者教育の推進と消費生活相談の充実
部課名	文化商工部 生活産業課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価				定性的評価	
		成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点	
<p>●一人ひとりの消費者が消費者被害に巻き込まれず、安心して暮らしている。</p> <p>●消費者自らが、社会、経済、地球環境や将来の子どもたちのことを考えて、責任を持った消費行動をとれている。</p>	(1)	<p>●幼少期から高齢期まで、また障害者や外国人等、多様な消費者が被害に巻き込まれず、暮らしや財産を守ることができるように、変化する社会環境に則した消費者教育を実施し、自立を支援します。</p> <p>●成年年齢の引き下げに伴い、若者が特殊詐欺等の被害者にも加害者にもならないよう、小・中学生の頃から発達段階に応じた消費者教育を行い、トラブルを未然に防ぎます。また、区と警察が連携し、高齢者に対して、変化する特殊詐欺等に関する早期の注意喚起を実施することにより、被害を未然に防止します。</p> <p>●環境・社会・人に配慮するエンカル消費や、地球環境、将来の子どもたちのための責任を持った消費行動を推奨し、SDGsの実現に寄与する普及啓発を推進します。</p>	①	各消費生活講座(消費生活講座、出前講座、出前寄席、出張講座)の参加人数【人】	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	社会、経済、地球環境や将来の子どもたちなどのことを考えて消費生活を送れるようになったか
		②		④			
	(2)	<p>●消費者トラブルが多様化する中、消費者相談の最前線である消費生活センターにおいては、常に最新の消費者問題に精通するため、国民生活センターや東京都消費生活総合センターと連携し、消費生活相談員のスキルアップを図るとともに、相談状況の分析を行い、より実効性と専門性の高い相談を行います。</p> <p>●被害に巻き込まれた消費者を早期に救済するため、広報やSNS等を活用して、消費生活相談窓口の周知を強化します。また相談内容の解決に向けて、適切な専門機関へつなげるため、日頃から警察、法テラス等、法律相談を行う関係団体等との連携を強化します。</p>	①	「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	消費者相談受付件数	消費生活相談員に対応に満足したか
		②	消費生活相談員が受講した研修の種類	④	消費生活相談員研修受講延べ件数		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	各消費生活講座(消費生活講座、出前講座、出前寄席、出張講座)の参加人数	人	935	950	960	970	980	990	1,000	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数	回	40	40	40	42	42	43	43	新規	
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	—	6.0 (実績値)	6.5	6.5	7.0	7.0	7.5	新規	7-1-3権利と責任による消費者市民社会の形成
	成果指標	②	消費生活相談員が受講した研修の種類	種類	13	15	15	15	15	15	15	新規	
	活動指標	③	消費者相談受付件数	件	2,691	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	新規	
	活動指標	④	消費生活相談員研修受講延べ件数	件	47	50	50	55	55	55	55	新規	

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標	①	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の参加人数(人)		事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	成果指標	②					
	活動指標	③	「消費生活講座」「出前講座」「出前寄席」「出張講座」の実施回数		事業に関する実績を把握するための数値であるため		所管課データ
	活動指標	④					
取組方針 (2)	成果指標	①	「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」と思う区民の割合		施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		区民意識調査
	成果指標	②	消費生活相談員が受講した研修の種類		受講可能な講座内容の種別の数を示す数値であるため		所管課データ
	活動指標	③	消費者相談受付件数		相談事業の成果を表す数値であるため		所管課データ
	活動指標	④	消費生活相談員研修受講延べ件数		受講した研修を量的に表す数値であるため		所管課データ

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	人	935	950	960	970	980	990	1,000	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓	✓		回	40	40	40	42	42	43	43	適切	
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%		6.0	6.5	6.5	7.0	7.0	7.5	適切	
	成果指標 ②	○	✓	✓	✓		種類	13	15	15	15	15	15	15	適切	
	活動指標 ③	○	✓	✓			件	2,691	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	適切	
	活動指標 ④	○	✓	✓	✓		件	47	50	50	55	55	55	55	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	各消費生活講座(消費生活講座、出前講座、出前寄席、出張講座)の参加人数【人】	1 取り組み方針の進捗を図るうえで最も判断しやすいため。 2 区民の声が直接反映されているため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	6-①	脱炭素社会の実現
部課名	環境清掃部環境政策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●区民や事業者の環境問題への意識が高く、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入が進み、各主体の日常生活や事業活動において脱炭素化が進んでいる。</p> <p>●暑熱軽減や雨水対策等、気候変動により生じる影響への対策等が進んでいる。</p>	<p>(1) ●「2050ゼロカーボン」の実現に向け、温室効果ガスを削減します。 ●ガソリンを使う際や、火力発電等の化石燃料の燃焼によって生み出されるエネルギー消費を抑えるため、エコ住宅・エコ事業者普及促進事業等を通じて、省エネルギー効果の高い設備への転換を進めます。 ●石油や石炭等の化石燃料を使用せず、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー導入をさらに進めるなど、温室効果ガスを排出しない脱炭素都市づくりを進めます。 ●区の公共施設においても、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入をより一層進めます。また、区役所の日常業務における環境配慮行動を促進します。</p>	①	区内の太陽光発電設置容量【kw】	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	○機器等の導入以外に区民や事業者が日常生活で実施できる様々な省エネルギー化と再生可能エネルギーの利用につながる取組みの浸透
		②		④	事業所への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	
	<p>(2) ●区道への遮熱性舗装や、学校校庭への熱交換塗料の使用等により、夏季における屋間の路面温度の上昇を抑制します。 ●日陰による暑熱軽減となる「緑化」や、透水性舗装による雨水対策等、都市機能の質の向上を図ります。また、高効率設備導入等により、排熱総量の削減を進めます。 ●台風やゲリラ豪雨等、自然災害対策としての防災や、高齢者の熱中症対策としての健康・福祉等、様々な分野の施策と連動させ相乗効果を高めます。 ●農作物や生態系への影響等、気候変動に関連する情報発信を強化し、世界的な問題となっている地球温暖化の啓発等を進めます。</p>	①	区内温室効果ガス排出量【1000t-CO2eq】	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	○気候変動の影響への対策を進めたことで、例えばヒートアイランド対策については、本来どの程度気温が下がったか判明すればよいが、困難なため、数値化しづらい部分がある。
		②	遮熱性舗装の整備面積	④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針 (1)	成果指標	①	区内の太陽光発電設置容量	kW	8,269	20,127	22,189	24,251	26,314	28,376	30,438	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	件	976	1,280	1,584	1,888	2,192	2,496	2,800	新規	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
	活動指標	④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	件	75	90	105	120	135	150	165	新規	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
取組方針 (2)	成果指標	①	区内温室効果ガス排出量	1000 t- CO2	1,472 (2021年)	1,324 (2022年)	1,271 (2023年)	1,218 (2024年)	1,165 (2025年)	1,112 (2026年)	1,059 (2027年)	継続	5-2-1脱炭素地域社会づくりの推進
	成果指標	②	遮熱性舗装の整備面積	m ²	43,912	44,500	46,000	47,500	49,000	50,500	52,000	新規	
	活動指標	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	校	19	19	20	20	20	20	20	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区内の太陽光発電設置容量	「2050ゼロカーボン戦略」でも指標として設定しており、また再生可能エネルギー導入の進捗を確認する指標でもあるため		資源エネルギー庁データ	
	成果指標	②					
	活動指標	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数の累計(件)	再生可能・省エネルギー導入を直接的に確認できる指標のため		所管課データ	
	活動指標	④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数の累計(件)	再生可能・省エネルギー導入を直接的に確認できる指標のため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区内温室効果ガス排出量	2050年のゼロカーボン、2030年までにカーボンハーフを目標として既に区として設定しており、その進捗を確認する指標のため		「特別区の温室効果ガス排出量」より	
	成果指標	②	遮熱性舗装の整備面積	ヒートアイランド対策として実施している取り組みの指標のため		道路整備課データ	
	活動指標	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	ヒートアイランド対策として実施している取り組みの指標のため		学校施設課データ	
	活動指標	④					

【3. 事務局評価欄】

									新基本計画期間(2025-2029)										
指標名			設定の判定	組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定	
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標	①	区内の太陽光発電設置容量	◎	✓	✓		✓		kW	8,269	20,127	22,189	24,251	26,314	28,376	30,438	適切	
	成果指標	②																	
	活動指標	③	家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	△	✓						件	976	1,280	1,584	1,888	2,192	2,496	2,800	適切
	活動指標	④	事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数	△	✓						件	75	90	105	120	135	150	165	適切
取組方針(2)	成果指標	①	区内温室効果ガス排出量	◎	✓	✓	✓	✓	✓	1000t-CO2eq	1,472(2021年)	1,324(2022年)	1,271(2023年)	1,218(2024年)	1,165(2025年)	1,112(2026年)	1,059(2027年)	適切	
	成果指標	②	遮熱性舗装の整備面積	○	✓	✓				m ²	43,912	44,500	46,000	47,500	49,000	50,500	52,000	適切	
	活動指標	③	校庭への熱交換塗料等の使用小学校数	○	✓	✓				校	19	19	20	20	20	20	20	20	適切
	活動指標	④																	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	区内の太陽光発電設置容量【kw】	・脱炭素化(再生可能エネルギー導入促進含む)を示す具体的な指標であり、この数値を50%、100%削減することを既に区の2030年、2050年の目標として定めているため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	区内温室効果ガス排出量【1000t-CO2eq】	

指標設定チェックシート

施策名	6-②	みどりのネットワークの形成
部課名	環境清掃部環境政策課・都市整備部公園緑地課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価		
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点		
<p>●高度に都市化が進んだ中でも、民有地も含め、やすらぎや潤いあるみどりが保全・創出されている。</p> <p>●都市における自然や生態系の大切さの理解が進み、自然とのふれあいや、自然を通じた交流等が進んでいる。</p>	<p>(1) ●公園や公共施設、道路等、公共空間のみどりを保全・創出し、人々の五感に訴える、潤いのある景観とやすらぎある生活環境づくりを進め、みどり率*の拡大を図ります。また、これまで進めてきた公共施設への植樹等を積極的に進めます。</p> <p>●大規模開発時や住宅建て替え時等を活用し、民有地や建物の屋上・壁面等への緑化を進め、公園や道路等と併せた連続性ある都市緑化を進めます。</p> <p>●緑陰の形成による熱環境の改善や雨水貯留機能を高めるなどの気候変動対策を進めます。また、多様な生きものが生息できる環境づくりにつなげます。</p> <p>●個人でもベランダ等の限られたスペースで取り組める緑化対策も進め、区民一人ひとりが緑化を行うことができるような取組を積極的に進めます。</p>	①	みどり率【%】	③	緑化計画書の届出件数	<p>・緑化指導等により量だけではなく、みどりの質の向上が図られているか。</p> <p>・協定活動団体の構成人員や、継続して活動している人及び活動事例。</p>
		②		④	協定花壇等の活動団体数	
	<p>(2) ●多様な生きものの生存を可能とする、土壌やみどりの環境を守り育て、自然と共生する区民意識の醸成を図ります。</p> <p>●区内の生物の状況を把握し、その情報を共有・活用するための区民参加型の生態調査を実施し、区内における生きものの生息への関心を高めます。また、区民が観察したデータを集約し、生態系の資料化を進め、区民向けに発信します。</p> <p>●区民による公園等のみどりの保全活動により、みどりを通じた協働・つながりの輪を広げます。</p> <p>●交流都市とのカーボン・オフセット事業における自然体験、区庁舎屋上の「豊島の森」を活用した講座等を実施し、区民が身近な自然に親しめる機会を提供します。</p>	①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③	生きもの調査等に参加する区民(累計)【人】	<p>・自然との共生の意識が高まったかどうか。</p> <p>・生物多様性への理解が深まったかどうか。</p>
		②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	みどり率【%】	%	14.1	14.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3	継続	5-1-1 みどりの活動拠点の創造・ 育成
	成果指標	②											
	活動指標	③	緑化計画書の届出件数	件	70	72	74	76	78	80	82	新規	所管課データ
	活動指標	④	協定花壇等の活動団体数	団体	50	52	54	56	58	60	62	新規	所管課データ
取組方針 (2)	成果指標	①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	12.1	12.9 (実績値)	14.3	14.9	15.5	16.2	16.8	継続	5-2-2 自然との共生の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	生きもの調査等に参加する区民(累計)	人	1,195	1,310	1,425	1,540	1,655	1,770	1,885	継続	5-2-2 自然との共生の推進
	活動指標	④											

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)			出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	みどり率【%】		区内のみどりの量を端的に表す指標であるため。			所管課データ	
	成果指標	②							
	活動指標	③	緑化計画書の届出件数【件】		みどりの条例に基づき、緑化計画の指導を行っているため。			所管課データ	
	活動指標	④	協定花壇等の活動団体数【団体】		生物やみどりなど、自然と触れ合う活動団体を促進しているため。			所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする割合【%】		施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため			協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②							
	活動指標	③	生きもの調査等に参加する区民(累計)		生物多様性について知る機会を提供する活動量を示す指標であるため			所管課データ	
	活動指標	④							

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	みどり率【%】	◎	✓	✓	✓	✓	%	14.1	14.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	緑化計画書の届出件数	○	✓	✓			件	70	72	74	76	78	80	82	適切
	活動指標 ④	協定花壇等の活動団体数	○	✓	✓	✓		団体	50	52	54	56	58	60	62	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	◎	✓	✓	✓	✓	%	12.1	12.9(実績値)	14.3	14.9	15.5	16.2	16.8	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	生きもの調査等に参加する区民(累計)	△	✓		✓	✓	人	1,195	1,310	1,425	1,540	1,655	1,770	1,885	適切
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	みどり率【%】	各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	6-③	省資源・資源循環型社会の形成
部課名	環境清掃部 ごみ減量推進課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者が生産・消費・廃棄において、リデュース (Reduce)・リユース (Reuse)の優先的実践と、質の高いリサイクル(Recycle)の3Rを推進している。</p> <p>●区民一人ひとりが責任をもって行動し、ごみを適正に分別し排出している。</p>	<p>(1) ●これまで進めてきた3Rのうち、ごみを出さないリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)の優先的実践を促すため、動画、SNS、実践例の紹介等、多様な方法により、区民、事業者が実際の行動に移せる取組を進めます。</p> <p>●家庭で使われない食料品を必要な人に提供するフードドライブや、環境に配慮したエンカル消費の推進等、食品ロス削減対策を進めます。</p> <p>●令和5(2023)年に開始したプラスチック資源回収に加え、リサイクル品目の追加や新たな資源化方法の検討等、先進的な3Rを進めます。</p> <p>●町会・自治会等の地域団体が主体的に行っている資源の集団回収や、リサイクルフリーマーケットの自主活動団体への支援等、民間レベルでの取組を促進します。</p>	① 区民1人あたりの1日あたりのごみ量【g】	③ 3Rに関して発信した件数【回】	3Rに関しての情報がどこまで行き渡っているか。
		② 資源化率【%】	④ 連携して活動した民間団体等【者】	
	<p>(2) ●区のごみ出し・資源回収に係るルールや周知や意識啓発を進めます。アプリをはじめとするデジタル技術の活用を進め、転入者や入国して間もない外国人等にも、より分かりやすい発信を行い、ルールの徹底を図ります。</p> <p>●排出状況の良くない集積所や不法投棄に対して、継続した排出指導を行います。</p> <p>●充電して繰り返し使うことができる二次電池等の危険物に関する分別ルールや回収場所等の情報提供を強化します。</p> <p>●小・中学生や留学生に対して、イベントでのゲーム等を通じ、楽しみながら、ごみ出しや資源回収ルールを学ぶなど、日頃からの普及啓発を実施します。</p>	① 「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 適正分別・適正排出に関して発信した件数【回】	適正分別・適正排出に関しての情報がどこまで行き渡っているか。
		② 可燃ごみの分別率【%】	④ 不法投棄回収件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	区民1人あたりの1日あたりのごみ量	g	472	471	470	469	468	466	465	継続	5-3-1 3Rの推進
	成果指標	②	資源化率	%	23.6	23.8	23.8	23.9	23.9	24.0	24.0	継続	5-3-1 3Rの推進
	活動指標	③	3Rに関して発信した件数	回	107	54	56	58	60	62	64	継続	5-3-1 3Rの推進
	活動指標	④	連携して活動した民間団体等	者	171	173	175	177	179	181	183	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」について肯定的な回答をする区民の割合[%]	%	61.5	65.6 実績値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	成果指標	②	可燃ごみの分別率	%	77.4	78.0	78.0	78.5	78.5	79.0	79.0	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	活動指標	③	適正分別・適正排出に関して発信した件数	回	100	52	52	52	52	52	52	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進
	活動指標	④	不法投棄回収件数	件	3,711	3,700	3,700	3,650	3,650	3,600	3,600	継続	5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区収集ごみ量(年度)÷人口÷年間日数	資源循環に関する取組が、ごみ減量にどの程度反映されているかを判断する指標であるため。		第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画、所管課データ	
	成果指標	②	資源回収量÷(ごみ量+資源回収量)	リサイクルを促進していることを示す指標であるため。		第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画、所管課データ	
	活動指標	③	イベント数、紙媒体、及びデジタル媒体での情報発信回数	リデュース・リユース、資源回収に関して周知を実施した回数であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	連携して行ったイベント、集団回収などの相手方の数	民間団体と連携した取り組みを示す指標であるため。		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査において、同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	ごみ収集について区民の印象を把握できる調査であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	「可燃ごみとして処理可能なごみ」÷「調査で収集した可燃ごみ量」	ごみが適正に分別されていることを示す指標であるため。		廃棄物排出実態調査(所管課データ)	
	活動指標	③	イベント数、紙媒体、及びデジタル媒体での情報発信回数	ごみの適正分別・適正排出に関して周知を実施した回数であるため。		所管課データ	
	活動指標	④	一年間にごみ集積所で回収した不法投棄の件数	ごみが適正に排出されていることを示す指標であるため。		所管課データ	

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			設定の判定	組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
											実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	区民1人あたりの1日あたりのごみ量【g】	◎	✓	✓		✓	✓	g/人日	472	471	470	469	468	466	465	適切
	成果指標	②	資源化率	○	✓	✓			✓	%	23.6	23.8	23.8	23.9	23.9	24.0	24.0	適切
	活動指標	③	3Rに関して発信した件数	△		✓			✓	回	107	54	56	58	60	62	64	適切
	活動指標	④	連携して活動した民間団体等	○	✓	✓			✓	者	171	173	175	177	179	181	183	適切
取組方針(2)	成果指標	①	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	61.5	65.6	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0	適切
	成果指標	②	可燃ごみの分別率	○	✓	✓			✓	%	77.4	78.0	78.0	78.5	78.5	79.0	79.0	適切
	活動指標	③	適正分別・適正排出に関して発信した件数	△		✓			✓	回	100	52	52	52	52	52	52	適切
	活動指標	④	不法投棄回収件数	△		✓			✓	件	3,711	3,700	3,700	3,650	3,650	3,600	3,600	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	区民1人あたりの1日あたりのごみ量【g】	<ul style="list-style-type: none"> 各取組み方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 両指標を記載することによって、資源循環に関する取組の視点とごみの適正分別・適正排出に関しての視点をもって成果を表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)-①	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	6-④	良好な生活環境の保全
部課名	環境清掃部 環境保全課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●区民一人ひとりの環境美化意識が高まり、クリーンな地域環境が保たれ、安全で快適に過ごすことができている。</p>	<p>(1) ●区たばこルールの周知・啓発や、多言語対応による巡回パトロールを進めるとともに、受動喫煙防止に効果的な喫煙場所の整備により、たばこの火による事故や、歩行者・公園利用者等への受動喫煙を抑制します。 ●喫煙の課題に対しては、美化対策と並行して、がん対策や禁煙指導も進めます。 ●大学や若者と連携するなど、地域における清掃活動やポイ捨てマナー周知活動を公民連携の「まちキレイプロジェクト」として展開します。 ●インバウンド観光客をはじめとする来街者や外国人に対し、多言語による対応を進めるとともに、まちの美化・保全やマナーアップ啓発等の取組を進めます。</p>	① 路上喫煙率【%】	③ 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数【件】	<p>・環境美化活動等の普及啓発における区民の美化意識の浸透</p>
		② 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	④ 環境美化に関する活動への参加人数【人】	
	<p>(2) ●事業者に対し、法令に基づいた適切な指導・助言等による、各種公害対策を推進し、区民の健康で安全な暮らしを支えます。 ●光化学オキシダント濃度上昇の要因の一つであるVOC(揮発性有機化合物)の排出を抑制するため、事業所や一般家庭への周知啓発を図るとともに、事業者への立入指導により、法令遵守の徹底を図ります。 ●解体工事における騒音振動の発生やアスベストの飛散を防止するため、改正大気汚染防止法で届出対象となった全ての解体工事現場への立入検査や、建物所有者へのアスベスト分析調査助成等により、事業者の適切な工事の施工及び法令遵守の徹底を図ります。</p>	① 事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量【kg】	③ VOC(揮発性有機化合物)排出事業場立入指導件数【件】	<p>・オフィスや一般家庭におけるVOC排出削減意識の浸透及び変化 ・解体工事業者の法令認識、コンプライアンス意識の改善状況の変化</p>
		② 解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合【%】	④ 解体工事現場への立入検査によるアスベスト施工状況確認件数【件】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

				新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
					実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	①	路上喫煙率	%	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	継続	5-2-3地域美化の推進
	成果指標	②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	%	35.8	39.1 (実績値)	39.2	39.4	39.6	39.8	40.0	継続	5-2-3地域美化の推進
	活動指標	③	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数	件	58,774	59,000	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	継続	5-2-3地域美化の推進
	活動指標	④	環境美化に関する活動への参加人数	人	12,237	12,400	12,500	12,600	12,700	12,800	12,900	継続	5-2-3地域美化の推進
取組方針 (2)	成果指標	①	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量	kg	6,298	6,255	6,212	6,169	6,126	6,084	6,042	継続	5-2-4都市公害の防止
	成果指標	②	解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合	%	83.8	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	新規	5-2-4都市公害の防止
	活動指標	③	VOC(揮発性有機化合物)排出事業場立入指導件数	件	5	5	6	6	6	6	6	継続	5-2-4都市公害の防止
	活動指標	④	解体工事現場への立入検査によるアスベスト施工状況確認件数	件	548	550	550	550	550	550	550	継続	5-2-4都市公害の防止

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区内14駅周辺において朝と夕方の時間帯の30分間、通過者に対する喫煙者の割合を調査し(年2回)、算出【%】	路上喫煙の状況を示す客観的な指標のため		環境年次報告書	
	成果指標	②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」と思う区民の割合【%】	環境美化活動の成果を示す客観的な指標のため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	活動指標	③	パトロール員による指導報告書により指導件数を算出【件】	路上喫煙・ポイ捨て防止の普及啓発に関する活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	
	活動指標	④	ごみゼロデー、環境美化活動、地域落書消去活動、地域ガム取り活動、ガム取り支援活動の参加人数【人】	環境美化活動に関する活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	
取組方針 (2)	成果指標	①	事業者から提出された報告書に記載される「化学物質の環境への排出量」の合算により算出	VOCは光化学オキシダントの原因物質であり、大気汚染の改善のための成果を示すことができる指標であるため		環境年次報告書	
	成果指標	②	解体工事現場への立入検査総数のうち、大気汚染防止法におけるアスベストに関する作業基準に適合している件数の割合	適正施工や法令遵守指導の成果を示すことができる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	VOC(揮発性有機化合物)排出事業場への立入指導の件数	大気汚染改善を目指す活動量を示すことができる指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	解体工事現場へ立入検査を実施し、アスベストに関する法令遵守・適正施工状況を確認した件数	適正施工や法令遵守を徹底させるための活動量を示す指標であるため		環境年次報告書	

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データ信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値の設定
												実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	路上喫煙率	○	✓	✓			✓	%	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	適切	
	成果指標	②	「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	35.8	35.9 (実績値39.1)	39.2	39.4	39.6	39.8	40.0	適切	
	活動指標	③	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数	○	✓	✓			✓	件	58,774	59,000	42,500	42,500	42,500	42,500	42,500	適切	
	活動指標	④	環境美化に関する活動への参加人数	○	✓	✓		✓	✓	人	12,237	12,400	12,500	12,600	12,700	12,800	12,900	適切	
取組方針(2)	成果指標	①	事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量	◎	✓	✓		✓	✓	kg	6,298	6,255	6,212	6,169	6,126	6,084	6,042	適切	
	成果指標	②	解体工事における大気汚染防止法の基準(アスベストに関する作業基準)適合割合	△		✓				%	83.8	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	適切	
	活動指標	③	VOC(揮発性有機化合物)排出事業場立入指導件数	○	✓	✓			✓	件	5	5	6	6	6	6	6	適切	
	活動指標	④	解体工事現場への立入検査によるアスベスト施工状況確認件数	○	✓	✓			✓	件	548	550	550	550	550	550	550	適切	

【4. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-① 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	区民の環境美化への関心や大気汚染の状況を客観的に示すことができる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-① 事業場からのVOC(揮発性有機化合物)の排出量【kg】	

指標設定チェックシート

施策名	6-⑤	人にも地球にも優しく行動する人の輪を広げる
部課名	環境清掃部環境政策課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価			
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点			
<p>●区民一人ひとりが環境を自分事として考え、行動できる土壌が形成されている。</p> <p>●区民・事業者の連携により環境への取組が広がっている。</p>	(1)	<p>●未来を担う子どもが、地域美化やごみの分別・リサイクル、自然環境や地球温暖化等、様々な環境課題に対する関心を持ち、自然と環境にやさしい行動をとる大人となれるように環境教育・啓発を行います。</p> <p>●専門家や企業、地域と連携した体験や実践を交えた環境授業を、小中学校の授業において積極的に展開します。</p>	①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	特に子ども世代への環境教育や普及啓発については、当該子どもたちが大人になったときにはじめて成果が見えてくる長期的な視点が必要なものであり、短期的に数値化するのは困難である。
		<p>●未就学児や高校・大学生等にも環境教育・環境学習を広げていくとともに、高校・大学と連携した取組を推進します。</p> <p>●子どもとの意見交換等の機会を通じて、環境に係る意識を共有し、未来につなげる環境施策に反映します。</p>	②		④		
	(2)	<p>●未来を担う子どもが、地域美化やごみの分別・リサイクル、自然環境や地球温暖化等、様々な環境課題に対する関心を持ち、自然と環境にやさしい行動をとる大人となれるように環境教育・啓発を行います。</p> <p>●専門家や企業、地域と連携した体験や実践を交えた環境授業を、小中学校の授業において積極的に展開します。</p>	①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	③	環境・交流ツアー参加者数(累計) 【人】	上記同様、環境にやさしいライフ・ワークスタイルの実践も、効果の大きいものから小さいものでも多種多様あり、一言に数値化し言い表すのは困難である。
		<p>●未就学児や高校・大学生等にも環境教育・環境学習を広げていくとともに、高校・大学と連携した取組を推進します。</p> <p>●子どもとの意見交換等の機会を通じて、環境に係る意識を共有し、未来につなげる環境施策に反映します。</p>	②		④		

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名		単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
			実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標 ①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)	回	43	95	147	199	251	303	355	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	環境教育支援プログラムの参加校(校)	校	34	30	30	31	31	32	33	新規	
	活動指標 ④											
取組方針 (2)	成果指標 ①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)	%	83.5	86.3	86.8	87.4	87.9	88.4	88.9	新規	
	成果指標 ②											
	活動指標 ③	環境交流ツアー参加者数(累計)	人	219	326	390	454	518	582	646	新規	
	活動指標 ④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典
取組方針 (1)	成果指標 ①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)(回)		子どもたちに対して実施した環境教育について把握できる指標のため		所管課データ
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	環境教育支援プログラムの参加校(校)		小・中学生への直接的な取り組みの一つであるため		所管課データ
	活動指標 ④					
取組方針 (2)	成果指標 ①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合(%)		環境配慮に関する区民の意識について把握できる指標のため		所管課データ
	成果指標 ②					
	活動指標 ③	環境・交流ツアー参加者数(累計)		ダイナミックな自然体験ができる数少ない指標の一つであるため		所管課データ
	活動指標 ④					

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 目標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	回	43	95	147	199	251	303	355	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓			✓	校	34	30	30	31	31	32	33	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	%	83.5	86.3	86.8	87.4	87.9	88.4	88.9	適切	
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	○	✓	✓			✓	人	219	326	390	454	518	582	646	適切
	活動指標 ④															

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)ー①	環境教育支援プログラム実施回数(累計)【回】	・子どもたちに対して実施した環境教育の実績として、具体的な数値として把握することができる指標であるため
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)ー①	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合【%】	・普及啓発の結果、環境問題を自分事として捉え、環境に配慮したライフスタイル等へと変容したことを把握するために最適な指標であるため

指標設定チェックシート

施策名	7-1	地域の特性を生かした都市づくり
部課名	都市整備部 都市計画課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●地域の特性を踏まえた、安全・安心かつ、快適な暮らしと魅力・活力のあるまちとして、区民が誇りや愛着を持つことができる幸福度の高い都市となっている。</p>	<p>(1) ●多様な主体が集まり、イノベーションを生み出す交流機能、文化やまちのにぎわいを演出する発信機能、誰もが自由に休憩できる滞留機能等、まちの快適性が向上する機能を備えた都市空間を公民連携で創出します。 ●施設整備などハード面の事業を進める際は、それに関わる防災や観光、子育て、福祉、DXなどのソフト面の取組と行政分野の枠組みを超えて連携することで、住む人や訪れる人の視点に立った安全で利便性の高い都市づくりを推進します。</p>	① 「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 地区計画の区域面積【ha】	区民・事業者・NPO・大学などの連携による協働の度合い
		②	④	
	<p>(2) ●歴史や文化といった地域特性や、施設等の資源、良好な景観、地域固有の課題等を踏まえながら、個性と魅力があふれる特色ある地域を創出します。 ●道路の景観舗装化やバリアフリー化、四季の彩りを感じる植栽の配置等により、各地域をつなぐ快適な歩行者ネットワークを整備します。 ●民間建物の低層階ににぎわう施設などを誘導し、歩行者のさらなる利便性や快適性等の向上を図ります。また、まちづくりと連動して、副都心線東池袋新駅の設置に向けて関係機関と協議します。 ●交通弱者も快適に移動できるよう、公共交通を利用しづらいエリアの解消に向けて新たなモビリティの導入も含めて検討し、区全体の地域公共交通のあり方について計画を策定します。また、既存公共交通の維持確保を図るとともに、誰もが公共交通を利用しやすい環境の整備を推進し、まちの価値や魅力を一層高めます。</p>	① 「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 景観法に基づく行為の届出件数【件】	美しい街並みの形成の程度
		② 鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合【%】	④ 池07系統の乗客数(調査推計値)	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	%	35.6	30.5 実績値	37.5	39.0	40.5	42.0	43.5	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	成果指標	②											
	活動指標	③	地区計画の区域面積	ha	368.0	368.0	368.0	369.0	369.0	369.0	369.0	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	活動指標	④											
取組方針 (2)	成果指標	①	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合	%	35.6	30.5 実績値	37.5	39.0	40.5	42.0	43.5	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	成果指標	②	鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合	%		調査中							
	活動指標	③	景観法に基づく行為の届出件数	件	134	150	158	166	174	182	190	継続	6-1-1地域の特性を生かした市街地の形成
	活動指標	④	池07系統の乗客数(調査推計値)	人	100,880	102,000	103,000	104,000	105,000	106,000	107,000		

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)				出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査による「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合		地域特性に応じた都市づくりの成果を示す指標のため				協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書	
	成果指標	②								
	活動指標	③	都市計画図書の区域面積による		地区の課題や特徴を踏まえ、住民と区が連携しながら、目指すべき将来像を設定したエリアの面積であるため				所管課データ	
	活動指標	④								
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査による「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合		地域特性に応じた都市づくりの成果を示す指標のため				協働のまちづくりに関する区民意識調査報告書	
	成果指標	②	鉄道・バス等の公共交通が充実し、誰もがバリア無く移動ができると思う割合【%】		区内交通不便地域の解消を示す指標であるため				協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	活動指標	③	届出受付台帳による		地域特性を生かした景観形成の進捗状況を示す客観的な指標のため				所管課データ	
	活動指標	④	池07系統の乗客数(調査推計値)		公共交通の利用状況を示す客観的な指標のため				豊島区地域公共交通会議	

【事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	① データや算定方法の信頼性が高い	② 豊島区らしさを表している	③ 指標自体がポジティブな印象である	④ 指標の方向性が示されている	⑤ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	○	✓	✓			✓	%	35.6	30.5	37.5	39.0	40.5	42.0	43.5	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	◎	✓	✓	✓			✓	ha	368.0	368.0	368.0	369.0	369.0	369.0	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	○	✓	✓			✓	%	35.6	30.5	37.5	39.0	40.5	42.0	43.5	適切
	成果指標 ②	△	✓					%		調査中						今後設定予定
	活動指標 ③	△		✓			✓	件	134	150	158	166	174	182	190	適切
	活動指標 ④	×						人	100,880	102,000	103,000	104,000	105,000	106,000	107,000	今後設定予定

【3. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	活動指標	(1)ー①	地区計画の区域面積【ha】	各取組方針の進捗状況を図るのにふさわしいと考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査)	(2)ー①	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	

指標設定チェックシート

施策名	7-2	池袋駅周辺地域の再生
部課名	都市整備部都市基盤担当課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●池袋駅を中心として、様々な機能(「文化芸術」、「観光」、「商業」、「業務」、「住宅」、「宿泊」、「教育」等)が融合し、国内外の多様な人を呼び込み、にぎわいと活力が生み出されている。</p>	<p>(1) ●池袋駅周辺地域では、地区計画や駐車場地域ルールを活用した民間都市再生事業等を通じて、様々な都市機能の集積とともに、歩行者ネットワークの強化や全世代に使いやすい空間整備を促進し、人・アート・カルチャーが交差する滞留・にぎわい拠点の創出を誘導します。さらに、防災性の強化や環境への配慮とともに、潤い豊かなみどりを増やし、都市の魅力や価値を向上させた新たな池袋を発信します。</p> <p>●池袋駅では、東西を繋ぐ自由通路(デッキ等)や、駅から街へ人を誘う「駅まち結節空間」の整備、交通結節点*の機能強化を、再開発事業等と連携して進め、利便性や回遊性の向上を図るとともに、災害対応力の強化を促します。また、環状5の1号線の開通を見据えた東口駅前広場の再編(クルドサク化)の検討、再開発事業による西口駅前広場の再整備・歩行者空間の拡充を推進し、駅全体を安全・安心で人が主役のウォークアブルなまちの中心として再生させます。</p>	<p>① 「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数【件】</p>	池袋駅周辺の歩行者数【人】
		<p>② 池袋駅周辺地域の鉄道駅(池袋駅、東池袋駅)乗降客数【人】</p>	<p>④ 池袋地区駐車場地域ルール of 累計適用件数【件】</p>	
	<p>(2) ●池袋駅周辺のオープンスペースにキッチンカーやストリートファニチャー*等を設置し、様々な体験や交流ができる居心地の良い都市空間を創出するなど、地域の価値を高めるエリアマネジメント*団体の主体的な活動を支援します。</p> <p>●地域主体・民間主導で池袋のまちを育て、価値を共有していくための協働・連絡体制である「池袋エリアプラットフォーム」に参画し、まちづくりに興味・関心のある多様な主体と連携を図りながら、池袋駅周辺地域のさらなる成長と価値の向上を目指します。</p>	<p>① 「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</p>	<p>③ 池袋エリアプラットフォームの会員数【社】</p>	池袋駅からのまちへ流出した歩行者数【人】
		<p>② エリアマネジメントの団体数【団体】</p>	<p>④</p>	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名	
				実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合	%	46.7	43.4 (実績値)	51.0	54.0	57.0	59.0	61.0	継続	6-1-2池袋副都心の再生
	成果指標	②	池袋駅周辺地域の鉄道駅(池袋駅、東池袋駅)乗降客数	人	2,350,918	2,390,000	2,430,000	2,460,000	2,490,000	2,520,000	2,550,000	新規	
	活動指標	③	池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数	件	152	202	252	302	352	402	452	新規	
	活動指標	④	池袋地区駐車場地域ルール of 累計適用件数	件	12	14	16	18	20	22	24	新規	
取組方針 (2)	成果指標	①	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合	%	34.5	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	継続	6-1-4居心地が良く歩きたくなる空間づくり
	成果指標	②	エリアマネジメントの団体数	団体	2	2	3	3	3	4	5	新規	
	活動指標	③	イベント実施による公園や道路の占用申請件数	件	219	383	268	340	365	390	415	新規	
	活動指標	④											

指標		指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区民意識調査での「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいるか」という質問について肯定的な回答をした区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	池袋駅及び東池袋駅の乗降客数	池袋駅及び東池袋駅の乗降客数を把握できる指標であり、池袋駅周辺地域の賑わいを示す指標であるため		鉄道各社HP	
	活動指標	③	池袋駅周辺の地区計画の累計届出件数	池袋駅周辺地域におけるまちづくりの進捗状況を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④	池袋地区駐車場地域ルール of 累計適用件数	池袋駅周辺地域における交通施策の進展を示す指標であり、不要な駐車場整備の抑制を示す指標であるため		所管課データ	
取組方針 (2)	成果指標	①	区民意識調査での「池袋を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」という質問について肯定的な回答をした区民の割合	施策に対する区民の印象を把握できる指標であるため		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②	エリアマネジメント団体が組成されている数	民間主体によるまちづくりが行われていることを示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	③	イベント実施による公園や道路の占用申請件数	池袋駅周辺地域における、賑わい等のイベント実施件数を示す指標であるため		所管課データ	
	活動指標	④					

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	① データや算定方法の信頼性が高い	② 豊島区らしさを表している	③ 指標自体がポジティブな印象である	④ 指標の方向性が示されている	⑤ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
									実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針(1)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	46.7	43.4 (実績値)	51.0	54.0	57.0	59.0	61.0	適切
	成果指標 ②	△		✓				人	2,350,918	2,390,000	2,430,000	2,460,000	2,490,000	2,520,000	2,550,000	適切
	活動指標 ③	○	✓	✓				件	152	202	252	302	352	402	452	適切
	活動指標 ④	△		✓				件	12	14	16	18	20	22	24	適切
取組方針(2)	成果指標 ①	◎	✓	✓	✓	✓	✓	%	34.5	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	適切
	成果指標 ②	◎	✓	✓	✓	✓		団体	2	2	3	3	3	4	5	適切
	活動指標 ③	△		✓				件	219	383	268	340	365	390	415	適切
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(2)-②	エリアマネジメントの団体数【団体】	

指標設定チェックシート

施策名	7-③	交通安全対策の推進
部課名	都市整備部 土木管理課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●交通安全の気運醸成と、歩行者や自転車の道路交通環境の整備が進み、安全で快適に移動できるまちとなっている。</p>	<p>(1) ●国や東京都、警察と共に、地域に根差した効果的な交通安全対策を推進します。 ●年間を通じて、警察、関係団体、学校、鉄道事業者、企業等と連携し、電動キックボード等の新たなモビリティにも対応した交通安全の普及啓発を、子ども・若者をはじめとした区民に行います。 ●子育て世代、高齢者向けの研修会を開催し、交通ルールへの遵守・マナー向上、自転車損害保険等の加入や、高齢者の自動車運転免許の返納を呼びかけます。 ●自転車交通事故で死亡した方の多くは、頭部を損傷していることから、自転車用ヘルメットの着用を促すため、全年齢対象の購入補助制度の活用を呼びかけます。 ●来街する外国人にも交通ルールやマナーを理解してもらうため、多言語を用いて、冊子や区ホームページ、SNSによる情報発信を行います。</p>	① 年間(1月～12月)の区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件】	⑤ 地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	<p>地域と連携し進める左記等の諸活動を通じて、区は地域情報に直接触れることができる。なにより区民が交通安全へ関心を持つきっかけとなっている。</p>
		② 交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】	⑥ 安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	
		③ 交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	⑦ 自転車用ヘルメット補助個数【個/年】	
		④ 安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	⑧ 交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名			新基本計画期間(2025-2029)						後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名				
			2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値			2029 目標値			
取組方針 (1)	成果指標	①	年間(1月～12月)の区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件】	件	306 (2022年)	307 (2023年) 実績値	300 (2024年)	290 (2025年)	280 (2026年)	270 (2027年)	260 (2028年)	継続	6-5-2 交通安全対策の推進	
	成果指標	②	交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】	%	24.0	24.2	24.4	24.6	24.8	25.0	25.2	新規		
	成果指標	③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	人	1,037	1,040	1,045	1,050	1,055	1,060	1,065	新規		
	成果指標	④	安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	%	/	/	-	-	-	-	-	新規	新基本計画期間からの区 民意識調査項目とする	
	活動指標	⑤	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	回	30	30	30	30	30	30	30	新規		
	活動指標	⑥	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	回	28	32	32	32	32	32	32	新規		
	活動指標	⑦	自転車用ヘルメット補助個数【個/年】	個	1,071	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	継続	6-5-2 交通安全対策の推進
	活動指標	⑧	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	回	44	44	44	44	44	44	44	44	新規	6-5-2 交通安全対策の推進

指標	指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)	出典	
取組方針 (1)	成果指標	①	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】(1月～12月)	定量的な目標値が設定できるため。	警視庁
	成果指標	②	「交通事故が少ない」について肯定的な回答をする割合【%】	目指すべき方向性が時点によって変化しない指標であるため。	区民意識調査
	成果指標	③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	交通事故時の被害軽減に向け、研修会の開催を通じて、交通安全啓発と自転車用ヘルメットなどの補助制度などを直接区民へ紹介できるため。	所管課データ
	成果指標	④	安全・快適に自転車が利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	目指すべき方向性が時点によって変化しない指標であるため。	区民意識調査
	活動指標	⑤	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	交通安全啓発における地域連携の具体的な取り組みのため。	所管課データ
	活動指標	⑥	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	交通安全啓発における具体的な取り組みのため。	所管課データ
	活動指標	⑦	自転車用ヘルメット補助個数【個/年】	自転車事故で死亡する人の多くが、頭部致命傷を負うことから頭部損傷の軽減を図るため。	所管課データ
	活動指標	⑧	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	自転車乗用中の交通事故による受傷者が多い層をターゲットとして具体的な取り組みのため。	所管課データ

【3. 事務局評価欄】

										新基本計画期間(2025-2029)									
指標名				設定の判定	① 組方針を適切に表している	② データや算定方法の信頼性が高い	③ 豊島区らしさを表している	④ 指標自体がポジティブな印象である	⑤ 指標の方向性が示されている	⑥ 現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値設定の判定
												実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標	①	年間(1月~12月)の区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件】	◎	✓	✓			✓	✓	件	307 (2022年)	226 (2023年)	300 (2024年)	290 (2025年)	280 (2026年)	270 (2027年)	260 (2028年)	適切
	成果指標	②	交通事故が少ない(満足度:どちらかというと思う)【%】	×							%	24.0	24.2	24.4	24.6	24.8	25.0	25.2	適切
	成果指標	③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人/年】	○	✓	✓		✓			人	1,037	1,040	1,045	1,050	1,055	1,060	1,065	適切
	活動指標	④	安全・快適に自転車を利用できる(満足度:どちらかというと思う)【%】	×							%			-	-	-	-	-	今後設定予定
取組方針(2)	成果指標	①	地域連携による交通安全運動等の実施【回/年】	○	✓	✓					回	30	30	30	30	30	30	30	適切
	成果指標	②	安全・安心メール配信、多様な広報媒体による広報活動の実施【回/年】	△		✓					回	28	32	32	32	32	32	32	適切
	活動指標	③	自転車用ヘルメット補助個数【個/年】	○	✓	✓				✓	個	1,071	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	適切
	活動指標	④	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等の開催回数【回/年】	○	✓	✓					回	44	44	44	44	44	44	44	適切

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	年間(1月~12月)の区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件】	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・両指標により、交通安全の視点と、事故時被害を軽減するための取組みを表すことができるため。
2	成果指標(区民意識調査以外)	(1)-③	交通安全研修会(子育て世代・高齢者研修会)等への参加人数【人】	

指標設定チェックシート

施策名	7-④	魅力あふれる公園づくり
部課名	都市整備部公園緑地課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価
		成果指標	活動指標	数値目標では捉えられない／ 数値化できない評価の視点
<p>●近くに好きな公園があり、子どもから高齢者まで、区民が「自分たちの公園」として活用している。</p> <p>●公園のリノベーションが進み、地域ごとに特徴のある公園が利活用されている。</p>	<p>(1) ●小規模な公園が多い豊島区の特徴を前向きにとらえ、公園の再構築を進めます。</p> <p>●子どもから高齢者まで、様々な世代の意見を幅広く聞きながら、憩い・遊び・交流など、公園の用途にメリハリを付け、特徴のある公園としてリニューアルします。</p> <p>●障害の有無や年齢に関係なく、誰もが安全に楽しむことができる公園を目指します。</p> <p>●公園のみどりによる、ゆとりや潤いを感じる空間として、環境の質の向上を図りながら、身近なみどりを自然環境資源として次世代へ引き継ぎます。</p>	① 「近くに好きな公園がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	③ 公園を再整備した箇所数【箇所】	
		②	④	
	<p>(2) ●身近な公園を、子育て・地域コミュニティ・憩いの場等、地域の特性に応じた利活用ができるように地域一体となって取り組みます。</p> <p>●区民による公園の清掃活動や花壇の維持管理等を通じて、地域コミュニティの活性化を促進し、身近な公園への愛着心を醸成するとともに、各公園での地域主体のイベントをバックアップします。</p> <p>●地域住民や民間事業者・学生等の多様な意見を地域ルールとして反映します。</p> <p>●池袋駅周辺の4つの公園を核として、公民連携で様々なイベントを実施します。また、イベント内容をホームページやSNSでわかりやすく配信することで、各公園の回遊を促し、まちの魅力とにぎわいを創出します。</p>	① 豊島区公園緑地課（公式アカウント）が発信したSNSのフォロワー数	③ 公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】	
		②	④	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名			単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
				実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
取組方針 (1)	成果指標	① 「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合	%	49.1	40.7 (実績値)	41.2	41.7	42.2	42.7	43.2	継続	5-1-1 みどりの活動拠点の創造と 育成
	成果指標	②										
	活動指標	③ 公園を再整備した累積箇所数	箇所	2	4	6	8	10	12	14	新規	所管課データ
	活動指標	④										
取組方針 (2)	成果指標	① 豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	人	0	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	新規	所管課データ
	成果指標	②										
	活動指標	③ 公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数	団体	54	56	58	60	62	64	66	新規	所管課データ
	活動指標	④										

指標			指標の算出方法		指標の設定理由(施策目標との関係)		出典	
取組方針 (1)	成果指標	① 「近くに好きな公園がある」について、肯定的に思う区民の割合【%】	「近くに好きな公園がある」について、肯定的に思う区民の割合【%】		近くの公園にどれだけ愛着を持っているか端的に表す指標であるため。		協働のまちづくりに関する区民意識調査	
	成果指標	②						
	活動指標	③ 公園のリノベーション計画にもとづき、再整備した公園の箇所数(累計)	公園のリノベーション計画にもとづき、再整備した公園の箇所数(累計)		リノベーション計画にもとづき、特徴のある公園整備の進捗を示している指標であるため。		所管課データ	
	活動指標	④						
取組方針 (2)	成果指標	① 豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数		区内各公園で実施される活動やイベントについて、興味をもってもらえる人の数を客観的に把握できるため。		所管課データ	
	成果指標	②						
	活動指標	③ 公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数		公園等で地域活動を実施する団体を促進しているため。		所管課データ	
	活動指標	④						

【3. 事務局評価欄】

新基本計画期間(2025-2029)

指標名	設定の判定	組方針を適切に表している	②データや算定方法の信頼性が高い	③豊島区らしさを表している	④指標自体がポジティブな印象である	⑤指標の方向性が示されている	⑥現計画と継続する指標である	単位	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標値の設定
									実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
取組方針(1)	成果指標 ①	「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合	◎	✓	✓	✓	✓	%	49.1	40.7	41.2	41.7	42.2	42.7	43.2	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	公園を再整備した累積箇所数	△	✓				箇所	2	4	6	8	10	12	14	適切
	活動指標 ④															
取組方針(2)	成果指標 ①	豊島区公園緑地課(公式アカウント)が発信したSNSのフォロワー数	△	✓		✓		人	0	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	適切
	成果指標 ②															
	活動指標 ③	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数	◎	✓	✓	✓	✓	団体	54	56	58	60	62	64	66	適切
	活動指標 ④															

【4. 計画に掲載する指標の選定】

	指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1	成果指標(区民意識調査)	(1)-①	「近くに好きな公園がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	各取組方針の進捗を図るに最もふさわしい指標で、施策を的確に表していると考えられるため。
2	活動指標	(2)-③	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】	